

令和元年度 海洋教育「ひろの学」 実践記録集



洋野町教育委員会



目 次

令和元年度 海洋教育「ひろの学」実践記録集

各学校の実践

・ 洋野町立種市小学校	1
・ 洋野町立角浜小学校	5
・ 洋野町立宿戸小学校	15
・ 洋野町立中野小学校	23
・ 洋野町立大野小学校	61
・ 洋野町立林郷小学校	77
・ 洋野町立帯島小学校	87
・ 洋野町立向田小学校	89
・ 洋野町立種市中学校	95
・ 洋野町立宿戸中学校	99
・ 洋野町立中野中学校	119
・ 洋野町立大野中学校	123

2 各校実践記録集

・ 洋野町立宿戸小学校	令和元年度海洋教育実践記録集
・ 洋野町立中野小学校	令和元年度海洋学習実践記録集
・ 洋野町立林郷小学校	つながる自分 つなげる自分 ～ひろのの 山・海・川・人～
・ 洋野町立向田小学校	令和元年度「ひろの学」児童作品集
・ 洋野町立宿戸中学校	令和元年度海洋教育実践集 宿戸の漁業の歴史から先人の思いや生き方を学ぼう



洋野町立種市小学校

種市小学校 「総合的な学習の時間」(海洋教育) ストーリーマップ

1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしなが、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に頼しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育ってきた地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育む。

2 4 学年の重点目標

「すみよい種市」をテーマに自分たちができる防災や町づくりについて考える。

学期	1 学期		2 学期		3 学期		備考					
	4	5	6	7	8	9		10	11	12	1	2
単元名	「ふるさと種市—われら海の子—」 学年テーマ「すみよい種市」 ※ コンピュータリテラシー・・・各活動とリンク											
オリエンテーション(1)	すみよい町 種市 ①(20) (町内施設見学等) (10) (5) (5) ・町民生活の問題 ・減着ゴミ調査 ・海洋防災教室											
親しむ	すみよい町 種市 ② (24) ・広域事業の役割 (社会科関連 広域適合施設見学) (15) (9) ・防災マップで調べよう 追求 津波防災教室① (種市高校海洋開発科の出前授業) * 防災とともに、種市高校海洋開発科の取り組み方や、学科の特性についても学ばせたい。 津波防災教室② (消防署、広域適合の出前授業) * 実際に防波堤や水門、被災の様子を見学することで、防災意識を高めたり、具体的な防災技能を学ばせたい。											
知る	生活ごみ調査 (関連：社会科) ・ゴミ集積所、町民生活科見学 ・海洋環境教室、海浜清掃、漂着ゴミ調査 ・八戸海上保安庁の出前授業から、課題を見つけて活動する。 海の子絵画展作品に取り組み (関連：図工) * 海の良さを表現させたい。 * 海浜清掃活動と関わらせ、「いつまでも残そう青い海」というテーマを意識させる。 海浜清掃、漂着ゴミ調査結果を新聞にまとめ、地域に発表する。											
守る	防災マップの活用 * 既成の防災マップを活用し、自分の家、学校、遊び場等の状況の確認し、防災の趣味レーションをする。 * 新聞掲示、盛衰交流等 * 今後の課題追究につながるよう交流させたい。											
活用する	よりよい種市にしよう (10) ・種市の町づくり提案 (学習のまとめ発表会) 学習したこととを発表原稿、ポスター等にまとめ、学習仲間と感想を交流すること * 発表を聞き合い、感想を交流すること で学習成果を確かめさせる。 * 保護者、他学年等、相手意識をもたせて発表内容を考えさせる。 * 防災以外 (町づくり) にも、視点を広げたい。 学習成果発表会 * 誰に発表するかも含めて計画させる。 * GT 等、学習に関わった方々に成果をお知らせすることで感謝を伝える。											

種市小学校 「総合的な学習の時間」(海洋教育) ストーリーマップ

1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしなが、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育ってきた地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育む。

2 5学年の重点目標

「森と海の恵み」をテーマに、地形、気候等の自然環境との関わりで海を捉えなおし、洋野町の種市地域(海側)と大野地域(山側)をつながりとして学習する。

学期	1 学期					2 学期					3 学期			備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	「ふるさと種市—われら海の子—」 学年テーマ「森と海の恵み」 ※ コンピュータリテラシー・・・各活動とリンク													
単元名	<p>オリエンテーション(1)</p> <p>米を作ろう(40)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家の方から教えていただきながら栽培活動を行う。 「森と海の恵み」をテーマに、地形、気候等の自然環境との関わりで海を捉えなおし、洋野町の種市地域(海側)と大野地域(山側)をつながりとして学習する。 <p>種市の森と海(14)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森と海と人間が共存するために自分自身でできることを考え実行する。(海浜清掃)(植林) 「未来に残そう青い海」をテーマに森を植く。 <p>親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑穀、米粉を使った「こびる」(郷土食)を試食する。(GI) 全国の郷土食や稲作について調べる。 郷土食から、土地の自然環境や文化のちがいに興味をもたせたい。 <p>知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ひろのまきば天文台「天文教室」に参加 海浜清掃 洋野町を地形・自然環境・産業等の観点から大まかに捉えさせ、「海」と「森」をつながりを追究すべき課題とする。 <p>守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 「未来に残そう青い海」をテーマに作品を作る。(関連：図工) 海と森のつながりをレポートにまとめる。 海浜清掃、植林のように、自然環境を守るために自分ができることを考えさせる。 <p>活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 「森は巡る」事業に参加 <ul style="list-style-type: none"> * 植林体験を通し、植物・生物・水・土・川・、、、多様な視点で種市(海側)と山側が繋がっていることを捉えさせたい。 「パケツ稲作体験(6~11月) <ul style="list-style-type: none"> ・ やませ対策、水管理、品種改良について学ぶ(関連：社会科) ・ 稲作の苦労・工夫をとらえさせたい。 													
	<p>学習したことを発表原稿、ポスター等にまとめる。</p> <p>発表会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 発表を聞き合い、感想を交流することで学習成果を確かめさせる。 * 保護者、他学年等、相手意識をもたせて発表内容を考えさせる。特に、4年生に引き継いでもらうための発表させたい。 													

種市小学校 「総合的な学習の時間」(海洋教育) ストラテジー

1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしなが、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育った地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育てる。

2 6学年の重点目標

「ふるさと種市 再発見」をテーマに、これまでの学習をふまえ、ふるさと種市を見つめ直す学習をすとともに、学習のまとめとして自分ができる活動を計画・実践する。

学期	1 学 期		2 学 期		3 学 期		備考					
	4	5	6	7	8	9		10	11	12	1	2
	「ふるさと種市 一われら海の子」 学年テーマ「ふるさと種市 再発見」											
単元名	オリエンテーション(1)			他地域の海を知る(20) ・他地域の海の様子を調べる(地理・産業・歴史等) ・種市と比べて。			種市の海・町 再発見(30) ・グローバルな海洋問題から、種市を見つめ直す ・学習課題追究(海洋サミット参加を見据えて)			ありがたをつたえよう(19) ・今自分ができること(感謝行動計画) ・これからの自分(ふりかえり)		
親しむ	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行の学習計画を立てる 事前学習(東北大学施設、自然環境、産業、観光等) 種市との比較で他地域の概要・特徴をつかませる。 自分が追究したい課題を明確に持たせる。 修学旅行(大学訪問、漁業・海洋施設見学、観光地散策) 大学訪問で学んだこと、さらに追求したいことをまとめ。 実際に見学、散策して気づいたことや疑問に思ったことを追究課題につなげる。 											
知る	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をもとに自分たちとできることを考える。 環境保全、自然現象、人間の生活(産業)をポイントに「海との共生」をテーマにまとめさせる。 「種市再発見(海との共生)」をテーマにポスターセッションする。 全員が発見し、サミット発表代表を選ぶ。聞き合うことで、学習成果を共有するとともに、発信スキルも高めたい。 											
守る	<ul style="list-style-type: none"> 海洋サミット参加する(代表者) 海洋サミット報告会(4~6年) 母校の学習成果を確かめるとともに、他地域の実践から刺激を受けたり、学びとったりしたい。 											
活用する	<ul style="list-style-type: none"> 学習のまとめとして自分と出来ることを実践する計画を立てる。 実践の過程に学習できたことへの感謝、地域・学校への感謝を伝えるように助言する。 感謝行動を実践。 実践のまとめを発表原稿、ポスター等にまとめる。 発表会を行う。 発表を聞き合い、交流することで学習成果や自分たちの成長を確かめさせる。 保護者、他学年等、相手意識をもたせて発表内容を考えさせる。 											

洋野町立角浜小学校

令和元年度 洋野町立角浜小学校

ふるさと角浜～海洋学習の実践～

＜角浜小学校の海洋学習＞

本校は、岩手県の最北端に位置し、学区は久慈平岳の支脈、階上岳が徐々に東方に傾斜したなだらかな丘陵が広がる太平洋に面した中にある。学区にある角浜漁港では、天然のワカメやコンブをエサにして育つウニ、アワビが豊富であり、地域の主たる産業となっている。この豊かな海を素材の中心とした体験的な活動や探究的な活動を通して角浜地区にある自然や社会、人々の工夫や努力、願いへと徐々に視点を広げ、「ふるさと角浜」を誇りに思う気持ちを育てたい。また、課題解決にあたって地域の良さや先人の知恵と志の高さ、産業と自然、社会との関わりを多面的・総合的に考え、学んだことを主体的に表現する子どもを育てることを目指す。



＜令和元年度 角浜小学校の海洋学習内容＞

学年	内 容	
全校取組	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (1)地域産業への理解や環境教育の推進を図る。 (2)自然への関心を高める。 (3)地域環境美化の意識を高める。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 磯掃除 ・ 海洋学習発表会 (校内) 	
1・2年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 海とふれ合いながら楽しむ・親しむ </div> 生活科 「海となかよし」～角浜のすきなところをつたえよう～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 海の生き物と触れ合おう。 ・ 海まで歩いてみよう。 	
3・4年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 海を素材に地域環境や地域社会と意識的に関わる </div> 総合的な学習の時間 「角浜調査隊」～角浜について知ろう～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 角浜調査隊 ・ グループごとの課題解決学習 	
5・6年	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 海を素材に地域社会に関わり、地域の願いや社会の問題に向き合う </div> 総合的な学習の時間 ふるさと角浜 ～角浜の未来について考えよう～ <ul style="list-style-type: none"> ・ 種市高等学校で南部もぐり学習 ・ グループごとの課題解決学習 ・ 震災学習列車 ・ 第5回海洋サミット in ひろのに向けて 	

「海となかよし ～角浜のよさをつたえよう～」

◆内容◆

(1) 地域を知るための体験

①町探検

向井商店、鯨洲神社、大村きのご園、ケイセイエンジニアリングなどを見学して、地域の人とふれ合い、地域の様子を詳しく知ることができた。また、漁港まで徒歩で行き、岩場で貝殻拾いをした。「海のおいがする」「風が気持ちいい」など、五感を働かせて海を感じることもできた。貝殻拾いでは自分のお気に入りの貝殻や流木を見つけ、嬉しそうに集めていた。



②磯遊び

9月に1・2年生で磯遊びを行った。網で魚をたくさん捕まえることができ、満足そうだった。捕まえた生き物は学校に持ち帰り、観察した。



(2) 表現活動

①絵日記や観察カード

磯掃除や磯遊びの後、体験したことや観察して気付いたことなどを絵日記や観察カードに表した。絵と文章で思いを生き生きと表すことができた。

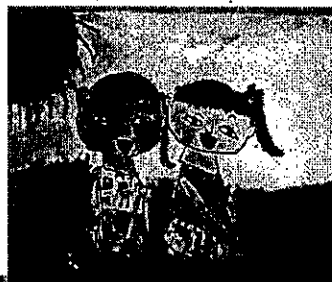


②図工の作品や生活科のおもちゃ作り

体験したことをもとに、海の様子を思い出したり想像したりして、「海となかよし」の絵を描いた。また、図工の工作や生活科のおもちゃ作りの際、貝殻や流木を材料に使った。

③道徳「大すき、わたしたちの町」

「たんけんマップ」を使って、地域の様子を振り返り、角浜のよいところを文章や川柳にまとめた。



◆成果◆

- ・児童は海の近くに住んでいるが、海で遊ぶ経験はあまりないため、磯遊びを通して、海や海の生き物と十分親しむことができた。
- ・体験したことや分かったことを文章や絵で表現する力が育った。
- ・貝殻や流木などを集める楽しさを知り、自然物のよさに気づき、作品に生かしたり愛着をもったりすることができた。

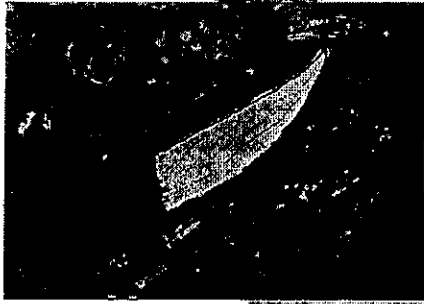
◆今後の課題◆

①体験活動や調査学習をするための時期の配慮並びに工夫をする。

・海に関わる活動が多く、天候に左右されやすいため長期的な見通しのある活動が求められる。興味関心など児童の実態を細かに把握し、学年や個に合った活動の精選が必要である。また、小規模複式の学校であることも鑑み、職員配置にも気をかけ、円滑な活動を行うための工夫も必要である。

②指導を効率的に行うための年間計画・単元計画について再考する。

・海洋教育の教科化を見据え、各学年の指導の系統を見直しながら、取り組み状況に応じたPDCAサイクルを体系化していく必要がある。



1年 滝口 祐大

「くじらにのって」

(第36回 岩手県海の子絵画展

全国漁業信用基金協会岩手支所担当理事賞)

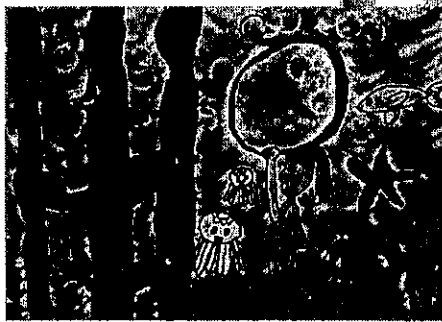


4年 山下 美生

「わたしがだいてるいるか?」

かわいい!!」

(第36回 岩手県海の子絵画展 入選)

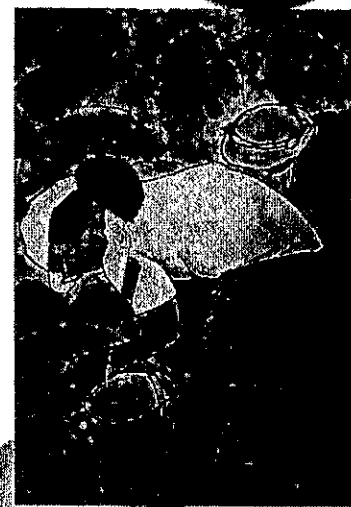


3年 米田 心

「イルカは輪をくぐるのかな」

みんなでおうえん」

(第72回 岩手芸術祭 美術展 入選)



4年 平中 虹花

「つぶとり」

(第72回 岩手芸術祭 美術展 入選)

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

岩手大学海洋マリアンス
海洋教育促進
研究センター

SPF 笹川平和財団

海洋政策研究所

3・4年生テーマ

「角浜調査隊 ～角浜について知ろう～」

◆内容◆

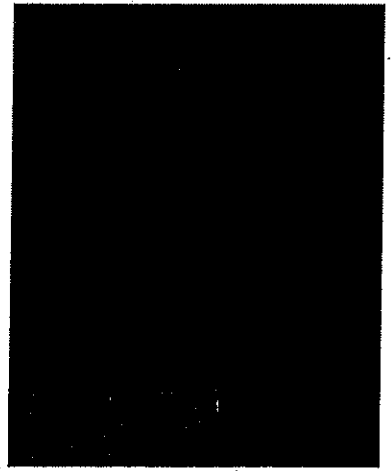
(1) 課題を決めるための体験…海岸観察 漁港探検

①海岸マップ観察

昨年度の3・4年生の実践と今年度の課題設定の材料として過去の3・4年生の作成した角浜の海岸沿いのマップの観察を行った。そこで興味をもったものについて観察するための計画を立てた。

②海岸探索

角浜漁港から橋上灯台までのおよそ1,3kmの道のりを散策した。波の様子、花、灯台、河口など様々なものに興味をもち観察する姿が見られた。



(2) 課題探究活動…海岸マップと海岸探索からそれぞれの課題を設定した。

①渋谷川について

渋谷川は、角浜のどこを流れているのか地図をもとに場所を確認したり、川の長さを測ったり、支流の観察を行った。

②塩づくりについて

角浜の海水から塩づくりを行った。さらに角浜で昔どのように塩づくりを行っているか調べたり他地域でとった塩と比べたりした。

③ツブについて

磯掃除で採るツブの特徴や料理方法などについて調べた。

④階上灯台について

灯台の役割や階上灯台について調べた。

⑤ワカメについて

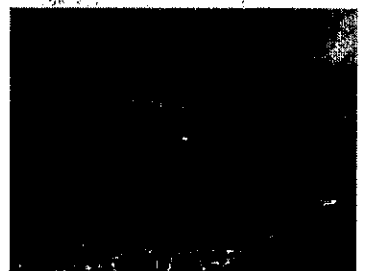
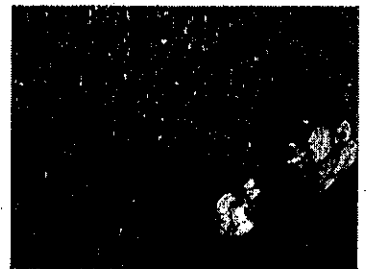
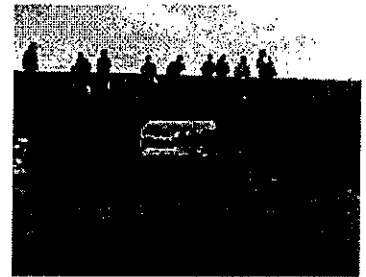
角浜でとれるワカメについて、他の産地のワカメと食べ比べたり実際にとったワカメを観察したりした。

⑥角浜海岸沿いに咲く花について

昨年度の研究の継続で、角浜海岸沿いに咲く花の名前について調べパンフレットにまとめた。

⑦波と天気の関係について

天気が悪い時の波の様子について、観察した。

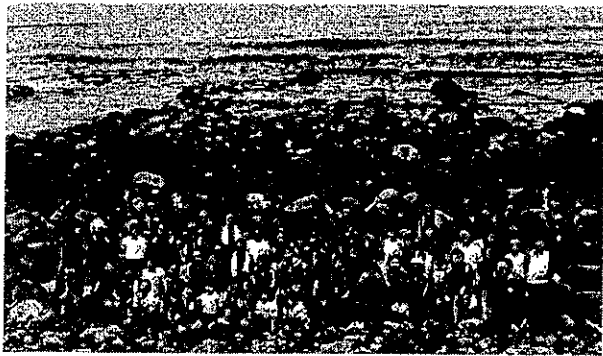


◆成果◆

- ・昨年度の研究について4年生から問いたり、過去に作成した海岸マップを観察したりすることで、今年度新たに海洋学習に取り組む3年生にもイメージがつかみやすかった。そのため、課題への目的意識をもちやすく意欲をもって取り組むことができた。
- ・地域に根差した調べ学習や観察などの体験活動を行うことが自分たちの課題の解決につながるため、中学年の発達段階に合った学習を進めることができた。

今年度 特別に行った海洋教育に関わる取り組み

「磯そうじ」



《活動内容》

海藻の害になるヒトデやツブを除去したり、磯のゴミ拾いをしたりすることで、地域産業への理解や環境教育の推進を図った。今年度は、山側の小学校の林郷小学校と合同で行い、交流を深めた。



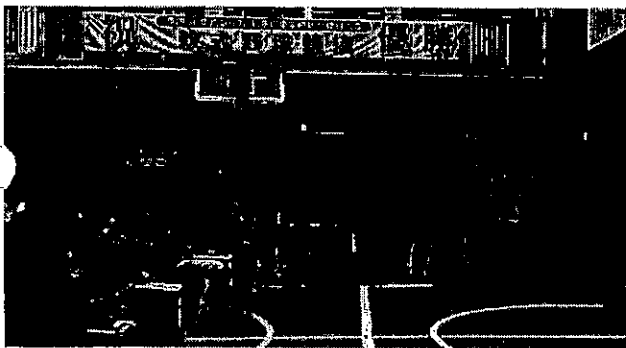
「震災復興列車」



《活動内容》

三陸鉄道の震災学習列車に乗車と角浜との地形の違いを見学することを通して復興の様子や防災の取り組みを学び、自然災害への心構え、自らの生き方、あり方等について考えた。

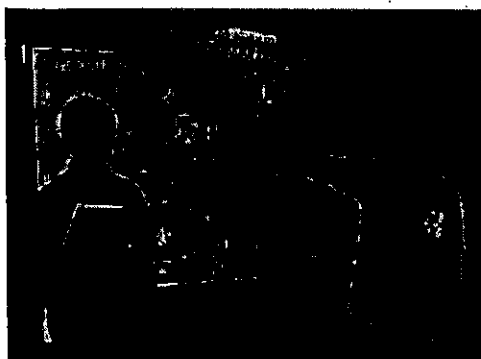
「復興・海洋講演会」



《活動内容》

小中合同で一般社団法人日本キリバス協会代表理事ケンタロ・オノ氏の講演『地球温暖化最前線国・キリバスのこと』を聞き、環境保全の大切さや各校が行っている浜清掃や磯そうじの意義・関連を深めた。

「海洋サミット in 洋野」



《活動内容》

今年度取り組んできたことをポスターセッションで発表を行った。様々な学校の取組を聞きながら、他校の「海洋教育」の実践や研究について意見交換や交流をすることで、地域理解や相互理解を深め、「海洋教育」に対する意欲と学びの質の向上を図った。

「ふるさと角浜 ～角浜の未来について考えよう～」

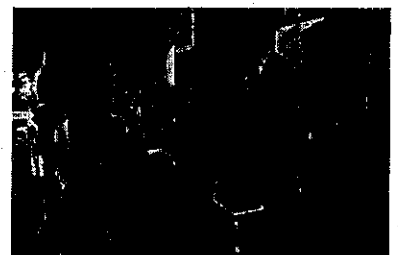
◆内容◆

(1) 課題を決めるための体験

磯掃除・種市高校南部もぐりについての学習・海は友達参加・ヒーローの旅
種市高校の生徒さんによる津波についての授業・いわての復興教育スクール〈沿岸〉

角浜は大切なふるさとであり、これからも守っていくべき場所という視点で様々な体験活動を通して、今年度各自が学習したいテーマを決めた。

様々な活動の中で、たくさんの人に話を聞き、見直す中で多くの人が洋野町を魅力的な町であると考え、「今あるものを生かして、さらに魅力を伝えたい」「安全で幸せな生活が洋野町でできるように守りたい」という思いを持っていることに気づいた。これらを踏まえ、今年度のテーマと探求する「課題」を決めた。



(2) 課題探究活動

①角浜・洋野を知らせる。

「ウニの殻の再利用について」

ウニの殻を海に捨てると地球環境に影響を与えることを知った。現在、畑の肥料としていますが、においがひどいという現状がある。この現状を解決しながら洋野・角浜で有名なウニの殻を再利用することで新たなウニのよさにつなげたいと考えた。

◇ウニ染めによる再利用…ウニの殻を煮出した染色液で布染めを行い、検証する

◇ウニの素材を生かした再利用…ウニの殻の形と成分を生かした作品を作り、検証する

「ウニの増殖溝について」

洋野町の主産業であるウニの養殖を行う「増殖溝」の仕組みについて角浜と他の地域の増殖溝との違いを比較し、ウニの養殖についての理解をより深めたいと考えた。

②角浜を守る・助ける。

「防波堤調査」

東日本大震災で洋野町は漁業施設等に多くの被害が出た。安全安心な暮らしのために堤防による防災は必要不可欠であり、堤防設備を知ることが大切だと考えた。



◆成果◆

- ・今までの海洋学習を相互に関連させながら、地域の努力や願いを知り、積極的に地域に関わりたいという思いや郷土角浜への愛着をより一層持つことができた。
- ・様々な視点で情報を取捨選択するとい調べ学習の方法や手順を学ぶことができた。
- ・災害が起こる仕組みや怖さやについて理解を深めるとともに、災害に対する予防や実際に起きた時の行動について考えることができた。

探究課題	地域の自然とそれを関わる人々 ～地域の歴史と文化～ (海洋教育：ひろの学)		
単元名	角浜調査隊 ～角浜について知ろう～ (30時間)		
ねらい	<p>(1) 探究的な学習の過程において、自己の課題の解決に必要な角浜地区にある自然や社会、人々の工夫や努力を理解しながら、情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解することができる。</p> <p>(2) 角浜地区にある自然や社会、人々の生き方の中から自己の課題 (問い) を見出し、その追求過程における特徴を見付け、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組む中で、地域の方々ともふれあう楽しさや地域の環境を見直し大切にしていこうとする気持ち高め、角浜地区が人々の努力や工夫によって支えられていることに気付きながら、自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。</p>		

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
角浜の自然	畑作業 (10)	【通年】	田植え (2)			稲刈り (2)						
地域の伝統	駒踊り (5)		磯掃除 (2)									
海洋教育	課題を決めよう			課題を解決しよう			課題を解決しよう			課題を解決しよう		
	角浜調査隊 (30)			浜っ子マップの作成			角小まつり (5)			駒踊り (2)		
	「久慈の自然と比べよう (もぐらんぴあ・八戸線の旅)」			「種差海岸を歩こう」			《各年》					

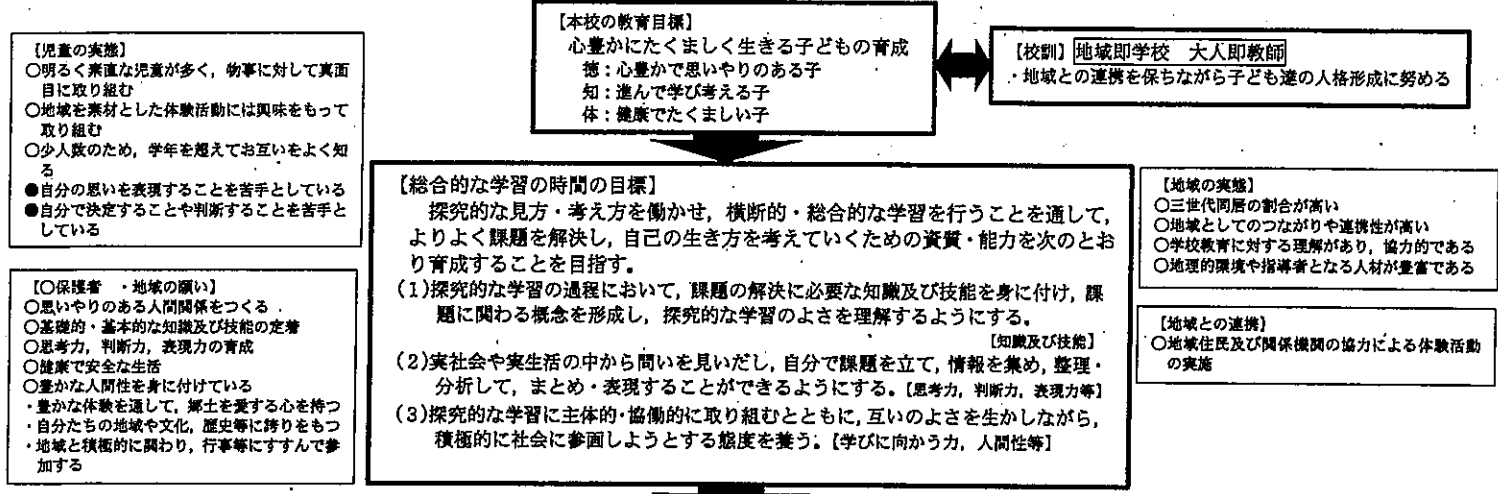
計画	◎オリエンテーション (1)	【体験活動】 (4)	・磯そうじを通して角浜の海の保全について考える。 ・角浜の海辺を歩き、植物、避難所、見える景色を観察・見学する	【情報収集】 (4)	・見学・インタビュー ・文献等を調べる	【整理・分析】 (4)	・「浜っ子マップ」を作成する	【振り返り】 (1)	・体験、調査を通して、考えたこと感じたことをまとめる	【課題の設定】 (1)	・「浜っ子マップ」の作成や磯掃除をして、疑問に思ったことや調べてみたいことを考え、課題を決定する	
	※1学期以降のものは毎年度初めに調整をはかる。	【育成を目指す資質・能力 評価】	角浜のうみを題材として多様性、相互性、有限性に気付く。	体験活動から追究していく課題を見出す	自分の関心から課題を設定し、解決方法を考える	指導者の支援を受けて、手段を選択し、自分の身近な所から情報を収集する	目的に応じて情報を分類したり整理したりして考える	事象を比較したり分類したりして、多様な情報の中にある特徴を見出す	相手に応じて、分かりやすくまとめ、表現する	学習の仕方を振り返り、今後の学習活動の見直しを持つ	課題の解決に向けて、探究活動に取り組みようとしている	異なる意見や他者の考えを受け入れ協力する
A: 知識及び技能												
B: 思考力、判断力、表現力等												
C: 学びに向かう力、人間性等												

探究課題	地域の産業と文化に携わる人々の思いや願い		地域の未来と自分たちの生活～ (海洋教育：ひろの)	
単元名	角ふるさと角浜 ～角浜の未来について考えよう～ (70時間)			
ねらい	<p>(1) 角浜の産業の良さや課題、地域の願い、自分たちの生活との関わりを理解しながら、情報を比較、分類する・関連付けする、多面的・多角的にみるなど、探究の過程に応じた技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようことができる。</p> <p>(2) 角浜地区の人々の「思い」をふまえて自己の課題(問い)を見出し、見通しを持った追求過程において、目的に応じて手段や情報を収集・選択し、集めた情報の視点を明確にして整理し、問題状況と事実を関連付けたり、多面的に考察したりして情報の中にある特徴を見付け、相手や目的、意図に応じ、まとめ・表現することができる。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組む中で、地域の方々やふれあう楽しさや地域の環境を見直し大切にしたいこととする気持ち高め、角浜地区が人々の努力や工夫によって支えられていることに気づきながら、自ら進んで地域社会に関わり、自分と実生活・美生活・美社会の問題の解決に取り組もうとする態度を育てる。</p>			

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
角浜の自然	畑作業 (5)【通年】	田植え (2)	磯掃除 (2)		稲刈り (2)・脱穀 (1)						
地域の伝説	駒踊り (5)						角小まつり (5)			駒踊り (2)	
学年	修学旅行 (5・6年生…10) ヒーローの旅 (5・6年生…10) 《各年》										
海洋教育	課題を決めよう ふるさと角浜 (30) 種市高校南部滞り学習 課題を解決しよう 課題を解決しよう										

計画	◎オリエンテーション (1)【体験活動】 (5)	種市高校へ行き、南部滞りについて見学をする。 ・ 南部滞りの仕事について考える。 ・ 種市高校での学習について理解を深める	学習活動 (1学期)	学習活動 (2学期)	学習活動 (3学期)
	【情報の収集】 (2)	見学・インタビュー・文献等を調べる	【整理・分析】 (4)	【整理・分析】 (まとめ・表現)	【まとめ・表現】 (振り返り) (5)
	【振り返り】 (1)	体験、調査を通して、考えたこと感じたことをまとめる			
	【課題の設定】 (2)	種市高校への見学や磯掃除をして、疑問に思ったことや調べてみたいことを考え、課題を決定する			
	◎育成を目指す資質・能力 評価	角浜のうみを題材として多様性、相互性、有限性に気付く			(A)
		体験活動から追究していく課題を見出す			(B①)
		地域の人々の「思い」や自分の関心から課題を設定し、解決方法を考える			(B②)
		指導者の支援を受けて、手段を選択し、適切に情報を収集する			(B③)
		目的に応じて情報を分類したり整理したりして考える			(B④)
		関係付けたり、多面的に考察したりして、多様な情報の中にある特徴を見出す			(B⑤)
		相手や目的、意図に応じて、分かりやすくまとめ、表現する			(C①)
		学習の仕方を振り返り、今後の学習活動の見直しを持つ			(C③)
		課題の解決に向けて、探究活動に取り組もうとしている			(C⑤)
		異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する			
		積極的に地域の活動に参画し、貢献しようとする			

A：知識及び技能
 B：思考力、判断力、表現力等
 C：学びに向かう力、人間性等
 ①課題の設定 ②情報の収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現 ⑤振り返り
 ①主体性 ②協働 ③社会参画



【内容】 <目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力>

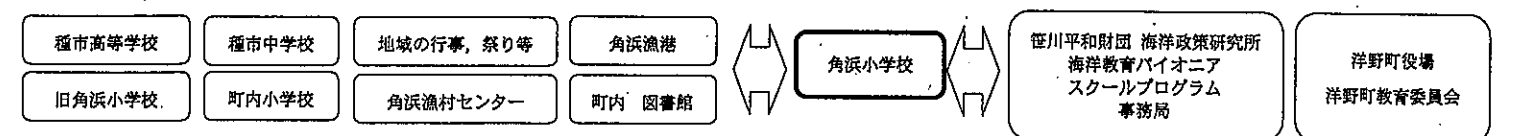
学年	中学年（3・4年）		高学年（5・6年）	
テーマ	角浜調査隊 ～角浜について知ろう～		ふるさと角浜 ～角浜の未来について考えよう～	
探究課題	地域の自然とそれに関わる人々 ～角浜の歴史と文化～		地域の産業と文化に携わる人々の思いや願い ～角浜の未来と自分たちの生活～	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然の素晴らしさやそれを守る人々の工夫が分かる。 ・地域の環境の現状や環境を保全する人々の工夫や努力が分かる。 ・情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業のよさと課題及びそれに携わる人々の願いが分かる。 ・角浜の海の多様性を基に、地域の未来像と自分たちの生活との関わりが分かる。 ・情報を比較、分類する・関連付けする、多面的・多角的にみるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。
		課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心から地域の「自然」や「歴史・文化」についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の「思い」をふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しを持って追究している。
		情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。
		整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を明確にして問題状況における事実や関係と、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。
		まとめ表現 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。 ・学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。 ・学習の仕方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。
学びに向かう力、人間性等	社会参画	主体性（自己理解）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向け、目的意識をもち、自分なりの良さを生かしながら意欲的に取り組む活動を通して、自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題意識をもって、自分の良さや特徴を生かし、工夫しながら探究活動に取り組む活動を通して、自ら進んで地域社会に関わり、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。
		協働性（他者理解）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、自分と異なる意見や考えを受け入れながら、身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、自分の異なる意見や考えを受け入れ尊重しながら、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の自然や社会、人々の生き方を生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場を設定する。 ・海洋教育での取り組みを基本とする。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・言語により整理、分析したり、まとめ、表現したりする学習を重視する。 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制を組織する。 ・校内の連絡調整と指導体制を確立する。 ・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。 ・海洋教育パイオニアスクールプログラムの講師派遣等を利用し、専門的な知識を得る機会の充実を図る。 ・地域人材の活用を行う。 	<p>【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価、パフォーマンスを重視するため基準となる可○された課題を設定する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。
--	--	--	--

【各教科等との関連】

国語	社会	算数	理科	生活科	音楽
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 ・言語についての知識や理解、技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象に関心を持ち、進んで調べようとする態度 ・統計、資料、年表を用いる力 ・観察や調査した事柄を関連付ける力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に興味を持ち、調べたり試したりしながら課題を解決していこうとする力 ・目的に応じて表やグラフを使って表現する力 ・筋道を立てて考える力など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象に関心を持ち、進んで調べようとする態度 ・科学的に筋道立てて考え、問題を解決する力 ・見直しを持って観察、実験をする力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々、社会、自然と関わる力 ・自分自身や自分の生活について新たな気づきをする力 ・生活上必要な習慣や技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽によって養われる感性や情操 ・感じたことを歌や楽器で表現する力 など
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ・家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や鑑賞の活動等で養われた感性や情操 ・つくりだす喜び ・形や色、材料などから発想する力 ・材料や用具を用いる力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な生活を営む実践力 ・たくましい心身 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる言語や文化を理解する力 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの仕方 ・集団をよりよくしていこうとする意欲及び態度 ・自発的、自主的に活動を進める力 など

【地域・機関との連携】



洋野町立宿戸小学校

学校教育目標
 心やさしい子ども (徳)
 自ら学ぶ子ども (知)
 たくましい子ども (体)
 児童の実態
 ○基本的な生活習慣は身につけている
 ○地域の人たちに見守られている
 ●人前で話すことが苦手
 ●人間関係が限られている

本校の総合的な学習の時間の目標「主体性とコミュニケーション能力」
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関する総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
 (1) 地域の人、もの、ことに関する探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2) 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調べて得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。

【内容】＜探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

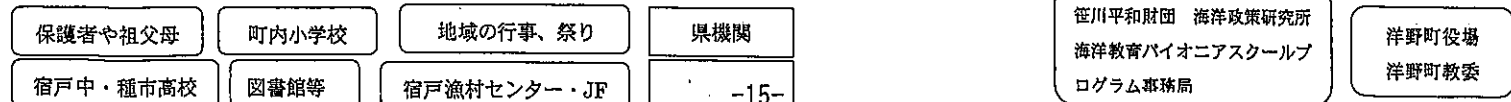
学年	3年	4年	5年	6年	
テーマ	ふるさと(宿戸、洋野、岩手)から学び発信する宿小っ子～宿戸うみプロジェクトを軸に～				
学年の探究課題	宿戸をPRしよう (地域の人、食、文化)	より暮らしやすい宿戸へ (地域の福祉、くらし)	宿戸の自然・歴史 (地域・郷土の歴史と自然)	岩手の偉人、生き方 (地域・郷土の先人の生き方、未来)	
学習活動	I 宿戸自慢(20) (海探検、しいたけ、上岡谷神社、祭り、ソーラン) 洋野自慢(15) (大野、海浜公園) II 名人探し隊(20) (ウニ取り、シイタケ栽培、料理、その他) III 学校の周りの安全(15) (フィールドワークをし、マップを作る)	I 命の輝き(1/2 成人式をしよう)(15) (命の誕生、医療関係者の講話、津波、乗り越えた知恵) II みんなで生きる(20) (キャップハンディ体験、点字学習、認知症講座) 森と海のつながり(15) III 防災マップをつくろう(20) (消防署・警察署の見学、地域の人からの情報収集、防潮堤見学など)	I 宿戸の自然、歴史、先人の知恵から学ぶ(30) (水産学習、増殖溝、植樹、米作り等から生き方・考え方について学ぶ、夢先生) II 宿戸・洋野限大作戦(20) (宿戸・洋野の良さ、誇りについてまとめ・発信する) III 様々な災害と災害時の行動(20) (地震、津波、洪水、心肺蘇生法 自然の中での暮らし)	I 夢を持って生きる(20) (海の仕事を携わる人々、地域の人、周りの人の生き方を学び夢を持つ) II 被災地の人と心をつなごう(20) (修学旅行での被災地学習、ふるさと発信) 海は世界とつながっている(20) 海洋ごみ、気候、環境 III 安全な暮らし(10) (携帯・スマホ安全、情報とのかかわり、心肺蘇生法、薬物乱用防止教室)	
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	地域の特産物、くらし、伝統文化に関わることを通して、地域のよさやそれを守る人々の工夫が分かる。 情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	地域の福祉やくらしについて調べることを通して、地域に生活する人々の思いが分かる。	歴史や自然を調べることを通して、地域のすばらしさが分かり、人々の思いが分かる。 情報を比較・分類・関連付けするなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。	地域の人の仕事や生き方を学ぶことを通して、地域の人の生き方や考え方が分かる。
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。	地域の人々等の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しを持って追究している。	
	情報の収集	目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。	目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。		
	整理・分析	問題状況における事実や関係を、事実を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。	視点を明確にして問題状況における事実や関係を、整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けている。		
	まとめ表現	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。自信をもって発表する。	相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。適切に応答する。		
	振り返り	学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。	学習の仕方をふり返り、学習や生活に生かそうとしている。		
	学びに向かう力、人間性等	主体性	課題の解決に向け、目的意識をもって主体的に取り組んでいる。	課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。	
	協働性	課題解決に向けて、身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。	課題解決に向けて、他者と協働して探究活動に取り組み、その大切さに気付いている。		
	自己理解	自分のよさや自分のできることに気付いている。	探究活動を通して、自分の生き方・考え方を見直し、これからの生活に生かそうとしている。		
	他者理解	自分と異なる意見や考えがあることに気づき、相手の立場を理解する。	異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。		
社会参画	自分と地域とのつながりに気づき、地域の活動に参加しようとしている。	探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。			

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実態、児童の実態を踏まえ、探究課題を設定する。 ・地域の自然や社会、人々の生き方を生かした学習活動を行う。 ・学習成果を表現する場を設定する。 ・海洋教育での取組を基本とする。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・体験活動を重視する。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・言語により整理分析したり、まとめ表現したりする学習を重視する。 ・協働的な学習を充実させるため、思考ツールを積極的に活用する。 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校指導体制を組織する。 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。 ・ワークショップ研修を重視する。 ・メディアセンターとしての余裕教室及び学校図書館の整備・充実を図る。 ・地域の教育資源をデータ化するとともに、日常的な関わりを行う。 ・地域人材の活用を行う。 	<p>【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを活用した評価の充実を図る。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・授業分析による学習指導の評価を重視する。 ・期末、学年末には指導計画を評価・改善し、次年度の計画に生かす。
---	---	--	---

【各教科等との関連】

国語	社会	算数	理科	生活科	音楽
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事項を正確に理解する力 ・書籍についての知識や理解、技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象に関心を持ち進んで調べようとする態度 ・統計、資料、年表を用い読み取り活用する力 ・観察や調査した事項を関連付ける力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に興味を持ち、調べたり試したりしながら課題を解決しようとする力 ・目的に応じて表やグラフを使って表現する力 ・筋道を立てて考える力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象に関心を持ち、進んで調べようとする態度 ・科学的に筋道立てて考え、問題を解決する力 ・見通しを持って観察、実験をする力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人々、社会、自然と関わる力 ・自分自身や自分の生活について新たな気づきをする力 ・生活上に必要な習慣や技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽によって表わされる感性や情緒 ・感じたことを歌や楽器で表現する力 など
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能 ・家庭生活をよりよくしようと工夫する力と実践的な態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や鑑賞の活動等で表わされた感性や情緒 ・つくりだす喜び ・形や色、材料などから発想する力 ・材料や用具を用いる力 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な生活を営む実践力 ・たくましい心身 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる言語や文化を理解する力 ・積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合的な仕方 ・集団をよりよく指定校とする意欲及び態度 ・自発的、自主的に活動を進める力 など

【地域・外部との連携】



宿 戸 う み プ ロ ジ ェ ク ト

1年	2年	3年	4年	5年	6年
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 海に親しもう ・磯遊び ・絵画で表す </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 海に親しもう ・磯遊び ・船に乗ってみよう ・稚ウニを放流しよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 生き物に親しもう ・水遣えさやり(通年) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 海に親しもう ・磯遊び ・船に乗ってみよう ・稚ウニを放流しよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 発見! 宿戸梁検隊 ・地域を探索しよう (シイタケ、ウニ、アワビ、神社など) ウニ漁の見学 ・名人探し ・マップ作り、インタビュ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 学ぶ! 宿戸の知恵袋 ・津波を乗り越えた知恵 (駆撃塔、避難路等) ・防波堤の見学 ・津波の事前授業(種子高校) ・防災マップづくり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> より暮らしやすい宿戸へ ・キャップハンディ体験 ・認知症講座 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 発見! 宿戸梁検隊 ・地域を探索しよう (シイタケ、ウニ、アワビ、神社など) ウニ漁の見学 ・名人探し ・マップ作り、インタビュー </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 発見! 宿戸の知恵袋 ・津波を乗り越えた知恵 (駆撃塔、避難路等) ・防波堤の見学 ・津波の事前授業(種子高校) ・防災マップづくり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> より暮らしやすい宿戸へ ・キャップハンディ体験 ・認知症講座 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 発見! 宿戸の知恵袋 ・津波を乗り越えた知恵 (駆撃塔、避難路等) ・防波堤の見学 ・津波の事前授業(種子高校) ・防災マップづくり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> より暮らしやすい宿戸へ ・キャップハンディ体験 ・認知症講座 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 守る! 宿戸の海と生き物 ・先人の知恵(増産溝) ・水産教室を通してウニの成長を確認しよう ・ウニの乱獲を防ぐ知恵 ・ウニのむき方 ・海洋ゴミ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 米作りにチャレンジ ・やませに立ち向かう米づくり ・米を食べられなかった歴史 ・米づくり体験 ・収穫祭をしよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 輝け! 宿小合奏部 ・伝統の学校を引き継ごう </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 発信! 僕たちの未来 ・宿戸の海の高質なわけ ・海と森づくりの努力 ・宿戸の良さを伝えよう ・将来の自分たちにできること </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 海は世界とつながっている ・海と気象 ・水の循環と海洋 ・海流と活流水のゆくえき ・環境を守るためにできること </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 伝えよう! 「四季の海」 ・伝統の曲を発表しよう ・5年生に引き継ごう </div>
宿戸の海で遊びながら海の生き物に親しむ。 宿市南漁協	宿戸の海で遊びながら生き物に親しみ、宿戸の海について知る。 吹切守さん	宿戸の海産物や農産物、地域の名人や昔の様子を調べ、宿戸の良さに気づき誇りに思う気持ちを育てる。 高屋敷さん	これまでの津波について調べたり、防波堤見学を通して防災について考えるところにも、より暮らしやすい宿戸に係うとすする児童を育成する。 宇部義治さん、振興局 社会福祉協議会、玉澤さん	宿戸の買い強物や育てる漁業などを探究する活動を通して、宿戸の海を大切に守るという気持ちを養い、より広い視点で海を考える気持ちを育てる。 吹切守さん 尾前孝一さん 吉田末男さん	宿戸の海が先人たちの努力によって守られてきたことや海は地球や世界とつながっていることを考え、海洋保全や環境保全に積極的に関わろうとする児童を育成する。 川崎さん 阿部俊夫さん、箱石さん 吉田末男さん

H31 総合的な学習の時間 学習計画

月の予定時数		3h	8h	8h	4h	4h	8h	8h	8h	4h	4h	8h	3h		
学年テーマ		課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3年生	宿戸をのぞいてみよう	I いきる	宿戸・洋野自慢(35) 上岡谷神社、海探検 シイタケ 祭り、ソーラン 大野												
		II かかわる	名人探し隊(20) ウニ取り、シイタケ栽培、郷土料理												
		III そなえる	学校の周りの安全(15) フィールドワーク、マップ作り												
学年テーマ		課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
4年生	より暮らしやすい宿戸へ	I いきる	命の輝き(15) 津波、石碑、命の誕生、保健師の話、1/2 成人式												
		II かかわる	みんなでいきる(20) 森と海のつながり(15) キャップハンディ体験、点字学習、認知症講座												
		III そなえる	防災マップを作ろう(20) 防潮堤見学、地域のお話												
学年テーマ		課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
5年生	宿戸の自然・歴史	I いきる	宿戸の自然、歴史、先人の知恵から学ぶ(30) 水産学習、増殖溝、植樹、米作り												
		II かかわる	宿戸・洋野 PR 大作戦(20)												
		III そなえる	様々な災害と災害時の行動(20) *移動教室での自然とのかかわり												
学年テーマ		課題	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6年生	海から地球や生き方へ	I いきる	夢をもって生きる(20)												
		II かかわる	被災地の人と心をつなごう(20) ※修学旅行とのつなぎ 海は世界とつながっている(20)												
		III そなえる	安全な暮らし(10) AED 携帯・スマホ 薬物												

☆5年移動教室、6年修学旅行の準備に直接かかわる内容については、70時間の枠外に余裕回数としてとる。(ただし10時間を超えない程度)

☆体験学習や人とのかかわりの中で学びを深めたり広げたりする。(本やインターネットに頼らない)

宿戸うみプロジェクト 全体ストーリーマップ

	種市中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・ウニとり、塩ウニづくり、ウニ染め ・荒巻鮭づくり、鮭とばづくり ・販売、PR
	テーマ	視点	地域の願い：宿戸の海を知り、大切にし、共存しながら活かして欲しい。
6年	地球規模で海洋環境を考え、実行しようとする 環境 海と世界 ・海流	知守利	海は世界とつながっている ・サケの放流（さけますふ化場） ・環境教室（川崎光博さん） ・地球規模で海洋環境を考える ・サケの採卵体験（さけますふ化場） ・荒巻鮭づくり まとめ、発信 「海洋子どもサミット」 修学旅行：仙台、松島方面 ・洋野町の海とのちがひ
5年	海で働く人々 海と産業 ・水産業	知利	海と生きる ・水産教室（吹切守さん） ・洋野の水産業、増殖溝 ・南部ダイバー見学（種市高校） ・サケの採卵見学（さけますふ化場） まとめ、発信 移動教室：県北青少年の家 ・森と川と海のつながり
4年	海のすばらしさを、暮らしへの関わりを気づかせる 水と環境 ・津波と防災 ・水の循環	知守	宿戸の防災探検隊 ・防潮堤見学（県北広域振興局土木部） （津波供養塔、避難路） ・津波防災教室（宇部義治さん） ・津波出前授業（種市高校） ・防災マップづくり まとめ、発信 3・4年徒歩遠足 種市海浜公園 ・ごみ拾い ・海浜公園で遊ぶ
3年	海と地域 ・地域の特産	親知	宿戸の自慢探検隊 ・ウニ漁、荷捌き場見学（種市南漁協） ・岡谷稻荷神社見学（上岡谷ユミ子さん） ・シイタケ栽培場見学（高屋敷さん） まとめ、発信
2年	海に親しむ 海の生き物 ・海での遊び	親知	稚ウニ放流（吹切守さん） ・乗船体験 まとめ、発表 1・2年徒歩遠足：八木漁港 ・ごみ拾い ・八木漁港の砂浜で遊ぶ ・製氷工場、市場見学
1年	海のすばらしさを、暮らしへの関わりを気づかせる		磯遊び（種市南漁協 馬場等さん） ・海の生き物 ・海で遊ぶ 絵で表現
○宿戸小学校の伝統（「宿小音頭」「ソーラン節」：運動会、「四季の海」：学習発表会） ○町事業「海はともだち」（8月 5・6年） ○地域事業「海辺の生き物探検」（8月） ○子ども会でのゴミゼロ運動、海岸清掃。 ○子ども会でのB&G体験			

※単元名・内容は、実態に合わせて年度ごとに修正・変更を加えていくものとする。

【テーマ】海と地域 ・ 地域の特産

【目 標】海と宿戸の人たちの関わりを調べ、地域の良さを理解し、ふるさとに対する誇りと愛情をもつことができる。

【海洋教育の視点】 海に親しむ・海を知る

	海プロジェクトの活動の流れ	関連
4月	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 海について知っていることをイメージマップに書き出してみる。海洋学習についての見通しを持つ。 宿戸にはどんな自慢があるのかを知り、学習の見通しを持つ。 	<p>○社会「わたしたちのまち みんなのまち」 土地の様子・使い方・地図</p> <p>○国語「メモを取りながら話を聞こう」 メモ</p>
5月	<p>(ウニ、アワビ、シイタケ、岡谷稲荷神社など)</p> <p>○自慢探検 その1：ウニ、アワビ</p> <ul style="list-style-type: none"> 知っていることを話し合い、問いを持つ。 自分の課題を持ち、調べる。 	<p>○国語「調べて書こう、わたしのレポート」 レポート</p>
6月	<p>(本、インターネット、人に聞く)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べて分かったことを交流する。 見学に行って取材する。(6月-7月 馬場等さん) 	<p>○ゴミゼロ運動</p> <p>○徒歩遠足：稲市海浜公園</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> 分かったことをまとめる。 表す。→国語と関連させる。 	<p>○国語「ローマ字」 ローマ字入力</p> <p>○社会「はたらく人とわたしたちの暮らし」 農家の仕事</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ウニの自慢ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 甘くておいしい品質のよいウニがたくさんとれる。 ウニのエサとなる天然コンブがたくさんある。 ウニを育てる工夫(増殖溝)がある。 <p>→特産になるように努力してきた宿戸の人たちは、すごい。</p> </div>	
	<p>※以降、問いを持つ、調べる、交流する、見学に行って取材する、まとめる、表す、を繰り返すことで学び方を身につける。</p> <p>※インターネットで調べるには、漢字が読めること、言葉の意味を知っていること、ローマ字入力が便利なこと等、やってみてうまくいかない経験をさせながら、国語の力が必要であることを実感させる。</p>	
8月	<p>○自慢探検 その2：岡谷稲荷神社(8月 上岡谷ユミ子さん)</p>	
9月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>岡谷稲荷神社の自慢ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 古くから海の安全と大漁を祈願し、遠方からもお参りに来る。 病気や災いから皆を守ってくれている。 静かで穏やかな気持ちになれる場所。(神様の木、石) <p>→毎年の例大祭に児童も参加。この神社を守り続ける宿戸の人たちは、すごい。</p> </div>	<p>○国語「パラリンピックについて調べよう」 事典や図鑑</p> <p>○国語「話したいな、わたしのすきな時間」</p> <p>○国語「案内の手紙を書こう」 手紙</p> <p>○国語「外国のことをしょうかいしよう」 ポスター</p>
10月		
11月	<p>○自慢探検 その3：シイタケ(10月-11月 高屋敷さん)</p>	<p>○国語「自分の考えをつたえよう」 図や表</p> <p>○国語「言葉でつたえ合う」</p> <p>○社会「市のうつりかわり」</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>シイタケの自慢ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どんこ」品質の良さで何度も岩手県1位。 地域の特性、やませ(冷涼な気候)を生かしている。 シイタケを育てるよい環境がある。 <p>(豊かな山林、コナラ・アカマツが多く自生)</p> <p>→特産になるように試行錯誤してきた宿戸の人は、すごい。</p> </div>	<p>○道徳「ふるさと いいとこさがし」</p>
12月 ～ 3月	<p>○学びのふりかえり</p>	

【テーマ】海と環境 ・津波と防災 ・水の循環

【目標】津波と防災について調べ、地域での取り組みを理解し、自分たちに何ができるかを考えることができる。

【海洋教育の視点】 海を知る・海を守る

	海プロジェクトの活動の流れ	関連
4月	○オリエンテーション ・これまでの学びを振り返る。 ・地震、津波の備えについての問いを持ち、学習の見通しを持つ。	○社会「水はどこから」 浄水場見学 ○社会「ごみのしよりと利用」
5月	○自分たちの課題を持ち、調べる。	ゴミ処理見学
6月	・復興教育副読本から ・町の防災マップから	○国語「ヤドカリとイソギンチャク」 ○ウニの森植樹祭
7月	・本、インターネットから ・家の人や地域の人への取材活動	○ゴミゼロ運動 ○徒歩遠足：種市海浜公園
8月	□防潮堤見学（県北広域振興局土木部） ・小子内防潮堤のしくみ、役割と限界を知る。 ・津波供養塔を調べる。 ・避難路を調べたり、実際に歩いたりする。	○国語「たしかめながら話を聞こう」 メモ ○国語「みんなで新聞を作ろう」 新聞 ○国語「お願いやお礼の手紙を書こう」 手紙
9月	ポイント ・明治、昭和にも大津波があった。 ・防潮堤の高さ 12mは過去の津波の高さをもとに。 ・水門と陸こう。遠隔操作で安全を確保。 ・防潮堤は、避難する時間を稼ぐためのものなので、避難が大事。	○地域事業 海辺の生き物探検
10月	□津波防災教室（宇部義治さん） ・津波の歴史 ・東日本大震災の被害状況 ・自主防災組織	○社会「地震からくらしを守る」 防災・減災 自助、公助、共助 ○国語「学校についてしょうかいすることを考えよう」
11月	・津波防災施設と避難の大切さ などについてお話を聞く。	○理科「自然の中の水のすがた」水の循環 ○社会「きょう土の伝統・文化と先人たち」
12月	□津波出前授業（10月 種市高等学校） ・津波がおこるしくみ ・津波の速度実験 ・避難の大切さ などについて講義を受ける。	南部もくりの開祖 磯崎定吉 ○国語「聞いてほしいな、心に残っている出来事」 ○国語「ふるさとの食」を伝えよう
3月	○防災マップづくり（2020年度は、宿戸・大浜～戸類家・玉川方面） ・フィールドワークで危険箇所とその理由を調べ、写真に記録する。 ・写真をもとに話し合い、危険箇所の写真と危険な理由を記入した付箋を地図に貼る。	リーフレット ○国語「言葉で考えを伝える」 ○国語「調べたことをほうこくしよう」 アンケート
	○学びのふりかえり	○理科「水のすがたと温度」 地球温暖化 ○道徳「「もっこ」をせおって」 復興
	※防災マップづくりは、2020年度で一段落とする。次年度からは、植樹祭をうけての森・川・海の間係を（社会、理科と関連させて）学習することも考えられる。	

【テーマ】海と産業 ・水産業 ・海で働く人々

【目標】海と仕事の関わりを調べ、地域でつなげている取り組みを理解し、ふるさとに誇りをもつことができる。

【海洋教育の視点】海を知る・海を利用する

	海プロジェクトの活動の流れ	関連
4月	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学びを振り返る。 ・地域の水産業についての問いを持ち、学習の見通しを持つ。 	<p>○社会「わたしたちの国土」</p> <p style="text-align: right;">海洋</p> <p>○国語「知りたいことを聞き出そう」</p> <p style="text-align: right;">インタビュー</p>
5月	<p>□水産教室（6月 吹切守さん）@宿戸漁港</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の生き物観察 ・増殖溝でのウニとり体験 ・荷捌き場でのウニの殻むき体験 ・ウニの年齢調べ（川崎さん） 	<p>○国語「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」</p> <p>○ウニの森植樹祭</p> <p>○ゴミゼロ運動</p> <p>○移動教室：県北青少年の家</p>
6月	<p>○自分の課題を持ち、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本、インターネットから 	<p>○国語「環境問題について報告しよう」</p> <p style="text-align: right;">資料活用・報告文</p>
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・町パンフレットから ・海に携わる人へのインタビュー 	<p>○理科「魚のたんじょう」</p> <p>○国語「問題を解決するために話し合おう」</p> <p style="text-align: right;">原因と結果・意図</p>
8月	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿戸にある海に携わる仕事は大きく5つ 漁業者、漁協、市場、種苗生産、販売者 ・宿戸で行われている漁業 漁船漁業、定置網漁業、採介藻漁業 ・インタビュー 漁業者、漁協、市場、栽培漁業協会、宏八屋 など (仕事内容、仕事に対する思い、仕事に就いた理由、工夫や努力、苦勞していること など) 	<p>○地域事業 海辺の生き物探検</p> <p>○町事業 海はともだち</p>
9月	<p>□南部ダイバー見学（種市高等学校 海洋開発科）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南部ダイバーの歴史 ・先人「磯崎定吉」 ・ひきつがれる思いや願い 	<p>○社会「水産業のさかんな地域」 水産業</p> <p>○国語「和の文化について調べよう」</p> <p style="text-align: right;">パンフレット</p>
10月	<p>□サケの採卵見学（10月 さけますふ化場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サケの一生 ・さけますふ化場の役割 	<p>○国語「伝えたい、心に残る言葉」</p> <p>○国語「反対の立場を考えて意見文を書こう」</p> <p style="text-align: right;">意見文</p> <p>○国語「資料を見て考えたことを話そう」</p> <p style="text-align: right;">事実と感想</p>
11月	<p>○「海洋教育サミット」へ向けての校内発表会に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生の発表を聞いて、今後の学習に生かす。 	<p>○社会「わたしたちの生活と環境」</p> <p style="text-align: right;">環境</p> <p>○道徳「一ふみ十年」</p> <p>○道徳「そういうものにわたしはなりたい ～宮澤實治」</p>
12月～	<p>○学びのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行での洋野紹介に向けて、これまでの学びをふりかえる。 	<p>○道徳「親から子へ、そして孫へと」</p> <p>○道徳「イルカの海を守ろう」</p>
3月		

【テーマ】海と世界 ・海流 ・環境

【目標】地球規模で海洋環境を考えるを通して、海を守るために自分たちができていることを考えることができる。

【海洋教育の視点】 海を知る・海を守る・海を利用する

	海プロジェクトの活動の流れ	関連
4月	○オリエンテーション ・これまでの学びを振り返る。	○理科「地球と私たちの暮らし」 環境 ○国語「イースター島にはなぜ森林がないのか」 ○国語「友達の意見を聞いて考えよう」
5月	・学習の見通しを持つ。	
6月	□サケの放流（さけますふ化場） ・サケの習性 ・サケや海流、海洋環境についての問いを持つ。 世界規模でみた海洋…海流、プラスチックごみ、消えゆく島、生き物への影響、漁業の未来 等	○ウニの森植樹祭 ○ゴミゼロ運動 ○修学旅行：仙台・松島方面 ○国語「防災ポスターを作ろう」 図表やグラフ・ポスター ○理科「生き物の暮らしと環境」 生命・環境
7月	○自分の課題を持ち、調べる。 ・本、新聞から ・町パンフレットから	○地域事業 海辺の生き物探検隊 ○町事業 海はともだち
8月	・家の人や地域の人へのイタキャンビュー	○国語「話し合って考えを深めよう」 ○国語「海の命」 ○理科「大地のつくりと変化」 土地のつくり・ジオパーク
9月	□環境教室（岩手県さけ・ます増殖協会 川崎光博さん） ・宿戸の海の現状 ・直面している環境問題 ・これまでの取り組み ・これから私たちができること	○国語「町の未来をえがこう」 プレゼンテーション
10月	○調べてわかったことをまとめ、発信する。（視点のある程度しぼる。） ・海洋教育こどもサミットに向けての取り組み →国語と関連	○国語「世界に目を向けて意見文を書こう」 意見文・説得力
11月	□サケの採卵体験（さけますふ化場） ・サケやサケを取り巻く海洋環境、これまでの学びの理解を深める。	○国語「言葉の学習をふり返る」 ○国語「聞いてほしい、この思い」 スピーチ
12月	□荒巻サケづくり	○社会「世界の中の日本」 ○理科「地球に生きる」 環境
3月	○学びのふりかえり	○道徳「白神山地」 ○道徳「愛華さんからのメッセージ」 ○道徳「土石流の中で救われた命」 ○道徳「命の重さはみな同じ」 ○道徳「エンザロ村のかまど」 ○道徳「夜空～光の旅」 ○道徳「タマゾン川」

洋野町立中野小学校

平成30・令和元年度 洋野町教育委員会指定

学校公開研究会

学習指導案集

研究主題

問いをもち、主体的に学び続ける子供の育成

～海洋科・生活科を中心とした教科等横断的な学習指導を通して～



令和元年10月4日（金）

洋野町立中野小学校



宝計会員委育健門理科 夏申元研命・08銀半

会院相開公対学

業案募財醫學

議主衆府

教育の外なるに在りては學ニの材主 さまさの問

一ア「師方職業醫學の強進辦事局」ニシテ中々其要主ニ殊に於テ



(5) 11月01日出版

対学小冊中刊編理科

中野小 MSN

[Map of the Sea of Nakano elementary school]



中野中学校		親知守利	3年 洋野の未来を考えよう～洋野町の発信・将来の期待～ 2年 地域を考えよう～洋野町と他地域との比較から～ 1年 地域を知ろう～海・山・関係～
学年	探究テーマ	視点	1学期 夏季休業 3学期
6年	地球規模で海洋環境を考え、実行しようとする。 環境問題と未来 ・環境問題の実態 ・保全の方法	知守	サケの放流 ウニがあぶない！ ～考えよう、生き物の バランス～ サケが帰って こられない！ ～洋野の恵みを 守るために～
5年	水産業と環境 ・特産物と水産業 ・洋野の海洋環境	知守	洋野町のウニの ひみつとは？ お帰りなさい また来てね I amagawa 洋野町のサケの ひみつとは？～
4年	水の循環と環境 防災・安全 環境保全	知守	安心して海 とくらそう 海はながる 有家川は どんな川？ 山から 川へ そして海へ
3年	海洋生物と環境 ・地域の海洋生物 ・地域の特産	親知守	潮風トレイルで 海のふしぎを 見つけよう 有家はま 生き物 図かんを 作るう わたしたちの 海の 名物じまん！
2年	海への親しみ ・海にあるもの ・生命尊重	親知守	サケの放流 中野の 「すてき」を 見つけよう 中野の 「すてき」を つたえよう
1年	海への親しみ ・楽しい海 での遊び	親知	みずやすなで あそぼう すなはま あそぼう つくろうあそぼう なかののたからで

※「親・知・守・利」は、海洋教育の4つの視点「海に親しむ・海を知る・海を守る・海を利用する」を表す。

1・2年

生活科

第1学年 生活科学習指導案

日時 令和元年10月4日(金) 5校時

児童 男子7名 女子7名 計14名

指導者 松浦 ふみか

1 単元名 「つくろう あそぼう なかののたからで」

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第1学年及び2学年の目標(2)は、「身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。」である。また、本単元の主たる内容(6)は、「身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら創り出そうとする。」である。本単元は、身近な自然物や、身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫して作ったり、遊び方を工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しむことができるようにすることをねらいとしている。

(2) 児童について

本学級の児童は、入学時から好奇心旺盛で、与えられた課題にも一生懸命取り組むことができる。外に出て活動したり物を作ったりするのが好きで、いつも活発に活動している。4、5月には、学校内や校舎の周りの探検、有家浜へ出かけて砂浜での遊びを通して自然と親しんだ。研究主題に関わって、児童は、観察して気付いたことや体験して思ったことなどを書いたり発表したりして伝え合う活動は意欲的に行うことができる。しかし、自分の考えを整理することができないため、自分の考えを相手に伝えることが難しく、発表を途中で中断してしまうことがある。教師の指示がないと活動を広げたり継続したりすることが難しいため、活動中に「問い」を投げかけ、意識させる声かけが必要である。

(3) 指導について

学習を進めるにあたり、本校学区の豊かな環境を生かし、採取してきた木の実、貝殻やシーグラスなどの自然物を材料として利用させる。それらに十分に触れさせて特徴を生かしたおもちゃを作らせた。また、前単元で行った「なにやど公園」で園児たちと楽しく遊んだ経験を想起させ、自分たちのおもちゃや楽器を作ることに意欲を持たせ、園児に合わせておもちゃなどを改良した遊び方を工夫させたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

身近な自然物や、身の回りにある物を使って、おもちゃを工夫して作ったり、遊び方を工夫したりして、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しむことができる。

(2) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
森や海の自然物を使って、遊びに使うものを作ったり、遊んだりすることに関心をもち、みんなで楽しく遊ぶうとしている。	森や海の自然物や身の回りにあるものを利用して、遊びに使うものを工夫して作ったり、みんなが楽しく遊べるように、約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊んでいる。	森や海の自然物を利用して遊んだり、遊びに使うものを作ったりすることの面白さや自然の不思議さ、遊ぶことの楽しさに気付いている。

(3) 単元計画 単元名「つくろう あそぼう なかののたからで」(全10時間 本時7/10)

小単元	<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">○主な学習活動 【学習段階】</p>	<p style="text-align: center;">・指導上の留意点 ◇教科等との関連</p> <p style="text-align: center;">◆評価規準 <観点> [方法]</p>
おもちゃをつくろう	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">森とうみのたからものをつかって、どんなおもちゃができるかかんがえよう。</p> <p>○自然物を使って作ってみたいおもちゃについて話し合う。 【思いや願い】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森と海で集めた材料を使って、どんなおもちゃができるか考えさせる。 ◇道徳「大すき わたしたちの町」～わたしたちの町のすてき～ ◆自分たちの集めた自然物に関心を持ち、重ねたり並べたりして楽しく遊ぼうとしている。 <関心・意欲・態度> [発言・観察]
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">森とうみのたからものをつかって、おもちゃをつくろう。</p> <p>○自然物を使って遊びを工夫する。 【かかわる】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集めた自然物を使って、遊び方を考えさせる。 ◇図工「コロコロ ゆらりん」「クルクル まわして」 ◆集めた自然物の中から、使ってみたい物を選び、試し、見立てたりして、遊びを工夫している。 <思考・表現> [観察]
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">つくったものを見せ合って、もっとよいおもちゃにしよう。</p> <p>○自分が作ったおもちゃのことを友達と話し合い遊び方を考えたり改良したりして遊ぶ。 【かかわる】(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が作ったおもちゃを改良したり、作るおもちゃを変えたりしながら、より面白いおもちゃができるように話し合わせる。 ◆自分の工夫したところを友達に話したり、友達から聞いた工夫を自分のおもちゃで試して改良したりしている。<思考・表現> [発言・観察] ◆自然物を使って、おもちゃや楽器をつくることの面白さに気付いている。 <気付き> [発言・観察]
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">みんなでたのしめるように、くふうしよう。</p> <p>○作ったおもちゃで遊ぶために、遊びの約束を決めたり遊ぶ場の準備をしたりする。 【かかわる】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作ったおもちゃで友達といっしょに遊びながら、作り方や遊び方を工夫させる。 ◆作ったおもちゃで遊ぶ方法を工夫している。 <思考・表現> [発言・観察]
みんなであそぼう	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ためしに遊んでみよう。</p> <p>○おもちゃ大会をする。 【かかわる】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもちゃを改良したり、遊び方を工夫したりして、みんなで遊びを楽しむとともに、活動を通して気付いたことを振り返り、伝え合わせる。 ◇道徳「ないちゃった」～あいての気持ち～ ◆試しに遊んでみて困ったことや、友達から助言されたことをもとに、おもちゃや遊び方を工夫している。 <気付き> [記述]

<p>こどもえんのももだちがたのしめるようにおもちゃやあそびかたをかんがえよう。</p> <p>○こども園の子供たちが楽しんで遊べるようにおもちゃや遊び方を工夫する。</p> <p>【かかわる】(1) 本時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の実態を理解しながら、自分たちが作ったおもちゃでいっしょに遊べるように計画を立てさせる。 ◇国語「はなしたいな ききたいな」 ◆園児の姿を想像して友達と話し合い、おもちゃや遊びを工夫している。 <p><思考・表現> [観察・発言]</p>
<p>つくったおもちゃで、こどもえんの子どもたちとあそぼう。</p> <p>○こども園の子と一緒に遊ぶ。</p> <p>【かかわる】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作ったおもちゃで、園児と楽しく交流させる。 ◆活動の中で、園児の様子を気かけたり、遊びに誘ったりし、みんなで楽しく遊ぼうとしている。 <p><関心・意欲・態度> [観察]</p>
<p>たのしかったことやくふうしたことをしょうかいしよう。</p> <p>○楽しかったことや、工夫したことを記録カードに書き紹介し合う。</p> <p>【かかわる】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児との活動を振り返り、遊んだおもちゃの楽しさや良さについて記録させる。 ◇国語「おもい出して かこう」 ◆遊んだおもちゃの楽しさや良さについて、自分なりの方法で表している。 <p><思考・表現> [記述・発表]</p>
<p>ふりかえろう</p> <p>がくしゅうをふりかえろう</p> <p>【振り返る】(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの活動を振り返り、遊びの面白さや自然の不思議さに気付かせる。 ◆学習を通して感じたことやできるようになったことに気付いている。 <p><気付き> [記述]</p>

4 本時の学習

(1) 本時の目標

森や海の宝物で作ったおもちゃで園児といっしょに遊べるように、おもちゃや遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。

(2) 展開案

学習内容 ○発問・主な子供の反応	<手立て>・留意点 ◆評価規準<観点> [方法]
<p>1 前時の自分が作ったおもちゃで遊んだときのことを想起する。</p> <p>○自分が作ったおもちゃで遊んでどうでしたか？</p> <p>○すてきなおもちゃができたので、こども園の友達に遊んで楽しんでもらいましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>こどもえんのともだちがたのしめるようにおもちゃやあそびかたをかんがえよう。</p> </div> <p>2 こども園の友達を楽しめるように考える。</p> <p>○園児に楽しんでもらうためには、どうしたらよいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じょうぶにする。 ・字や数字でなく絵やマークにする。 ・きれいな飾りがすき。 ・ルールをわかりやすくする。 <p>○遊び方をどのように工夫したらよいかグループで話し合ひましょう。</p> <p>○学級のみんにて工夫したことをグループごとに紹介しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・距離を短くする。 ・シーグラスや貝殻できれいに飾る。 ・簡単に勝ち負けが分かるようにする。 ・壊れないように、丈夫にする。 <p>3 園児が楽しんで遊べるように、改良したり、遊び方を工夫したりする。</p> <p>4 本時の振り返りをする</p> <p>○園児に楽しんでもらうために、どのように工夫しましたか。</p>	<p><手立て(1)>前時の活動を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作ったおもちゃで遊んでいる写真を提示し、それぞれの工夫を振り返らせる。 <p><手立て(2)>こども園の先生のインタビューや園児の写真をみて意欲を高めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の写真を見ながら、園児の実態・特徴をまとめ、「おもちゃの強度を上げる」「遊び方のルールを変える」などの必要性を感じさせる。 ・園児の目線で、園児が楽しめるために工夫しなければならないことを話し合わせる。 <p><手立て(3)>グループでの話し合う場の設定を設定する。</p> <p>◆園児の姿を想像して友達と話し合い、おもちゃや遊びを工夫している。</p> <p><思考・表現> [発言]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改良の手立てになるように、木の実やシーグラス、貝殻などを準備しておく。 ・園児のことを考えて、どう工夫したか考えさせる。

第2学年 生活科学習指導案

日時 令和元年10月4日(金) 6校時

児童 女子9名

指導者 渋谷 歩

1. 単元名 「なかの『すてき』をつたえよう」

2. 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容(8)「生活や出来事の交流」を中心に、内容(3)「地域と生活」と関連して構成されている。町探検で地域の人々との関わりを繰り返し、地域の人々や場所への愛着を十分にもたせてから本単元へ導入されることになる。そのため、本単元を独立した単元として扱わず、町探検単元と関連させ、単元を構成したい。地域と密接に関わる本校の良さを十分に生かして繰り返し地域と関わり、地域への問いを膨らませたり気づきを積み重ねたりする中で、「問いをもち、主体的に学び続ける子供」を育成していきたいと考える。

(2) 児童について

本学級の児童は、生活科の学習に意欲的に取り組み、「次はこんなことしてみたい。」「こうしてみたらどうかな。」などと楽しみながら活動を工夫しようとする姿が多く見られる。児童はこれまでに2回の町探検を経験しており、地域の人との結び付きを深めてきた。研究主題に関わって、児童は学習や活動をよりよいものとしたいという思いを持ちながらも、活動に必要な知識や経験の不足や、活動に対する自信の無さなどから、学びが発展せず単発で終わってしまうことが多い。そのため、活動中に「問い」を投げかけ、学びが連続するような支援が必要である。

(3) 指導について

学習を進めるにあたり、児童の生活圏にある店や施設、海辺での体験を想起させ、心に残ったことを振り返る。心に残った出来事を友達と話し合う中で、新たに生まれた問いや、友達の考えを聞いて得た気づきを取り上げることで、気づきの質を高めていく。相手意識をもって伝えたい内容や伝え方について考えたり、出来事を地域の人々に伝え、感想を伝え合ったりする経験を通して、地域の人々や出来事が自分の生活に結び付いていることに気づかせたい。

3. 単元の指導計画

(1) 単元の見通し

地域で心に残ったことを身近な人と伝え合う活動を通して、地域の人々と関わることの楽しさや地域と自分の生活がつながっていることに気づくことができる。

(2) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々や様々な場所に関心をもち、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて見たり、調べたりしようとしている。 ・地域で関わった人のことや、関わりを通して分かったことなど、自分の心に残った出来事を友達や地域の人々と伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた適切な行動や、安全な行動について考えながら活動の計画を立て、町探検をするとともに、それを振り返り、表現している。 ・伝える相手や目的、伝える出来事の内容に応じた適切な表現方法を選び、分かりやすい伝え方を工夫し、交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域には様々な場所があり、多様な人々が生活したり働いたりしていることが分かり、それらが自分達の生活を支えたり豊かにしたりしていることに気付いている。 ・地域の良さや自分と地域のつながりに気づくとともに、地域の人々と交流する。

(3) 単元計画 単元名「なかの『すてき』をつたえよう」(全8時間 本時3/8)

小単元	<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">○主な学習活動【学習段階】</p>	<p style="text-align: center;">・指導上の留意点 ◇教科等との関連</p> <p style="text-align: center;">◆評価規準 <観点> [方法]</p>
町のすてきなできごとをふりかえろう	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">心にのこった地いきのできごとをふりかえろう。</p> <p>○日々の生活や町探検などで地域の人と関わったことを振り返る。</p> <p>【思いや願い】(2)</p>	<p>・これまでに学級で作ってきた町探検地図を見せながら、探検を通して心に残った地域の出来事を身近な人に伝えたいという児童の発言を取り上げ、学級全体に広げる。</p> <p>◇国語「こんなことがあったよ」</p> <p>◆心に残った出来事を振り返り、伝え合うことに関心をもち、伝え合おうとしている。</p> <p><関心・意欲・態度> [発言]</p>
つたえるじゅんびをしよう	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なかの「すてき」をみんなにつたえるじゅんびをしよう。</p> <p>○伝えたい内容と相手に応じて、伝える準備をする。</p> <p>【かかわる】(1) 本時</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">心にのこったできごとをつたえあおう。</p> <p>○伝えたい内容や相手に適した表現方法でまとめる。</p> <p>【かかわる】(2)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">なかの「すてき」を友達とつたえあおう。</p> <p>○自分の表現方法で、心に残った地域の出来事を友達と伝え合う。</p> <p>【かかわる】(1)</p>	<p>・誰に、何を伝えたいのかを確認しながら、伝え方を選択させる。</p> <p>◆これまでの町探検を振り返り、伝える相手や内容などを選んでいる。</p> <p><思考・表現> [観察]</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・まとめ方の例を提示し、伝える相手に合った方法を選択してまとめさせる。</p> <p>◇国語「名人をしようかいしよう」</p> <p>◆伝える相手や内容などを考えて適切な表現方法を選び、分かりやすい表現の仕方を工夫している。</p> <p><思考・表現> [観察・記述]</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>・友達との関わりの中で、身近な人々と関わることの楽しさを実感させ、進んで交流させる。</p> <p>◆地域で心に残ったことを身近な人と伝え合う活動を通して、地域の人々と関わることの楽しさや地域と自分の生活がつながっていることに気付いている。</p> <p><気付き> [観察]</p>

	<p>地いきの人につたえよう。</p> <p>○心に残った出来事を地域の人に向けて表現する。</p> <p>【かかわる】 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と地域とのつながりを意識することができるよう、地域の人からの感想や質問をもらう機会を設ける。 ◆地域で心に残った出来事を表現するために、伝え方を工夫しながら地域の人に向けて表現しようとしている。 <p><関心・意欲・態度> [発言]</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学習をふりかえろう</p>	<p>地いきでの学しゅうをふりかえろう。</p> <p>○これまでの活動を振り返り、地域の良さや地域と自分とのつながりに気づき、また、地域と関わる中での自分の成長を実感し、これからやってみたいことなど、これからの生活に向けた思いや願いをもつ。</p> <p>【振り返る】 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を振り返り、友達の良い所を紹介しながら、自分の成長を実感させる。 ◆これまでの活動の中での自分の成長、これからやってみたいことなど、次時の活動に向けた思いや願いをもち、生活しようとしている。 <p><関心・意欲・態度> [観察・発言]</p>

4 本時の学習

(1) 本時の目標

これまでの町探検を振り返り、伝える相手や内容、表現方法などを選ぶことができる。

(2) 展開案

学習内容 ○発問 ・主な子供の反応	<手立て>・留意点◆評価規準<観点> [方法]
<p>1 これまでに地域で関わった人や物を振り返り、友達と話し合う。</p> <p>○地域でどんな人に出会いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウニとりが上手な〇〇さんに、海の生き物のことを教えてもらったよ。 ・物作りが得意な〇〇さんは、海の物を使って素敵な作品を作っていたよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なかのの「すてき」をみんなにつたえるじゅんぴをしよう。</p> </div> <p>2 伝えたい内容と伝える相手を決める。</p> <p>○なかのの「すてき」を誰に伝えたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の学年の友達に教えたいな。 ・探検でお世話になった地域の方やおうちの人に伝えたいな。 <p>3 自分の伝えたいことと、伝える相手に適した表現方法を考える。</p> <p>○どんな方法で「すてき」を伝えたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞やポスターにしようかな。 ・3年生みたいに模造紙にまとめたいな。 ・紙芝居も分かりやすくいいな。 <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○今日の活動で分かるようになったことや考えたことは、どんなことでしょう。</p>	<p><手立て>・留意点◆評価規準<観点> [方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに行った二度の町探検の様子、そこで出会った人の写真を見せ、これまでの自分と地域との関わりについて振り返らせる。 <p><手立て(1)>地域や地域の人々の写真を提示し、活動の意欲をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検を振り返り、そこで出会った人と関連させながら想起させる。 <p><手立て(2)>子どもの思いや願いに基づき活動を進めさせる。</p> <p><手立て(3)>地域を深く考える場を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに残った地域の出来事や人との出会いを絵日記等にまとめさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの伝え方を比べ合わせ、適切な表現方法を選ばせる。 ・誰に何を伝えたいかを板書で整理しながら、伝え方を選ばせる。 ・子どもの様子を見ながら、代表的な伝え方の例を提示したり、他学年の作品や1学期に取り組んだ発表会の様子を見せたりして、伝え方のイメージをもたせる。 <p>◆これまでの町探検を振り返り、伝える相手や内容、方法などを選んでいる。</p> <p><思考・表現> [観察・記述]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動や友達とのやりとりを通して分かるようになったことや考えたことを振り返らせ、次時への活動の意欲をもたせる。

3・4年

海洋科



第3学年 海洋科学習指導案

日時 令和元年10月4日(金) 5校時

児童 男子6名 女子5名 計11名

指導者 藤根 咲樹

1 単元名 「わたしたちの海の名物じまん！」

2 単元について

(1) 教材について

本単元では、洋野町を訪れる観光客に、洋野町のよさ＝「名物」を伝えることを単元のゴールとし、洋野町の名物について詳しく調べることで、町の特徴を捉えることをねらいとしている。生活科や社会科、1学期までの海洋科の学習で、地域のよさに気付いた子供たちが、視野を町全体に広げることで、自分たちの暮らす洋野町へさらに愛情や誇りをもつことができるようになるとともに、それらを広め伝えていきたいという思いをもつことができるようになると思われる。

(2) 児童について

本校では、第3学年から海洋科に取り組んでいる。海がある地域に暮らす児童ではあるが、実際に海に入って遊んだり、海の生き物に触ったりする機会は少ない。そのため、海が児童にとって身近なものになっていない印象である。しかし、海洋科で目的をもって海と関わりはじめたことで、海に親しみを感じられるようになってきており、意欲的に取り組んでいる。前単元「有家浜生き物図かんを作ろう」では、同じ海に生息する生き物でも、さまざまな違いがあるという生物の多様性に気付くことができた。また、図鑑を作るために必要な活動を考えたり、相手を意識した構成で図鑑を作ったり、発表したりすることで、課題解決の手段や情報整理の仕方、表現の工夫などを身に付けてきた。

(3) 指導について

洋野町の海の豊かさに触れ、他にもさまざまなよさがあることに気付かせることで、それらをたくさんの人に伝えたいという思いをもつことができるようにしていきたい。課題解決のために、どのような方法で何を調べていくか児童の話し合いを基に決定し、見通しをもたせると共に、情報収集の場面では、児童が取り上げたテーマについて十分に調べられるように、見学やインタビューの機会を設定するなど、各々が選択した方法で課題解決ができるようにしていきたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

洋野町の名物を調べる活動を通して、自分達が暮らす町のよさや自分達の生活が豊かな海に支えられていることに気づき、愛情や誇りをもつとともに、それらを大切にしていこうとする思いをもつことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 洋野町の名物（ひと・もの・こと）について詳しく知り、それらが自分たちの生活と関わりがあることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 洋野町のよさを伝えるという課題意識をもって学習計画を立て、必要な活動を考えている。 課題を解決する手段を自分で選択して情報を収集し、整理してまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 洋野町のよさをたくさんの人に伝えたいという思いをもって主体的・協働的に活動している。 洋野町のよさ、海の豊かさに気づき、愛情や誇りをもって生活していこうとしている。

(3) 単元計画 大単元名「海はふしぎがいっぱい」(全30時間 本時16/30)

<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">○ 主な学習活動【学習段階】</p>	<p style="text-align: center;">・指導上の留意点 ◇教科等の関連</p> <p style="text-align: center;">◆評価規準 <観点> [方法]</p>
<p>オリエンテーション(1)</p> <p>○海洋学習について知る。</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p>	<p>・海洋学習の概要を知らせ、今後の学習への期待感をもたせる。</p> <p>◆海洋学習に関心をもち、学習の見通しをもっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [観察]</p>
<p>1. 「潮風トレイルで海のふしぎを見つけよう」</p> <p>海にはどんな不思議があるのだろう</p> <p>○潮風トレイルの計画を立てる。</p> <p>【課題設定】(1)</p>	<p>・生活科で海の生き物を育てたことを想起させる。</p> <p>・海にはまだまだ自分たちが知らないことがたくさんあることに気付かせ、不思議を見つけさせる。</p> <p>◆主体的に計画を立てている。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>
<p>潮風トレイルで海の不思議を見つけよう</p> <p>○地域の海を散策し、海の様子を知る。</p> <p>【情報収集】(2)</p>	<p>・地域の海を歩いて、様々な視点から海を眺め、問いをもたせる。</p> <p>・生き物や海水に触れさせ、必要であれば採集させる。</p> <p>・海に関する施設やごみにも注目させる。</p> <p>◇社会科「わたしたちの大好きなまち」</p> <p>◆視点に沿って、見つけたことを整理して記録している。<知識・技能> [観察・記述]</p>
<p>潮風トレイルをふりかえろう</p> <p>○潮風トレイルをふりかえり、見つけた不思議を全体で共有する。</p> <p>【整理・分析】【まとめ】(1)</p>	<p>・潮風トレイルで見つけた問いを全員で共有させ、活動をふりかえらせる。</p> <p>・海にはさまざまな生き物がいることに気付かせ、次単元への意欲をもたせる。</p> <p>◆自分なりの問いをもっている。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>
<p>2. 「有家浜生き物図かんを作ろう」</p> <p>有家浜には、どんな生き物があるだろう</p> <p>○図鑑を作る計画を立てる。</p> <p>【課題設定】(1)</p>	<p>・前単元でさまざまな生き物を見つけたことを想起させ、地域の海にいる生き物について詳しく調べ、図鑑を作るという目的意識をもたせる。</p> <p>・図鑑を作るために必要な活動を考えさせる。</p> <p>◇道徳「ひきがえるとろば」</p> <p>◆主体的に計画を立て、図鑑を作るために必要な活動を考えている。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>

<p>有家浜の生き物を調べよう</p> <p>○地域にある有家浜で生き物を探し、見つけた生き物について詳しく調べる。</p> <p>【情報収集】(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物がいそうな場所を予想させ、捕まえ方を確かめさせる。 ・生き物を探させ、採集させる。 ・見つけた生き物について、図鑑や本から必要な情報を集めさせたり、詳しい人に聞かせたりして調べさせる。 ◆生き物がいそうな場所を予想して探し、さまざまな方法で生き物を採集している。また、有家浜の生き物について詳しく知ることができている。<知識・技能> [観察・記述] ◇理科「こん虫を調べよう」 ◇国語「インタビューをしてメモを取ろう」 ◆有家浜に生息する生き物について、自分なりの方法で調べている。 <思考・判断・表現> [観察・記述] ◆生き物や海の環境を大切にしている。 <主体的に学習に取り組む態度> [観察]
<p>調べたことを整理して、図かんを作ろう</p> <p>○調べたことを整理し、図鑑にまとめる。</p> <p>【整理・分析】(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことの中から、図鑑に必要な情報を選び、整理してまとめさせる。 ・絵や写真も取り入れさせ、見る人が分かりやすい図鑑になるように作らせる。 ◆必要な情報を選び、整理してまとめている。 <思考・判断・表現> [観察・記述]
<p>有家浜の生き物を紹介しよう</p> <p>○有家浜の生き物を紹介する。</p> <p>【まとめ・表現】(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表相手を決めさせ、相手にふさわしい発表の仕方を考えて発表させる。 ◆相手意識をもって発表をしている。 <思考・判断・表現> [発言]
<p>学習をふりかえろう</p> <p>○学習を振り返る。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆洋野町の海の良さに気づき、大切にしていこうとしている。 <主体的に学習に取り組む態度> [記述・発言]
<p>3. 「わたしたちの海の名物じまん！」</p> <p>わたしたちの海の名物じまんをしよう</p> <p>○学習の計画を立てる。</p> <p>【課題設定】(1) 本時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて洋野町を訪れる人に伝えたい町のよさ(名物)を社会科や総合で学習したことと関連させながら、考えさせる。 ・よさを伝える方法を考えさせる。 ◇社会科「わたしたちの大好きなまち」 ◇総合「しいたけを育てよう」 ◇道徳「心をつないだ合言葉」 ◆洋野町のよさをたくさんの人に伝えたいという意欲をもって、計画を立てている。 <主体的に学習に取り組む態度> [発言・記述]

<p>わたしたちの海の名物を調べよう</p> <p>○洋野町の海の名物を知り，詳しく調べる。</p> <p>【情報収集】(5)</p>	<p>・個人のテーマに合わせて，本やインターネット，人に聞く，施設の見学に行くなど，自分で選択して調べさせる。</p> <p>◇国語「調べて書こう，わたしのレポート」</p> <p>◇社会科「働く人とわたしたちの暮らし」</p> <p>◇わたしたちの洋野 p 34～37, p64, 65</p> <p>◆課題を解決する手段を自分で選択して調べている。＜思考・判断・表現＞ [観察・記述]</p> <p>◆洋野町の海の名物について詳しく知り，生活との関わりに気付いている。</p> <p>＜知識・技能＞ [発言]</p>
<p>名物じまん○○○を作ろう</p> <p>○調べたことを整理し，話し合いで決定した方法でまとめる。</p> <p>【整理・分析】(3)</p>	<p>・調べたことの中から必要な情報を選ばせ，整理してまとめさせる。</p> <p>◆必要な情報を選び，整理してまとめている。</p> <p>＜思考・判断・表現＞ [記述]</p>
<p>わたしたちの海の名物じまん大会をしよう</p> <p>○海の名物じまん(発表)をする。</p> <p>【まとめ・表現】(2)</p>	<p>・前小単元で身につけた発表の仕方を活用させながら，洋野町を知らない人に知ってもらうための発表の仕方を考えさせ，発表させる。</p> <p>◆洋野町のよさをたくさんの人に伝えたいという思いをもって発表している。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度＞ [観察]</p> <p>◆相手意識をもって発表をしている。</p> <p>＜思考・判断・表現＞ [発言]</p>
<p>学習をふりかえろう</p> <p>○学習を振り返る。(1)</p>	<p>◆洋野町の海の豊かさに気づき，愛情や誇りをもっている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度＞</p> <p>[記述・発言]</p>
<p>1年間の学習をまとめよう(1)</p> <p>○学習したことを振り返り，思いや願い・新たな問い・生かしたいことなどについてまとめ，発表し合い，次年度以降の活動に生かす。</p>	<p>◆1年間の学習をふり振り返り，次学年での海洋学習への意欲をもっている。</p> <p>＜主体的に学習に取り組む態度＞ [記述・発言]</p>

4 本時の学習

(1) 本時の目標

洋野町の海のおよさを伝えるという課題意識をもち、名物を紹介することへの意欲をもつことができる。

(2) 展開案

学習内容 ○発問 ・主な子供の反応	<手立て> ・留意点 ◆評価規準 <観点> [方法]
<p>1 既習を振り返り、学習の見通しをもつ。</p> <p>○これは何に使うものですか。(エモーション旗)</p> <p>・旗 ・エモーション</p> <p>○この旗には、何が描いてありますか。</p> <p>・ウニ ・ダイちゃん</p> <p>○どうしてその絵が描いてあるのでしょうか。</p> <p>・町を紹介するため ・宣伝 ・有名だから</p> <p>○みなさんなら、どんなことを紹介したいですか。</p> <p>・ウニ ・サケ (=名物)</p>	<p><手立て> ・留意点 ◆評価規準 <観点> [方法]</p> <p>・旗や写真を見ながら、洋野エモーションの様子を振り返り、旗が必要なこと、旗には洋野町を紹介する絵や言葉が描かれていることに気付かせる。</p> <p>・町を訪れる人にもっとよさを知らせたいという意欲を高めさせる。</p> <p><手立て(2)>よさを伝えることの必要感と相手意識をもたせ、伝える内容を考えさせる。</p>
<p>わたしたちの海の名物じまんをしよう</p>	
<p>2 洋野町の名物について考え、全体で交流する。</p> <p>○じまんしたい洋野町の名物(人)は何ですか。理由も話しましょう。</p> <p>・漁協の澤尻さん、高際さん ・南部ダイバー</p> <p>・ダイちゃん、マキちゃん</p> <p>・ウニ ・サケ ・増殖溝 ・ふ化場</p> <p>・海浜公園 ・サケの稚魚放流</p> <p>・神社の例大祭 ・ウニ祭り</p> <p>・潮風トレイル</p>	<p><手立て(1)>前単元や社会科、総合と関連させながら、さまざまな視点で町の特徴を捉えさせる。</p> <p>・名物には、食べ物だけでなく、施設や文化的行事、人(名人)なども含んで良いこととする。</p> <p>・知識や経験から、3年生児童から挙げられるものは少ないと思われる。児童から挙がらなかった場合、ウニ増殖溝やふ化場、南部ダイバーを映像や写真などで紹介して知らせる。</p> <p>・山に関係するものについても認め、海と関わりがあることに気付かせる。</p> <p><手立て(3)>友達との対話を通して、自分と比べながら考えを広げたり深めたりさせる。</p> <p>◆洋野町のよさをたくさんの人に伝えたいという意欲をもって、計画を立てている。</p>
<p>3 伝え方を考える。</p> <p>○調べたことを、どのように伝えますか。</p> <p>・ポスター ・本 ・パンフレット ・発表会</p> <p>4 本時のふり返しをする。</p> <p>○今日の学習で考えたこと、友達との交流で気づいたことを書きましょう。</p>	<p><主体的に学習に取り組む態度> [発言・記述]</p> <p>・エモーションの旗と合わせて、洋野町を知らない人に名物を伝える方法を考えさせる。</p> <p>・洋野町にはたくさんの名物があることを確かめさせる。また、名物じまんへの意欲を高めさせ、次時以降へつなげさせる。</p>

第4学年 海洋科学習指導案

日 時 令和元年10月4日(金) 6校時
児 童 男子7名 女子7名 計14名
指導者 阿部 正文

1 単元名 「山から川へ、そして海へ」

2 単元について

(1) 教材について

地域の海は海産物が豊富である。森から流れ出る栄養のある水が、その一因となっていると考えられている。この教材は、山から川、海へと流れる水の循環の視点から、地域が豊かな自然環境となっている事実を誇りと愛情を持つとともに、人々の生活と関わりの大きい地域の環境を守るために、実行可能な自らの行動を考えることをねらいとしている。

(2) 児童について

児童は、海洋科に対して関心意欲が高い。海洋科と自分たちの生活との関わりを感じながら学ぶに必要感を持ち、探究的な学習のよさを感じている様子である。他教科等と関連させたり、既習を活用したりすることも少しずつ意識できるようになってきている。前単元では地域の有家川の水質調査を行い、良質な水が海へ流れていくことを理解している。社会科「水はどこから」では、水が、水源となる山の森林から川、海へつながっていることや、人々の生活用水に利用されていること学んでおり、水が人々の生活と密接に関わっていることに気付いている。

(3) 指導について

地域では多くの海産物を獲ることができることについて、水を視点とした森と海との関係を調べることによって気づかせていく。同時に、必ずしも洋野町と同じ状況ではなく、水質汚染など海洋生物にとって環境の悪い地域もあるといった多様な見方・考え方により、知識の汎用性をもたせたい。また、人々の生活と大きな関わりのある自然環境を守りたいという思いを持ち、自分でも実行できそうなことについて考えさせたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ・地域で多くの海産物を獲ることができる理由について調べるとともに、地域に誇りと愛情をもつことができる。
- ・地域の自然環境を守ろうとする思いを持ち、実行可能な自らの行動を考えることができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・水の循環をもとに、地域の山や川、海がよい環境となっていることを理解している。・自然環境と生活に関わりがあることに気づいている。	<ul style="list-style-type: none">・情報を整理・分析し、自分の考えをもっている。・目的や相手に応じて分かりやすくまとめたり表現したりしている。	<ul style="list-style-type: none">・主体的・協働的に学び、地域の自然環境に誇りと愛情をもっている。・自然環境を守る行動をしようとしている。

(3) 単元計画 大単元名「水の旅」 (全 30 時間 本時 26/30)

<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">○主な学習活動 【学習段階】</p>	<p style="text-align: center;">・指導上の留意点 ◇教科等の関連 ◆評価規準 <観点> [方法]</p>
<p>オリエンテーション</p> <p>○前学年の海洋学習を振り返る。</p> <p>○水はどこからどこへ行くのか考え、問いをもつ。(1)</p>	<p>・前年度の学習との関連づけを明確にして、つながりのある学習計画を立てさせる。</p> <p>◆前学年との関連をもとに、4年生の海洋科学習への問いをもっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述]</p>
<p>1. 「安心して海と暮らそう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>安心して暮らすために、どうすればよいのだろう</p> </div> <p>○安全を守る方法について問いをもち、課題解決の方法を考える。</p> <p>【課題設定】(1)</p>	<p>・震災の学びを想起させ、安心して生活したいといった願いをもたせる。</p> <p>◇総合的な学習「自分にできること(3年生)」</p> <p>◇社会科「災害からまちを守るために」</p> <p>◇復興副読本「いきる・かかわる・そなえる」</p> <p>◆安全な暮らしを守る方法について、問いをもっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述・観察]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>防潮堤を見学しよう</p> </div> <p>○防潮堤の役割や仕組みについて知る。</p> <p>【情報収集】(2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分で身を守る方法を調べよう</p> </div> <p>○自分で自分の身を守る方法について知る。</p> <p>【情報収集】(1)</p>	<p>・見学やゲストティーチャー、図書資料、インターネットをもとに調べさせる。また、施設だけに頼らず自分で身を守る方法も学ばせる。</p> <p>◇国語「メモの取り方をくふうして聞こう」</p> <p>◆見学でメモしたり図書資料で調べたりしている。</p> <p><知識・技能> [記述・発言]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>安心して海と暮らす方法についてメモしたことを整理しよう</p> </div> <p>○防災施設と自分の身を守る方法を整理・分析する。</p> <p>【整理・分析】(1)</p>	<p>・防災施設や自らの身を守る方法を整理させる。</p> <p>◆防災施設や自らの身を守る方法を整理し、災害への備えを理解している。</p> <p><思考・判断・表現> [観察・記述]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>安心して海と暮らす方法についてまとめ、伝えよう</p> </div> <p>○安心して海と暮らす方法をまとめ、相手意識をもって発表する。</p> <p>【まとめ・表現】(3)</p>	<p>・相手を考えて、話し方や資料提示などを考えながら分かりやすく発表させる。</p> <p>◆防災施設や自らの身を守る方法についてまとめ、相手意識をもって発表している。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>安心して海と暮らす方法についてふりかえろう</p> </div> <p>○課題に対する思いや願い、実行可能な行動について交流し、自分の命を守ることについての考えを広げ深める。</p> <p>【振り返り】(1)</p>	<p>・交流させることで、防災意識の見方・考え方を一層深めさせる。</p> <p>◇学活「災害時の行動」◇おにぎりの日</p> <p>◆防災について学んだことを日常生活に生かしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述]</p>

<p>2. 「海につながる有家川はどんな川？」</p> <p>有家川はどんな川なのだろう</p> <p>○有家川の水質について問いをもち、課題解決の方法を考える。</p> <p>【課題設定】(1)</p>	<p>・地域の海が豊かである理由について川を視점에調べさせる。</p> <p>◆問いをもち、主体的に課題設定している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [観察・記述]</p>
<p>水質調査をしよう</p> <p>○有家川の水質や周りの環境を知る。</p> <p>【情報収集】(3)</p>	<p>・水質調査やゲストティーチャーから学ばせる。</p> <p>◆有家川の水生生物によって水質を調べている。</p> <p><知識・技能> [観察・記述]</p>
<p>有家川はどんな川なのか、メモしたことを整理しよう</p> <p>○有家川の水質や周りの環境の実態について整理する。</p> <p>【整理・分析】(1)</p>	<p>・有家川の水質が良好であることに気づかせ豊かな海となっていることを理解させる。</p> <p>◆有家川の水質を理解している。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>
<p>有家川についてまとめ、分かりやすく伝えよう</p> <p>○有家川の環境状況をまとめ、相手意識をもって表現する。</p> <p>【まとめ・表現】(3)</p>	<p>・有家川の環境について考えたことを伝えさせる。</p> <p>◇国語「みんなで新聞を作ろう」</p> <p>◆有家川の環境状況についてまとめ、相手意識をもって伝えている。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>
<p>有家川を守るにはどうすればよいのだろう</p> <p>○水質のよい有家川の環境を守る思いや願いをもち、自分の考えについて交流する。</p> <p>○考えを共有しながら、実行可能な行動を考える。</p> <p>【振り返り】(1)</p>	<p>・交流させることで、見方・考え方をより一層広げ深めさせる。</p> <p>◆自分でもできそうなことを考え川の環境を守ろうとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述]</p>
<p>3. 「山から川へ、そして海へ」</p> <p>洋野では、どうしてたくさんの海産物をとることができるのだろう</p> <p>○海産物が豊富である洋野の海の実態を知る。</p> <p>○海産物が豊富である理由が森からの水が関係しているのではないかと考え、解決の方法を考える。</p> <p>【課題設定】(1)</p>	<p>・資料をもとに、地域の海は海産物が豊富であることを学習課題につなげさせる。</p> <p>・既習をもとに、水の視点から問いをもたせる</p> <p>◇社会科「水はどこから」</p> <p>◇海洋科「有家浜生き物図鑑を作ろう」</p> <p>◆洋野の海は海産物が豊富であることについて問いをもち、解決の方法を考えている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [観察・記述]</p>
<p>植林体験の計画を立てよう</p> <p>○植林体験を通して、植林の意味や森からの水と海の関係について調べる計画を立てる。</p> <p>【情報収集】(1)</p>	<p>・植林の目的や森の環境と海との関係について調べさせる。</p> <p>◆森からの栄養豊富な水が海により影響を与えていることを知ることができている。</p> <p><知識・技能> [観察・記述]</p>

<p>植林体験をしよう</p> <p>○植林によって森の環境を整えることを知る。</p> <p>【情報収集】 (2)</p> <p>森と海の関係を知ろう</p> <p>○森からの栄養のある水が、海産物にとってよい環境をつくることを知る。</p> <p>【情報収集】 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森からの栄養のある水によって海産物が豊富となっていることに気づかせる。 ・「森は海の恋人」の言葉の意味を考えさせ、森と海との関係について問いをもたせる。 ・YOUTUBE「#10 森は海の恋人～岩手県・一関市室根町 海と日本 PROJECT in 岩手県
<p>たくさんの海産物をとることのできる理由についてメモしたことを整理しよう</p> <p>○森と海の関係をもとに、洋野町では海産物が豊富である理由についての情報を整理・分析し、自分の考えをもつ。</p> <p>【整理・分析】 (1) 本時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協働的に活動させる。 ◆協働的に情報を整理・分析している。 <p><思考・判断・表現> [記述・観察]</p>
<p>たくさんの海産物をとることのできる理由についてまとめ、分かりやすく伝えよう</p> <p>○整理・分析したことについて資料を作成し、相手意識をもって伝える。</p> <p>【まとめ・表現】 (3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整理・分析したことについて重要な順に序列化させ、それを生かして表現させる。 ◇国語「目的や形式に合わせて書こう」 ◇国語「報告します、みんなの生活」 ◆整理・分析したことをもとにまとめ、相手意識をもって伝えている。 <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p>
<p>たくさんの海産物をとることのできる環境を守るためにはどうすればよいのだろう</p> <p>○洋野町の自然を守りたい、守らなければならないなどという思いや願いを交流する。</p> <p>○考えを共有しながら、実行可能な行動を考える。</p> <p>【振り返り】 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もし海産物が獲れなくなったらどうなるのかなど、洋野町の人々の生活も関わらせながら必要感のある思いをもたせる。 ・海産物が育つふるさとの環境を守るために自分でもできそうなことを考えさせる。 ◆学びをもとに自然を守る方法を考え、実行しようとしている。 <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述]</p>

4 本時の学習

(1) 本時の目標

森と海の関係をもとに、洋野町が豊富な海産物を誇る理由について協働的に情報を整理・分析し、自分の考えをもつことができる。

(2) 展開案

学習内容 ○発問 ・主な子供の反応	<手立て>・留意点 ◆評価規準<観点> [方法]
<p>1 既習を想起し、本時の学習内容につなげる。</p> <p>○前の時間には、どんな学習をしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森と海の関係について学んだ。 <p>○メモしたこと(情報)を相手に伝えるために、どうすればよいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモしたことを整理したい。 	<p><手立て(1)>地域の自然環境に注目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真で活動を想起させる。 ・栄養のある水が海へ流れていることを、絵図を使って確かめさせる。 ・伝える相手は地域の人や洋野町の人、他校(内陸部)などを想定している。 ・単元の課題を確かめ、本時につなげさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たくさんの海産物をとることができる理由についてメモしたことを整理しよう</p> </div>	<p><手立て(2)>発表資料にまとめるための必要感をもたせ、情報を整理・分析させる。</p>
<p>2 情報を整理・分析する。</p> <p>○メモの中で、どんなことを選んで整理すればよいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことや伝えたいこと。 <p>○班のみんなで、関連のあるものどうしを仲間分けしましょう。</p> <p>○仲間分けを紹介しましょう。</p>	<p><手立て(3)>比較・関連づけをしながら協働的に情報を整理・分析させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主観で情報を選び、短い言葉で記述させる。 ・仲間分けの仕方について交流させることで、多様な見方で海と森の関係を捉えさせる。 ・【仲間分けのキーワード例】 森林、栄養、水 ・キーワードは資料作りに生かさせる。 <p>◆協働的に情報を整理・分析している。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・観察]</p>
<p>3 学んだことを活用して考える。</p> <p>○たくさんの海産物をとることができる理由は、何だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森からの栄養のある水が流れている。 <p>○どこの海でも、たくさんの海産物をとることができるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森が少ない地域の海はそうではないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識に汎用性をもたせる。 ・地域から他地域へ、視野を広げさせる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○洋野町でたくさんの海産物を獲ることができることについて、どう思いますか。</p> <p>○整理の仕方については、どうでしたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洋野町の自然環境に対する思いや願いなど、自分の考えをもたせる。 ・学び方について振り返らせる。

5・6年

海洋科

O

D

第5学年 海洋科学習指導案

日時 令和元年10月4日(金) 5校時
 児童 男子13名 女子7名 計20名
 指導者 花田 栄順

1 単元名 「お帰りなさい、また来てね ～洋野町のサケのひみつとは?～」

2 単元について

(1) 教材について

5年生は、学びの場を「世界一の太平洋」として、「海と産業」というテーマで海洋教育に取り組んでいる。本教材は、洋野町を含む三陸沿岸の地域が海流の影響で、豊富な漁場となっていることや、サケの回帰、漁業において海流がどのように影響しているのか、サケの秘密を学び、サケが生きるために、洋野の自然環境、洋野の人々が関係していることを捉え、自己の生き方を考えることをねらいとしている。

(2) 児童について

5学年の児童は、海洋科の特色である地域を知ることに対して意欲的に取り組んでいる。1学期「洋野町のウニのひみつとは?」というテーマで、ウニ栽培センターや増殖溝を見学し、学んだことを整理・分析して、内陸の大野小学校へ伝えるために、各グループで新聞にまとめた。指導を通して、児童は問いをもち、学び続ける探究的な学習の仕方を身に付けてきた。しかし、学んだことから必要な情報を整理すること、根拠をもって自分の考えを話すことが課題として挙げられる。

(3) 指導について

指導にあたっては、「洋野町のサケのオリジナルキャラクターを作ろう」というテーマを設け、キャラクターのプロフィールを作るために、どんなことを知る必要があるのか問いをもたせ、単元を通してテーマを意識させながら、主体的に洋野町のサケの秘密を学び続けられるようにする。また、各教科との教科横断的な学習を進めていく。特に、国語科で学んだことを活かして、情報を集め、必要な情報を観点ごとに整理させる。また、学んで知った事実と自分の考えを区別しながらまとめられるように、文末表現を意識させる。社会科や理科で学んだことを活かし、洋野町の水産業やサケの回帰、および海流、命の循環について学びを深めていく。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ・サケについて問いをもち、探求的な活動を通して、サケの成長を支える環境や関わる人々の工夫に気付くことができる。
- ・進んで地域へ関わりながら課題解決し、地域の特産であるサケを守るために自分ができそうなことを実践することができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
サケの生態やとりまく環境（水産業、海流など）を理解し、サケが回帰できるようにするための地域の在り方や自己の生き方に気付いている。	学んだことから必要な情報を整理し、自己の生き方を考え、相手意識や目的意識をもちながら表現している。	問いをもちながら主体的・協働的に学習活動に取り組み、進んで地域に関わり、自己の生き方を考えようとしている。

(3) 単元計画 大単元名「ぼくたち・わたしたちの海のひみつを探ろう」(全30時間 本時23/30)

<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p style="text-align: center;">○主な学習活動 【学習段階】</p>	<p style="text-align: center;">・指導上の留意点 ◇教科等との関連 ◆評価規準 <観点> 【方法】</p>
<p>「オリエンテーション」</p> <p>○前学年の海洋学習を振り返る。</p> <p>5年生を知り、学習内容の見通しをもつ。(1)</p>	<p>・前年度の学習との関連付けを明確にして、つながりのある学習計画を立てさせる。</p> <p>◇国語科「ぼくらのもの」</p> <p>◆5年生の学習内容に関心をもち、進んで海や地域に関わろうとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 【観察・発言】</p>
<p>1. 「洋野町のウニのひみつとは？」</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">洋野町のウニにはどんなひみつがあるのだろう。</p> <p>○洋野町のウニの漁獲量の多さや美味しさについて問いをもち、学習計画を立てる。(1)</p> <p style="text-align: center;">【課題の設定】</p>	<p>・洋野町のガイドブックやパンフレットを参考に、特産品であるウニに関心をもたせる。</p> <p>◇国語科「一つの言葉から」</p> <p>◆洋野町のウニの秘密について問いをもち、進んで海や地域に関わろうとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> 【発言・記述】</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">洋野町のウニのひみつを調べよう。</p> <p>○本やインターネットで調べたり、ウニ栽培センター、増殖溝を見学したりしてウニの秘密を調べる。(5) 【情報の収集】</p>	<p>・ウニの生態や水産業、流通など、視点をもって調べさせる。</p> <p>◇社会科「水産業のさかんな地域」</p> <p>◇社会科副読本「わたしたちの洋野」</p> <p>◇理科「魚のたんじょう」</p> <p>◆調べ学習を通し、ウニの生態や成長に適した海洋環境、働く人々の工夫や努力に気付いている。</p> <p><知識・技能> 【発言・記述】</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学んだことを振り返り、ウニのひみつの伝え方を考えよう。</p> <p>○学んだことを振り返り、誰に、何を、どのように伝えるのか考える。(2) 【整理・分析】</p>	<p>・4年生の学習を活かし、ノートに学んだことを整理させる。また、自分の伝えたいことを中心に、グループ分けをしてまとめ方を考えさせる。</p> <p>◇国語科「意見と理由を聞き取ろう」</p> <p>◆学んだことを振り返り、誰に、何を、どのように伝えるのか考えている。</p> <p style="text-align: center;"><思考・判断・表現> 【発言・記述】</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウニ新聞をつくり、ポスターセッションで伝えよう。</p> <p>○伝えたいテーマを中心に、ウニ新聞をつくり、ポスターセッションをする。(5) 【まとめ・表現】</p>	<p>・大野小学校に伝えるという相手意識をもち、写真や図を用いて分かりやすく新聞にまとめさせる。</p> <p>◇国語科「新聞記事を読み比べよう」</p> <p>◆相手意識をもって、分かりやすくウニ新聞にまとめたり、発表したりしている。</p> <p style="text-align: center;"><思考・判断・表現> 【観察・記述】</p>

<p>洋野町のウニのひみつについて振り返ろう。</p> <p>○本単元の導入時と終末時の自分を振り返り、学習を通して考えたことや学んだことを振り返る。</p> <p>(1) 【振り返り】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元の導入時のウニの知っていることリストを活用し、本単元での学びを自覚させ、次の学びに活用させる。 ◇社会科「自然条件と人々の暮らし」 ◆学びを振り返り、ウニについて新たに考えたり、問いをもったりして、進んで海や地域に関わろうとしている。 <主体的に学習に取り組む態度> [発言・記述]
<p>「海洋自由研究（夏休み）」</p> <p>○海洋自由研究の計画を立てる。</p> <p>○海洋自由研究に取り組む。</p> <p>○中間発表会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業を利用して、6年生までの継続研究に取り組ませる。 ◆問いをもち、それを解決するための方法を考え、取り組んでいる。<思考・判断・表現> <主体的に学習に取り組む態度> [記述]
<p>2. 「お帰りなさい、また来てね～洋野町のサケのひみつとは？～」</p> <p>洋野町のサケにはどんなひみつがあるのだろう。</p> <p>○洋野町のサケの漁獲量の多さや美味しさについて問いをもち、サケキャラクターを作るための学習計画を立てる。(2) 【課題の設定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洋野町のサケの漁獲量を表すグラフを考察したり、八木漁港を見学（社会科見学）したりして、問いをもたせ、仮説を立てさせる。 ◇算数科「算数の目で見てみよう」「百分率とグラフ」 ◇社会科「水産業のさかんな地域」 ◆洋野町のサケの秘密について問いをもち、進んで海や地域に関わろうとしている。 <主体的に学習に取り組む態度> [発言・記述]
<p>洋野町のサケのひみつを調べよう。</p> <p>○本やインターネットで調べたり、サケマスふ化場を見学したりしてサケの秘密を調べる。</p> <p>(4) 【情報の収集】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サケの生態や水産業、海流など、視点をもって調べさせる。 ◇社会科「水産業のさかんな地域」 ◇社会科副読本「わたしたちの洋野」 「あたらしい郷土岩手」 ◆調べ学習を通して、洋野町の水産業やサケの生態、海流の仕組み、洋野町の豊かな自然環境に気付いている。<知識・技能> [発言・記述]
<p>学んだことを整理し、サケのひみつを考えよう。</p> <p>○学んだことを整理し、サケの秘密を考える。</p> <p>(2) 本時【整理・分析】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさん学んだことの中から、生態、水産業など、項目ごとに情報を整理し、洋野町のサケの秘密を捉えさせる。 ◇国語科「和の文化について調べよう」 ◇社会科「水産業のさかんな地域」 ◇社会科副読本「わたしたちの洋野」 「あたらしい郷土岩手」 ◇理科「魚のたんじょう」「人のたんじょう」 「流れる水のはたらき」 ◆学んだことを整理し、洋野町のサケの秘密を捉えている。<思考・判断・表現> [発言・記述]

<p>自分だけのサケキャラクターを作り，サケのひみつを地域へ伝えよう。</p> <p>○サケの秘密から，自分の伝えたいことを考える。</p> <p>(1)</p> <p>○自分のサケキャラクターやサケの秘密をポスターへまとめ，発表する。</p> <p>(4)【まとめ・表現】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科と関連させて，事実と自分の考えを区別しながら，洋野町のサケを広めるポスターを作らせ，地域の方へ発表させる。 <p>◇国語科「資料を生かして考えたことを書こう」 「和の文化を調べよう」</p> <p>◆自分の伝えたいサケの秘密を基に，相手意識や目的意識をもってポスターへまとめ，表現している。 <思考・判断・表現> [観察・記述]</p>
<p>洋野町のサケのひみつについて振り返ろう。</p> <p>○本単元の導入時と終末時の自分を振り返り，学習を通して考えたことや学んだことを振り返る。</p> <p>(1)【振り返り】</p> <p>※3学期にサケの飼育，観察をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本単元の導入時のサケの知っていることリストを活用し，本単元での学びを自覚させ，次の学びに活用させる。 <p>◇理科「流れる水のはたらき」 「生命のつながりを考えよう」</p> <p>◇総合的な学習の時間「自分ができること，復興へ」</p> <p>◆学びを振り返り，サケについて新たに考えたり，問いをもったりして，進んで海や地域に関わろうとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [発言・記述]</p>
<p>「1年間の学習をまとめよう」</p> <p>○1年間の学習を振り返り，思いや願い，新たな問い，活かしたいことなどについて考え，次年度の活動につなげる。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間でまとめたノートや模造紙，ポスター，写真などを見直し，さらに調べてみたいことや疑問などをまとめ，次年度へつなげさせる。 <p>◇総合的な学習の時間「自分ができること，復興へ」</p> <p>◇復興副読本「いきる・かかわる・そなえる」 p12,13「海人の心」</p> <p>◇保健「けがの防止」 ◇道徳科「アルソミトラの空」</p> <p>◇図工科「じっと見つめてみると」</p> <p>◆さらに調べてみたいことや疑問などをまとめ，進んで海や地域に関わろうとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [観察・記述]</p>
<p>「海洋自由研究（冬休み）」</p> <p>○海洋自由研究の計画を立てる。</p> <p>○海洋自由研究に取り組む。(冬休み中)</p> <p>○中間発表会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業を利用して，6年生までの継続研究に取り組ませる。 <p>◆問いをもち，それを解決するための方法を考え，取り組んでいる。 <思考・判断・表現></p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述]</p>

4 本時の学習

(1) 本時のねらい

調べ学習や見学を通して学んだことを比較・分類・関連付けながら整理し、洋野町のサケの秘密を捉えることができる。

(2) 展開案

学習内容 ○発問 ・主な子供の反応	<手立て>・留意点◆評価規準<観点>〔方法〕
<p>1 既習を振り返り、学習問題を設定する。</p> <p>○見学でどこに行き、何を学んできましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さけますふか場でサケの生き方や育て方、豊富なエサが獲れる漁場のことを学んだ。 <p>○なぜ、サケのことを調べているのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方へ洋野町のサケのすごさやひみつを伝えるため。 <p>○今日は、どんなことを学習しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを書いたふせんを、仲間分けする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学んだことを整理し、サケのひみつを考えよう。</p> </div> <p>2 学んだことを、班で項目ごとに比較・分類・関連付けながら整理する。</p> <p>○班で自分の付箋を出し合い、項目ごとに整理しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくなって放流した有家川に帰ってくることは、「サケの生き方・生態」だね。 ・メスのサケから卵を取り出し、受精させふ化させることは「人々の工夫」だね。 ・豊富なエサがある洋野の海、海流などは「自然条件」かな。 <p>3 整理したものを発表し、サケの秘密を考える。</p> <p>○項目ごとに分けたものを見ると、何か気が付くことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サケの生態と自然、人々の工夫が全てつながっている。これら全てがサケのひみつだね。 <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○秘密を知ってすごいなと思ったことはどんなことですか。その理由も教えてください。</p>	<p><手立て>・留意点◆評価規準<観点>〔方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習の軌跡や見学の写真、ノートにメモしたものを基に学習を振り返らせる。 ・単元を通して、サケキャラクターを作り、洋野町のサケの秘密を地域へ発信するためという目的・課題を意識させる。 ・1学期の海洋学習である「洋野町のウニの秘密とは？」を学習の軌跡として掲示し、探求的な学習のプロセスを確認させる。 ・前時まで、調べたことを付箋に書き出させておく。 ・単元の導入で、サケプロフィールに載せる項目は考えているので、サケの生き方、人々の工夫など項目ごとに、情報を整理させる。 <p><手立て(3)>単元の導入で出てこなかった項目や整理する項目を悩んでいるものは、今までの項目と関連付けて考えさせる。机間指導で、話し合いの様子を確認し、意図的に発表させる。</p> <p><手立て(1)>回遊の事柄が出たら、写真で2年生の学習を振り返り、自分たちが放流したサケの現在の様子を想像させる。そのサケがまた新しい命をつないでいることを考えさせ、サケ・川・海・洋野のすごさを実感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし洋野町の自然やふ化場の人々がいなかったら、サケはどうなるのか考えさせる。 <p>◆学んだことを比較・分類・関連付けながら整理し、洋野町のサケの秘密を捉えている。</p> <p style="text-align: right;"><思考・判断・表現>〔発言・記述〕</p> <p><手立て(2)>洋野町のサケの秘密ですごいと思ったことを振り返らせ、その思いを次時以降の学習へつなげさせる。</p>

第6学年 海洋科学習指導案

日時 令和元年10月4日(金) 6校時

児童 男子6名 女子10名 計16名

指導者 貴田 靖子

1 単元名 「サケが帰って来られない? ～洋野の恵みを守るために～」

2 単元について

(1) 教材について

本校の海洋教育のテーマは「私たちの教室は『洋野と世界一の太平洋』」である。本単元では、全国有数の漁獲高、生産量を誇る洋野町のサケに関する学習を通して、サケやその他の海産資源が直面している環境問題について、さらに洋野町の未来について考えることをねらいとしている。

(2) 児童について

児童は、海洋学習に対しては大変意欲的に取り組んでおり、自分達の疑問に対する予想と比べながら学習し、課題に対する自分の考えを新聞やリーフレット等にまとめることができる。しかし、考えはもっているものの自発的な発言については苦手意識を感じている児童が多く、表現力不足が課題である。サケについては、卵から孵化させて放流しているため愛着がある。また、地域の水産業や特産品に対して大変誇りをもっており、前単元のウニの学習を通して、変化する海洋環境に危機感を感じている児童が多い。

(3) 指導について

本単元では、地域の水産業を見つめ直し、自分たちができることと洋野町の未来について考えていく。前単元でウニが現在抱えている磯焼け等の問題について深く考えたことを生かし、サケにも、直面している問題があることに視点を与え、課題追究する必然性をもたせたい。そして、調べ学習やGT(ゲストティーチャー)から話を聞く等の情報収集活動を取り入れ、問題と取り組みについての理解を深めていく。さらに“食”へも目を向け、サケの命を頂いていることと、恵みを頂くために水産業に関わる人々が努力していることに気づかせたい。学習のまとめでは“自分たちができること”と“洋野町の未来”を考えさせていく。他者へ発信するため、学習の中でグループ、あるいは全体で交流する言語活動を取り入れ、発表する場を確保するとともに表現力を高めていきたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- ・地域の水産業を見つめ直し、ふるさとに誇りをもつと共に、サケを守り活用発展していくために自分たちでできることと洋野町の未来を考えることができる。
- ・地域の水産業を通して地球環境について考え、自分たちにできるところを実践することができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・サケをとりまく環境問題を理解し、自分たちができることと、自分たちの生き方との関わりに、気づいている。	・情報を整理し自分の考えをもつとともに、サケを守るために実行可能な方法を考えている。	・主体的、協働的に学んでいる。 ・洋野町の未来のために、考えたり行動したりしている。

(3) 単元計画 大単元名「私たちのふるさと洋野～洋野そして世界へ～」(全30時間本時23/30)

<p>学習課題 【学習段階】 ○海洋科の主な学習活動</p>	<p>・指導上の留意点 ◇教科等の関連 ◆評価規準 <観点> [方法]</p>
<p>オリエンテーション ○前学年の海洋学習を振り返る。 ○6年生の内容を知り、学習の見通しをもつ。 (1)</p>	<p>・前年度の学習との関連づけを明確にしてストーリー性のある計画を立てさせる。 ◆前学年との関連に気づき、6年生の海洋科学習への問いをもっている。 <主体的に学習に取り組む態度> [観察・記述]</p>
<p>1. 「ウニがあぶない! ～考えよう生物のバランス～」 ウニが直面している問題とは? ○ウニが置かれている問題について課題意識を持ち、学習計画を立てる。 【課題設定】(1)</p>	<p>・前年度に作成したウニのキャラクターをもとに、最近のウニの課題について知らせ、課題意識をもたせる。 ◆主体的に学習計画を立てている。 <思考・判断・表現> [観察・記述] ◇理科「地球と生き物のくらし」</p>
<p>最近の海の環境を調べよう ○ウニを取り巻く環境の変化を調べ、様々な問題があることを知る。 【情報収集】(2)</p> <p>ウニを育てて観察しよう ○ウニがえさを食べる様子や生態について詳しく観察する。 【情報収集】(2)</p>	<p>・調べ学習、GTから海の環境問題について学ばせる。(海のゴミ問題、温暖化、乱獲、生態系の乱れ等) ・ウニの飼育を通して、ウニが住みやすい環境を作る人々の努力を知り、自分たちでもできることはないか考えさせる。 ◆環境問題について気付いている。 <知識・技能> [発言・記述] ◇理科「動物のからだとはたらき」 「植物のからだとはたらき」 「生き物のくらしと環境」</p>
<p>わたしたちができることは何だろう ○ウニを守るために自分たちができることを考える。 【整理・分析】(1)</p>	<p>・ウニの成長に適した環境を守るために自分でもできることについて考え整理させる。 ◆海洋環境を守り、洋野町のウニを守るために自分たちができることを考えている。 <思考・判断・表現> [発言・記述]</p>
<p>ウニリーフレットを作ろう ○学習まとめをリーフレットにまとめ、発信する。 【まとめ・表現】(3)</p>	<p>・前年度作成のキャラクターに書き加える形で学習をまとめるリーフレットを作り、校報などを通じて保護者や地域に発信させる。 ◆洋野町のウニを守るために自分たちができることや呼びかけたいことを考えている。 <思考・判断・表現> [記述]</p>

<p>ウニと洋野町環境についてふりかえろう</p> <p>○洋野町の海洋環境を守ろうという意識をもつ。 【振り返り】(1)</p>	<p>・これから自分たちが取り組んでいけそうなことを確認し、意識を高めさせる。 ◆環境を守るために実行できそうなことを考えている。 ＜主体的に学習に取り組む態度＞[観察・記述]</p>
<p>2. 「個人研究に取り組もう」</p> <p>○個人研究の計画を立てる。(1) ○個人研究に取り組む。(夏休み中) ○中間発表会をする。(2)</p>	<p>・夏季休業を利用して、5年生からの継続研究に取り組ませる。 ◆問いをもち、それを解決するための方法を考え、取り組んでいる。 ＜思考・判断・表現＞ ＜主体的に学習に取り組む態度＞[記述]</p>
<p>3. 「サケが帰って来られない？ ～洋野の恵みを守るために～」</p> <p>サケが直面している問題とは？</p> <p>○サケと環境の変化について課題意識をもち、学習計画を立てる。 【課題設定】(1)</p>	<p>・サケ飼育や遡上の様子を想起し、最近の三陸の魚や、サケの課題について知らせ、課題意識をもたせる。 ・問題に対する仮説を考えさせる。 ◆主体的に学習計画を立てている。 ＜思考・判断・表現＞[観察・発言]</p>
<p>サケが帰って来られない理由とは？</p> <p>○サケの生態と地球温暖化の関わりについて調べる。 【情報収集】(2)</p>	<p>・調べ学習、GTから海の環境問題について学ばせる。(温暖化による海水温上昇や海流の変化等) ◆環境問題について気付いている。 ＜知識・技能＞[発言・記述]</p>
<p>サケを守るための努力とは？</p> <p>○洋野町のサケを守る取り組みをまとめる。 【整理・分析】(1)</p>	<p>・今までの学習から、洋野町での取り組みと環境問題との関わりについて整理してまとめさせる。 ◆地域の水産業の取り組みと努力に気付いている。＜知識・技能＞[記述]</p>
<p>サケの命のつながりを考えよう。</p> <p>○地元でサケの美味しい頂き方(レシピ)を考え調理する。 【整理・分析】(3)</p>	<p>・サケを使った料理のレシピを考えて実際に調理し、命を頂いていることと、恵みを頂くために水産業に関わる人々が努力していることに気づかせる。 ◆地域の水産業のための人々の努力に気付いている。 ＜思考・判断・表現＞[観察・発言] ◇社会科「世界の人々とともに生きる」 ◇理科「地球に生きる」</p>

<p>洋野町の「ちょこっと未来」を考えよう</p> <p>○自分たちができると洋野町として取り組んでほしい未来について考える。</p> <p style="text-align: right;">【整理・分析】(1)</p> <p>○考えたことをまとめ学級内で発表し、さらに内容を深める。</p> <p style="text-align: right;">【整理・分析】(1) 本時</p>	<p>・グループで話し合い、自分たちが選んだ方法でプレゼンの準備・発表をさせる。</p> <p>◆海洋環境を守り、洋野町のサケを守るために自分たちができると、洋野町の未来の水産業について考えている。</p> <p><思考・判断・表現> [発言・記述]</p>
<p>わたしたちの思いを伝えよう。</p> <p>○自分たちができると、洋野町として取り組んでいってほしいことを発表する。</p> <p style="text-align: right;">【まとめ・表現】(1)</p>	<p>・これまでの学習を振り返り、テーマを決めて保護者に向けて発表させる。</p> <p>◆海を活用し発展してきたふるさとへの誇りをもち、海との共生共存のために自分たちができることを実践しようとしている。</p> <p><思考・判断・表現> [発言・記述]</p>
<p>学習したことを振り返ろう</p> <p>○洋野町の海洋環境を守ろうという意識をもつ。</p> <p style="text-align: right;">【振り返り】(1)</p>	<p>・これから自分たちが取り組んでいけそうなことを確認し、意識を高めさせる。</p> <p>◆環境を守るために実行できそうなことを考えている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [発言・記述]</p>
<p>1年間の学習をまとめよう</p> <p>○学習したことを振り返り、思いや願い・新たな問い・生かしたいことなどについてまとめ、発表し合う。</p> <p style="text-align: right;">(1)</p>	<p>◆海を守るためにこれから自分たちができると考えている。</p> <p><思考・判断・表現> [観察・発言]</p>
<p>4. 「卒業論文を書こう」</p> <p>○卒業論文を書く。 (3)</p> <p>○卒業論文発表会をする。 (1)</p>	<p>・2年間取り組んだ個人研究を卒業論文にまとめさせる。</p> <p>◆今後の課題につなげている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度> [記述]</p>

4 本時の学習

(1) 本時の目標

海洋環境を守り、洋野町のサケを守るために自分たちができると、洋野町の未来の水産業について考えることができる。

(2) 展開案

学習内容 ○発問 ・主な子供の反応	<手立て>・留意点 ◆評価規準<観点>[方法]
<p>1 既習を振り返り、学習の見直しをもつ。</p> <p>○サケが戻ってくる洋野町のために、わたしたちができて そうなことには何がありましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化を進ませない。環境に優しい物を使う。 ・きちんと命を頂く。地産地消。 <p>○今日は洋野町の未来を考えて話し合ひましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>洋野町の「ちょこつと未来」を考えよう。</p> </div> <p>2 「ちょこつと未来」を伝え合う。</p> <p>○洋野町の「ちょこつと未来」を話し合ひましょう。疑問点はないか、もっとよい方法はないか、考えながら発表を聞きましょう。</p> <p><海洋環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水温を下げるために温暖化を遅らせる。 ・植林をして森のダムをつくる。 等 <p><サケの養殖></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さけますふ化場の取り組みをもっと広める。 ・安全な方法での養殖を進める。 等 <p><食などの消費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋野町特産品を取り入れたサケ料理を宣伝する。 ・魚離れを防ぐ取り組みを行う。 等 <p>3 洋野町の未来への提案を整理・分析する</p> <p>○みなさんの発表から、洋野町に提案したいことをまとめましょう。</p> <p>4 本時の振り返りをする。</p> <p>○今日の学習で考えたことを振り返りましょう。</p>	<p><手立て (1) ></p> <p>サケのために洋野町の海洋環境や消費がどうなってほしいのか、そのために、わたしたちが実践できることは何か、町として取り組んでほしいことは何か考え、グループで洋野町の未来をまとめたことを確認させる。</p> <p><手立て (2) ></p> <p>サケを守るため実現できそうな未来を以下の視点に絞って考えまとめてさせておく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①海洋環境に関すること ②サケの養殖に関すること ③食など消費に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表ごとに、質問や意見を交流させ、考えをさらに深めさせる。 ・交流で出された質問や意見を整理しながら板書しておく。 <p><手立て (3) ></p> <p>“洋野町にしてほしいこと” が伝わるように表現する場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋野町に提案できそうな内容を全体で整理させる。 <p>◆海洋環境を守り、洋野町のサケを守るために自分たちができると、洋野町の未来の水産業について考えている。</p> <p><思考・判断・表現> [記述・発言]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋野町の未来へ提案についてまとめてみて、自分はどう考えたのか書かせる。

洋野町立大野小学校

3年 総合的な学習 単元計画

70時間

月	ひろの学 (海洋教育)	時数	クラスタイム	時数	復興教育	時数	合計
4月	オリエンテーション ・3年生から学ぶ「ひろの学」について学ぶ。 ・大野の農業、酪農について	3	パソコンと仲良くなるう ・パソコンの基本操作を学習する。	1	避難経路を知ろう	1	5
5月	○大野大好き ・大野の雑穀 (大豆、そば、あわ、ひえ、キビ…)を知る。 ・課題を発見する。	3	パソコンと仲良くなるう ・パソコンの基本操作を学習する。	2	副読本 「しぜんとともに」 「思いやりの心」	2	7
6月	大豆を栽培しよう。 ・ゲストティーチャーから学ぶ。 (大豆の種類、植え方、管理方法) ・成長の様子を観察する。 ・成長の記録をとる。	4	パソコンと仲良くなるう ・インターネットをやってみよう。	2	副読本 「地震のしくみとひがい」	1	7
7月	大豆を栽培しよう。 ・黄豆、青豆、黒豆の特徴や豆料理を調べる。 ・成長の様子を観察する。 ・成長の記録をとる。	3	パソコンと仲良くなるう ・プログラミングをやってみよう。	1	副読本 「岩手の主な災害」 「津波のしくみとひがい」	2	6
8月	○大野の魅力発見 ・疑問発見 ・課題設定 ・なにやどやら、パークゴルフ、駒踊り、パークゴルフ等	2			地震時の避難の仕方	1	3
9月	大野の魅力発見 ・課題追究	4			社会科見学の計画 社会科見学 ・もぐらんびあ見学 ・まとめ	3	7
10月	大豆収穫しよう ・大豆料理の計画を立てる。 ・役割分担を話し合う。	4	パソコンと仲良くなるう ・プログラミングをやってみよう。	2	副読本 「つらいとき、かなしいとき、どうする？」	1	7
11月	大豆料理を作ろう ・大豆料理 (豆腐、豆しとぎ等)を作る。 ・これまでの活動をまとめる。	4	パソコンと仲良くなるう ・プログラミングをやってみよう。	2	火災時の避難の仕方	1	7
12月	まとめよう ・発表会に向けて資料を作る。 ・発表会をする。	2	あたまの中の地図を作ろう ・マインドマップ	2	副読本 地域の方へ感謝しよう	2	6
1月	○大野の魅力発見 ・まとめ ・発表会に向けて資料を作る。	2	あたまの中の地図を作ろう ・マインドマップ	1	副読本 「かえってきた、いらっしゃませ」	1	4
2月	大野の魅力発見 ・発表会	3	あたまの中の地図を作ろう ・マインドマップ	1	副読本 「ひさいした犬をセラピードッグに育てる」 「今度は自分たちが」 「四つの教え」	3	7
3月	来年度に向けて	1	あたまの中の地図を作ろう ・マインドマップ	1	副読本 「みんなでぼうさい力を高めよう」 3.11集会	2	4
合計		35		15		20	70

4年 総合的な学習 単元計画

70時間

月	ひろの学 (海洋教育)	時数	クラスタイム	時数	復興教育	時数	合計
4月	オリエンテーション ○大野川探検隊 ・大野川について知っていることを話し合う。	2	タブレットに記録を残そう ・基本操作や写真などの記録の残し方を学ぶ。	2	避難経路を知ろう (避難訓練)	1	5
5月	大野川探検隊 ・大野川 (明寿橋付近) を観察し、記録や感想を整理する。	4	タブレットに記録を残そう ・写真等の整理の仕方を学ぶ。	1	副読本⑮ 副読本⑨	2	7
6月	大野川探検隊 ・大野川 (給食センター付近) を観察し、記録や感想を整理する。 ・大野川源流を観察する。	7					7
7月	大野川探検隊 ・水生生物等を調べ、記録や感想をまとめる。	5			副読本⑮	1	6
8月	大野川探検隊 ・記録や感想をまとめる。	1	タブレットに記録を残そう ・記録を整理する。	2	地震時の避難の仕方 (避難訓練)	1	4
9月			バリアフリー調査隊 ・パラリンピックについて調べる。	5	地震時の避難の仕方 (避難訓練) 副読本①	1	6
10月	大野川探検隊 ・蛙について調べたことや放流体験について記録をまとめる。	6			副読本⑮	1	7
11月	大野川探検隊 ・大野川探検についてまとめる	2	バリアフリー調査隊 ・久慈平荘慰問	3	副読本 火災時の避難の仕方 (避難訓練)	2	7
12月	大野川探検隊 ・報告会 ・振り返り	3			副読本 地域の方へ感謝しよう	2	5
1月			バリアフリー調査隊 ・滝音さんのお話を聞く会 ・お礼の手紙を書く。	3	副読本⑭	1	4
2月			バリアフリー調査隊 ・キャップハンディ体験 ・体験をまとめる。 ・お礼の手紙を書く。	6	副読本⑮	1	7
3月			バリアフリー調査隊 ・感想交流 ・振り返り	3	副読本⑮ 3.11集会	2	5
合計		30		25		15	70

月	ひろの学(海洋教育)	時数	クラスタイム	時数	復興教育	時数	合計
4月	オリエンテーション 《ふるさと大野大発見》 ○一人一芸の村に生まれて！ ・1年間の見通しをもとう	2	パソコンやタブレットを活用しよう ・パソコンを使って情報を集めてみる	2	避難経路を知ろう(避難訓練)	1	5
5月	・「一人一芸の村」について課題を確かめる ・予想する ・調べるための計画を立てる	4	パソコンやタブレットを活用しよう	2	副読本⑤	1	7
6月	・「一人一芸の村」について調べる ア 昔の広報を読む イ インターネットで調べる ウ 当時を知る方から聞く エ ヤマセについて調べる	4	パソコンやタブレットを活用しよう	2	副読本④	1	7
7月	・調べたことを深める ア 当時を知る方との交流会 イ 大野木工のルーツを調べる ウ 調べたことをまとめる	5			副読本⑦	1	6
8月	・発表会をする。	2			地震時の避難の仕方(避難訓練)	1	3
9月	○「一人一芸」な人を探そう ・「一人一芸」について課題をもつ ・調べる見通しをもつ ・大野に住む「一芸」をもつ方々をリストアップする	6			副読本⑩	1	7
10月	・「一芸」をもつ方々を分類する ・調査結果をまとめる ・交流(発表)のための準備をする ・調べたことを交流する	6			副読本⑫	1	7
11月	○産業博士になろう ・大野の産業について調べる計画 ・見学の計画を立てよう ・見学	5			副読本 火災時の避難の仕方(避難訓練)	2	7
12月	・見学のまとめをしよう ・学んだことを交流しよう	3			副読本 地域の方へ感謝しよう	2	5
1月	○これがわたしの生きる道 ・職業の種類について予想する ・職業調べの計画	3			副読本⑮	1	4
2月	・インターネットや図書で調べる ・調べたことをまとめる	6			副読本⑰	1	7
3月	・発表の準備をする ・調べたことを交流する	3			副読本⑱ 3.11集会	2	5
合計		49		6		15	70

月	ひろの学 (海洋教育)	時数	クラスタイム	時数	復興教育	時数	合計
4月	オリエンテーション ○一人一芸の村に生まれてII ・前年度に学習したことを振り返り、さらに深めたいことについて考える。	4	パソコンやタブレットを活用しよう ・タブレットのカメラ機能を使って調べたことの記録を残したり、パソコンに取り入れて活用したりする方法を知る。	2	避難経路を知ろう (避難訓練)	1	7
5月	一人一芸の村に生まれて ・さらなる課題を追究する。(洋野町と修学旅行地仙台を比べる等) ・まとめ、発表準備をする。	4	パソコンやタブレットを活用しよう ・タブレットのカメラ機能を使って調べたことの記録を残したり、パソコンに取り入れて活用したりする方法を知る。	2	副読本⑭	1	7
6月	一人一芸の村に生まれて ・さらなる課題を追究する。(洋野町と修学旅行地仙台を比べる等) ・まとめ、発表準備をする。	4	パソコンやタブレットを活用しよう ・タブレットのカメラ機能を使って調べたことの記録を残したり、パソコンに取り入れて活用したりする方法を知る。	3	副読本⑮	1	8
7月	一人一芸の村に生まれて ・発表をする。	4			副読本⑯	1	5
8月	一人一芸の村に生まれて ・振り返る。	4			地震時の避難の仕方 (避難訓練)	1	5
9月	一人一芸の村に生まれて ・まとめる。	5			副読本⑰	1	6
10月			これが私の生きる道 ・自分の歩みについて、課題を設定する。	6	副読本⑱	1	7
11月			これが私の生きる道 ・自分の過去について振り返り、まとめる。	5	副読本⑲ 火災時の避難の仕方 (避難訓練)	2	7
12月			これが私の生きる道 ・自分の過去について振り返り、まとめる。	4	副読本 地域の方へ感謝しよう	2	6
1月			これが私の生きる道 ・自分の将来について考え、就きたい職業やそれに至るまでの道のりを調べ、まとめる。	5	副読本⑳	1	6
2月			これが私の生きる道 ・発表をして、まとめるをする。	3	副読本㉑	1	4
3月					副読本㉒ 3.11集会	2	2
合計		25		30		15	70

3年生社会科見学 実施計画

洋野町立大野小学校

1 名称 3年社会科見学

2 目的

- (1) ユニバース種市店を見学し、スーパーマーケットで働く人たちの様子や店内の工夫を知る。
- (2) ウニ栽培センターを見学し、洋野町で行われている漁業に関心をもち、ウニの栽培の様子や収穫の工夫を知る。
- (3) 公共の場におけるマナーや集団行動のきまりを守り、節度ある言動を学ぶ機会にする。

3 計画

期 間	令和元年9月24日(火)
場 所	ユニバース種市店、ウニ栽培センター
日 程	大野小(バス) 9:00 発 ユニバース種市店 9:50 着 ユニバース種市店 11:30 発 海浜公園 11:40 着 ⇒ 雨の場合はウニーク内で昼食 海浜公園 12:50 発 ウニ栽培センター 13:00 着 ウニ栽培センター 14:30 発 大野小(バス) 15:00 着
経 路	大野小 ~ ユニバース(種市店) ~ 海浜公園 ~ ウニ栽培センター ~ 大野小
対象児童	第3学年児童 17名(男子10名、女7名)
目 的	身近な地域の施設を見学し、人々の仕事の様子について知る。

4 学年別・男女別参加児童予定数、参加率

学年	3学年	参加率
男子	10	100%
女子	7	100%
計	17	100%

5 不参加児童の数と教育的措置

不参加児童なし

6 引率者の職、氏名及び主たる事務分担

職名	氏名	事務分担
教諭	深澤 好花	引率・安全指導
教諭	村上 美希子	保健・安全指導
学校支援員	林上 千佳子	支援

7 実施のための安全計画

- ・ 健康状態の把握
- ・ 施設・設備の見学、利用の仕方、後始末の指導
- ・ 集団行動、規律ある態度の指導
- ・ 乗り物の乗降・乗車中の安全・態度の事前指導
- ・ 実地踏査並びに見学施設の方との打ち合わせ
- ・ 緊急時の避難経路の確認

8 その他

- (1) 移動手段 スクールバス、徒歩
- (2) 見学場所の連絡先
ユニバース種市店 65-5114
ウニ栽培センター 65-4750
- (3) 緊急時の連絡先
教諭 深澤 好花 090-4479-3898
- (4) 児童の持ち物
見学のしおり、筆記用具、生活科バッグ、デジカメ、お弁当、水筒、敷物、ハンカチ、ティッシュ、おしぼり、タオル
- (5) 児童の服装
動きやすい服装、履き慣れた靴、ぼうし
- (6) 引率者の持ち物
救急バック、児童名簿（電話番号）、デジカメ

「大野魅力発見～パークゴルフ～」計画書

洋野町立大野小学校 3学年

1 目的

大野で行われているパークゴルフの由来やプレーの仕方を学んだり、実際にやってみたりしながら、大野の文化の魅力を知り、大切にしようとする心を育む。

2 対象者 大野小学校3年生 男子10名 女子7名 計17名

3 ゲストティーチャー

大野畜産公社 岩山 義明さん
 学習支援ボランティア 松橋 栄さん
 佐々木 祥吉さん
 佐々木 智子さん
 館 サツさん

4 担任 教諭 深澤 好花

5 学習計画

日時	学習内容	ゲストティーチャー
7月下旬	大野の魅力について考える。	
8月下旬	事前学習 ・パークゴルフについて知っていることを話し合う。 ・パークゴルフをする際のルールやきまりを学ぶ。	
9月18日(水) 9:30~11:30	「パークゴルフ」体験 ・「パークゴルフの由来と発祥について」のお話を聞く。 ・5つのグループに分かれて、パークゴルフを体験する。 ・パークゴルフの魅力やルールについて学ぶ。	岩山 義明さん 松橋 栄さん 佐々木 祥吉さん 佐々木 智子さん 館 サツさん
9月下旬	学習のまとめ ・グループごとにパークゴルフの魅力についてポスターにまとめる。	
9月下旬	学習の発表 ・報告会を行う。	

大野魅力発見～パークゴルフ～体験

1 ねらい

大野で行われているパークゴルフの由来やプレーの仕方を学んだり、実際にやってみたりしながら、大野の文化の魅力を知り、大切にしようとする心を育む。

2 日 時 令和元年9月18日(水) 【雨天時後日, 日程調整】

3 場 所 おおのキャンパス内 大野パークゴルフ場

4 対 象 者 大野小学校3年生 男子10名 女子7名 計17名

5 ゲストティーチャー

大野畜産公社 岩山 義明さん
 学習支援ボランティア 松橋 栄さん
 佐々木 祥吉さん
 佐々木 智子さん
 舘 サツさん

6 引 率 者 教諭 深澤 好花
 教諭 村上 美希子
 支援員 林上 千佳子
 現地案内: 地域コーディネーター 関口 ミエ子

7 活動内容

時 間	活 動 内 容
9:20	学校出発(スクールバス)
9:25	大野パークゴルフ場 到着 ・パークゴルフのルール説明 ・グループに分かれてパークゴルフ体験
10:40	休憩
11:15	大野パークゴルフ場 出発
11:20	学校到着(スクールバス)

8 持 ち 物 汚れてもよい動きやすい服装(靴)、帽子、タオル、水筒、着替え

9 参加者送迎 スクールバス使用

10 その他 連絡先: 大野小学校 洋野町大野9-1 TEL77-2122

「大野の大豆を育てよう」実施計画書

洋野町立大野小学校

1 学習のねらい

大豆の種まきをし、作物が育ち、実る体験をするとともに、大豆を使った食べ物作りを行い、収穫の喜びを味わう。また、実体験をとおして地域の方の知恵と技を学ぶ。

2 学習の計画

日時	学習内容	ゲストティーチャー
① 5月29日(水) 場所：学級園 時間：5校時	・ 大豆の種まきの仕方、大豆のお世話の仕方等を学び、大野の大豆について体験を通して学ぶ。	安藤 イシさん
② 6月下旬	・ 大豆のお世話をしたり、成長の様子を観察・記録をとったりする。	
③ 7月初旬	・ 黄豆・青豆・黒豆の特徴や豆料理を調べる。 ・ 大豆のお世話をしたり、成長の様子を観察・記録をとったりする。	
④ 10月中旬	・ 大豆を収穫する。 ・ 大豆料理の計画を立て、調理の際の役割分担を話し合う。	
⑤ 12月13日	・ 自分たちで育てた大豆を使って、「とうふ」等大豆を使った料理を作る。 ・ これまでの学習のまとめをする。	安藤 イシさん
⑥ 2月初旬	・ これまでの学習のまとめをする。 ・ 大野の大豆について発表会をする。	

3 対象学年 3学年(男子10名、女子7名 計17名)

4 担当職員 教諭 深澤 好花

特別支援員 林上 千佳子

地域コーディネーター 関口 ミエ子

5 ゲストティーチャー 安藤 イシさん

6 その他

活動の内容等の詳細につきましては、実施計画に基づき、随時連絡調整をしながらご指導いただきたくご理解ご協力をお願いいたします。

1 ねらい

- (1) 見学などの体験によって、社会科の学習を深化拡充する。
- (2) 見学を通して、保健衛生、集団行動、安全教育、公衆道徳などについて望ましい体験をする。
- (3) 教師や友達と行動を共にすることにより、楽しい生活を味わい、学校生活を豊かにする。

2 期 日

令和2年2月7日(金) 8:50~15:20

3 見学場所

- ①久慈警察署
- ②久慈消防署
- ③もぐらんぴあ

4 交通手段

スクールバス

5 実施学年及び参加人数

3年生 17名(男子10名、女子7名)

6 引率者職・氏名・業務分担

教諭 深澤 好花 全体指導、渉外(3年担任)
副校長 小川口 潤 全体指導
講師 村上 美希子 安全指導(きらり学級2担任)

7 日 程

8:50	学校出発
9:30~10:30	久慈警察署見学
10:50~12:10	久慈消防署見学
12:20~13:00	昼食(久慈消防署会議室)
13:20~14:40	もぐらんぴあ見学
15:20	学校到着

8 実施のための安全指導

- (1) 連絡体制を密にし、児童の安全確保を図る。
- (2) 健康観察を行い、異常の早期発見に努める。
- (3) 乗り物の乗降時における安全確認の徹底を図る。
- (4) 集団行動の約束を守らせ、適正な行動を取るよう指導する。
- (5) 事故における救急処置について万全を期す。

9 その他

(1) 服装・持ち物

動きやすい服装、防寒着、紅白帽子

探検バック、筆記用具、しおり、ハンカチ、ティッシュ、弁当、水筒

(2) 連絡先

①久慈警察署

〒028-0051 久慈市川崎町 2-1 TEL0194-53-0110

②久慈消防署

〒028-0041 久慈市長内町 28-21-1 TEL0194-53-0119

③久慈地下水族館「もぐらんぴあ」

〒028-7801 久慈市侍浜町麦生 1-43-7 TEL0194-75-3551

「大野の森から川へそして海への旅」計画書

洋野町立大野小学校 4学年

1 学習のねらい

- (1) 源流を探検したり、森の恵みや地域の川に住む水生生物、カワシンジュガイの移植状況を調査したりすることによって、自分たちが住む大野の自然を大切にしようとする心を育む。
- (2) 川の流れるは山から海にむかって上流域、中流域、下流域そして河口へと姿をかえていくことに気づき、そこから自然環境と私たちの暮らしについて考えを深める。

2 学習の計画

日時	学習内容	ゲストティーチャー等
6月10日(月) 場所：4年教室 時間：3校時	事前学習 ・自分たちが住む大野の森や川、海、そして人びとのくらしや自然環境について考える。	大野の自然を守る会
6月13日(木) 8:40 学校発 9:00 現地入口着 徒歩 9:20 大野川源流着 源流見学 9:50 源流発徒歩 10:10 バス出発 10:30 高家川源流 大野ダム経由 11:10 学校着 【予備日6月21日(金)】	大野川源流の森探検 ・私たちの身近な場所にある川はどこから始まり、どのように海へとつながっていくのかを知る。 ①大野川の源流→高家川の源流→大野ダムの見学	大野の自然を守る会
6月27日(水) 8:40 学校発 9:00 現地着 11:30 現地発 11:50 学校着 【予備日7月5日(金)】	大野川探検 ・場所：大野川 上川原地区 ・大野川に住む水生生物を調べる。 ・先輩達が移植した「カワシンジュガイ」の調査	大野の自然を守る会

7月5日（金） 場所：4年教室 時間：5校時	自然を守る会の方との討論会 「大野の森から川へそして海への旅」	大野の自然を守る会
7月初旬	学習のまとめをする。 これまで学習や見学、体験したことを写真や絵等模造紙にまとめる。	
	これまでの学習の発表 タイトル 「大野の森から川へそして海への旅」発表	

3 見学児童数

4学年 男子8人 女子14人 計22人

4 引率者

教諭 工藤 美波

現地案内 地域コーディネーター 関口 ミエ子

5 ゲストティーチャー

大野の自然を守る会

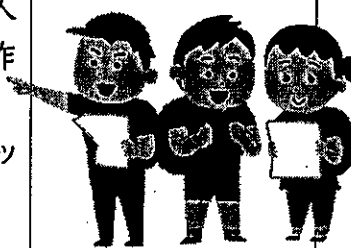
6 交通手段

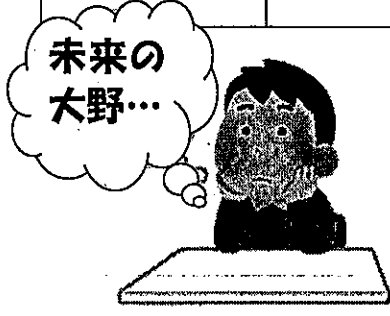
スクールバス、徒歩等

7 その他

活動の内容等の詳細につきましては、実施計画に基づき随時連絡調整をしながらご指導いただきたくご理解ご協力をお願いいたします。

「ふるさと大野大発見～おおのスマイルマップを作ろう～」

項目	ねらい	具体的活動	日時	ゲストティーチャー等
知ろう 気づこう	・秋岡芳夫さんが構想した「一人一芸の村」への思いや、村の人々が歩んできた歴史について知る。	1 一人一芸の里について調べるための計画を立てる。 2 昔の広報を読む。 3 秋岡芳夫さんを知る。 4 やませについて調べ、やませと大野のつながりに気づく。 5 当時を知る方と交流し、一人一芸の村づくりについて知る。	1学期 9月2日(月) 5・6校時 9月24日(火) 5・6校時	【9/2やませ学習】 弘前大学理工学部 准教授 島田照久先生 【9/24交流会】 佐々木 祥吉さん 松橋 栄さん 太長根 英子さん 中村 隆さん 関向 廣志さん 中家 正一さん
理解しよう 深めよう	・大野に住んでいる人の一人一芸や大野の産業について調べ、「おおのスマイルマップ」にまとめる。	1 大野に住む一人一芸の人を見つける。 2 大野の産業について調べる。 (1・2と並行して) 「おおのスマイル一人一芸認定証」を作る。 3 おおのスマイルマップにまとめる。	10月～ 11月～	 <p>GTのみなさんに協力していただきながら、大野に住む一人一芸の人探しをしていきたいと考えています。</p>
まとめよう	・調べてきたことをまとめ、発表する活動を通して、ふるさとに対する誇りをもたせる。	1 「おおのスマイル一人一芸認定証」をわたす。 2 学んだことを発表する。 ・学校での発表会 ・海洋教育子どもサミット in ひろの	認定証ができ次第 学校で: 11月19日(火) 海洋教育サミット: 11月29日(金)	【発表会】 ☆協力してくださった方をお招きして学習の成果を発表する。 ※秋岡吟さん(秋岡芳夫さんのお孫さん)をお招きする予定。



【6年生】
大野の未来について考えよう!
わたしたちは、何ができる??



6学年 総合的な学習の時間「大野のはちみつ」学習の実施計画

洋野町立大野小学校

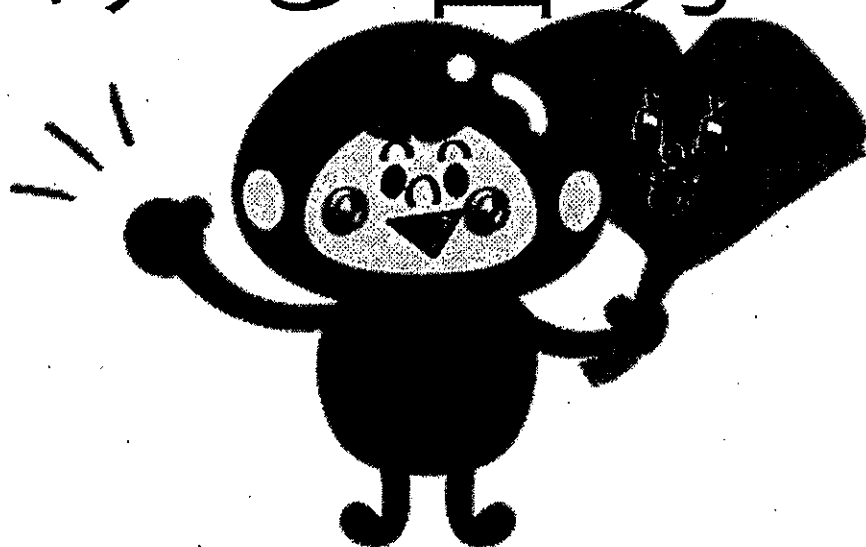
項 目	内 容
1 学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「はちみつ作り」について研究調査し、ひろの・大野の良さを発見する。 ・研究と努力を重ね、美味しく・誇れる「はちみつ」を作っている達人の生き方を知る。
2 日 時	令和元年7月10日(水) 午後2時00分～3時00分
3 場 所	大野小学校6年生教室
4 ゲストティーチャー	長根果樹園 長根 優 氏
5 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・蜂について ・はちみつについて ・はちみつ作りについて ・はちみつ作りのやりがいと苦労 等
6 対象者	6学年 男子16名 女子9名 計25名
7 指導者	教諭 和田 繁幸 現地案内 地域コーディネーター 関口ミエ子
8 その他	巣箱を持参していただく。



洋野町立林郷小学校

つながる自分

つなげる自分



実践記録・教材等

- 1 総合的な学習の時間（海洋教育）年間構想図
- 2 ヒーローの旅記録
- 3 ヒーローの旅まとめ
- 4 大野海成段丘
- 5 もぐらんぴあ見学
- 6 海洋教育こどもサミット in ひろの記録
- 7 海洋教育こどもサミット in ひろの資料
- 8 学びの発展

洋野町立林郷小学校

総合的な学習の時間（海洋教育）年間構想図

3、4年生

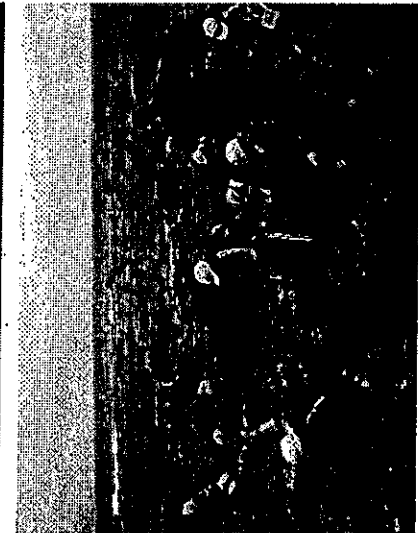
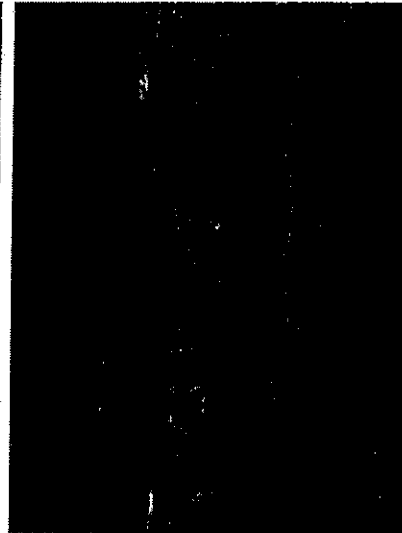
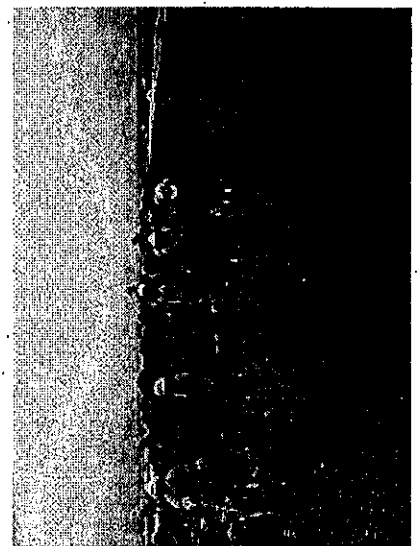
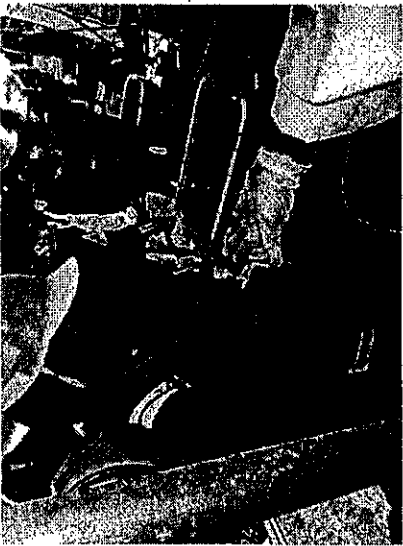
	A年度	B年度
4月	伝えよう！林郷ソーラン(5)	伝えよう！林郷ソーラン(5)
5月	田植え(1)	田植え(1) そばを調べよう(18)
6月	ヒーローの旅へ行こう(20)	
7月	そばを育てよう(10)	そばを育てよう(10)
8月	ヒーローの旅をまとめよう(23)	林郷の森を守ろう(25)
9月		(森はめぐる 植林)
10月	(さけ・ます孵化場見学) 稲刈り(1)	稲刈り(1)
11月		(木工体験)
12月		
1月	学びをふりかえり、来年に活かそう(10)	学びをふりかえり、来年に活かそう(10)
2月	(そば打ち体験)	(そば打ち体験)
3月		

総合的な学習の時間（海洋教育）年間構想図

5・6年生

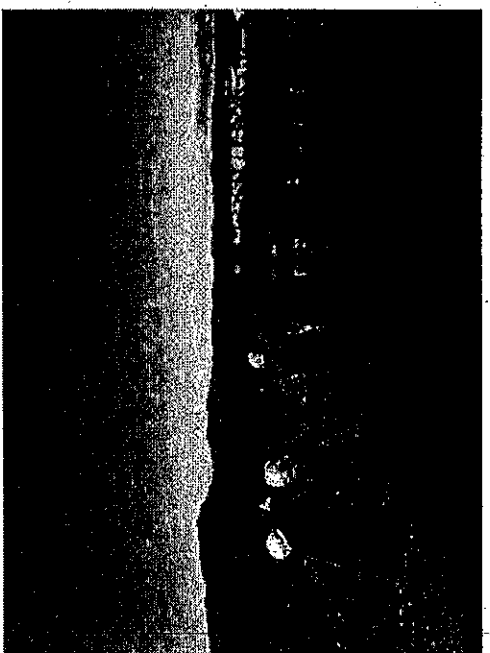
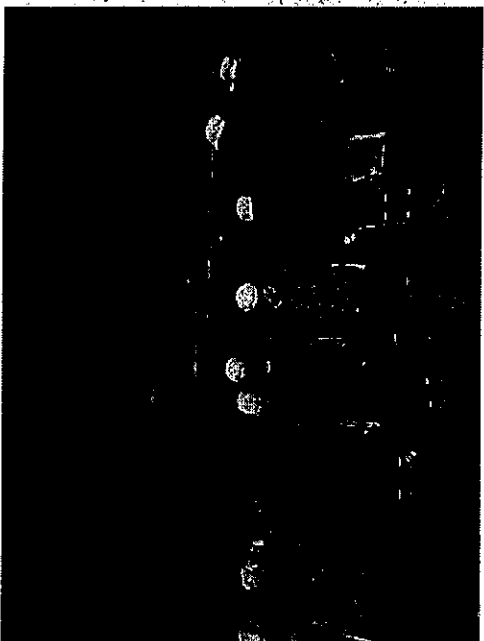
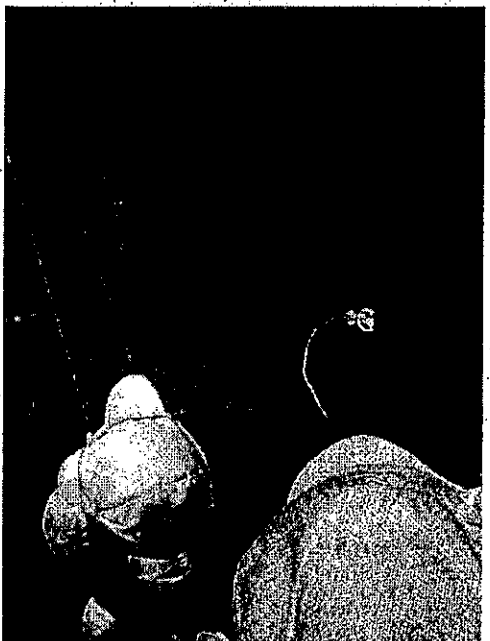
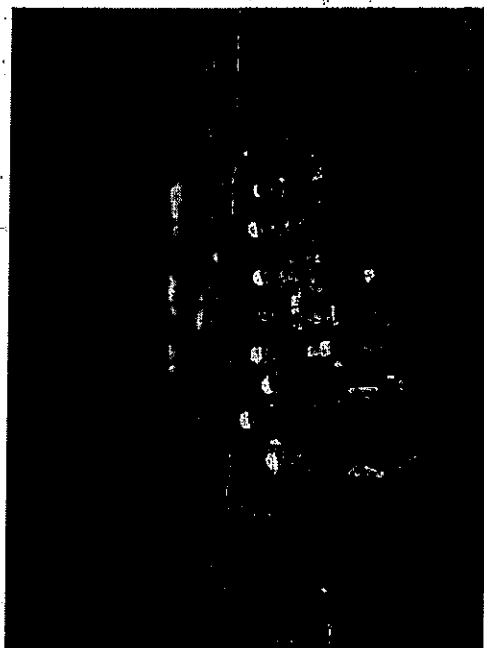
	A年度	B年度
4月	伝えよう！林郷ソーラン（5）	伝えよう！林郷ソーラン！（5）
5月	田植え（1）	田植え（1） 酪農と海のつながりを調べよう（25） ・酪農体験
6月	ヒーローの旅へ行こう（25）	・海成段丘
7月		
8月	ヒーローの旅をまとめよう（20）	ゆめ牛乳の魅力を伝えよう（20） ・酪農体験2 ・ミルク工房見学
9月		
10月	稲刈り（1） （さけ・ます孵化場見学）	稲刈り（1）
11月	福祉（7）※キャップハンディ体験含む	国際理解（7）海外の人と文化にふれよう
12月		
1月	学びをふりかえり、来年に活かそう（11）	学びをふりかえり、来年に活かそう（11）
2月		
3月		

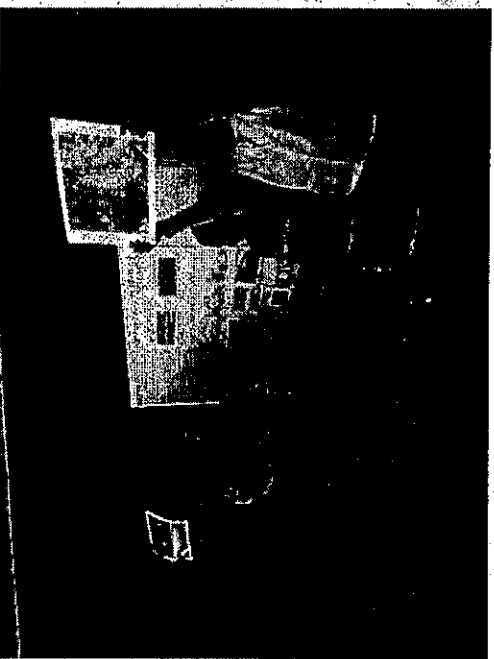
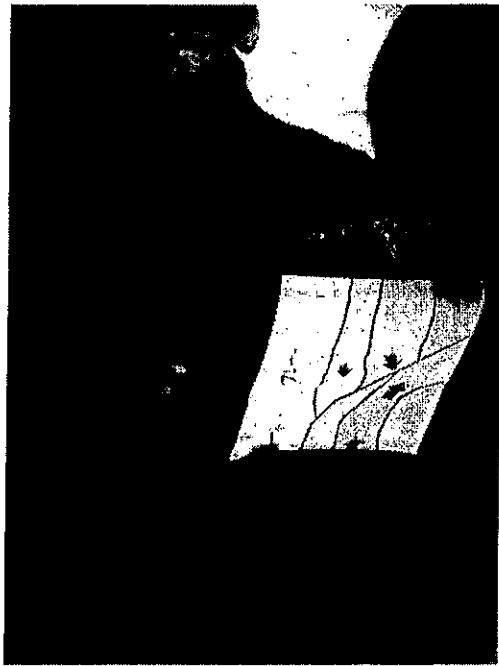
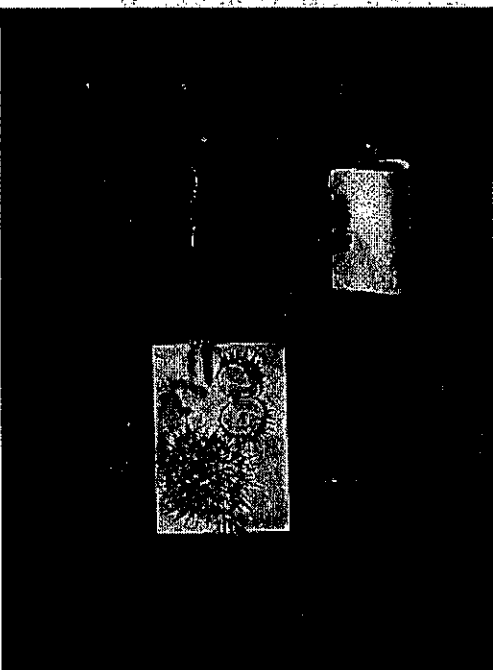
【ヒーローの旅 3～6年生】2019. 7. 3～7. 5

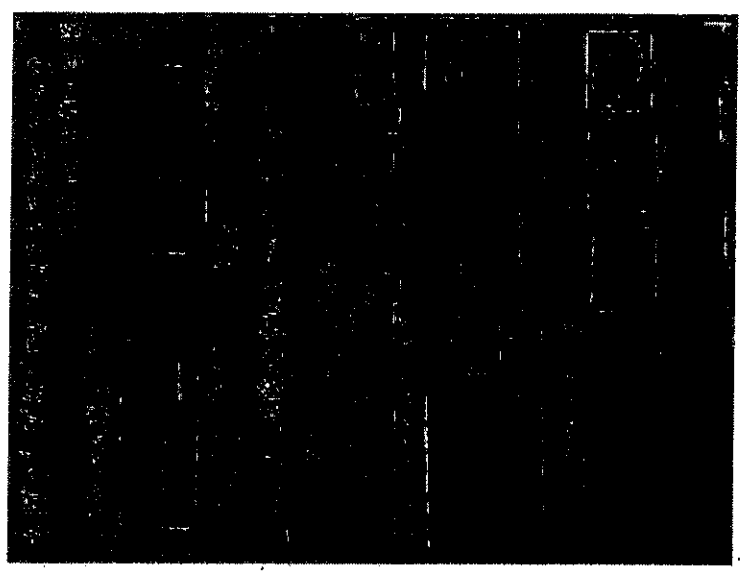
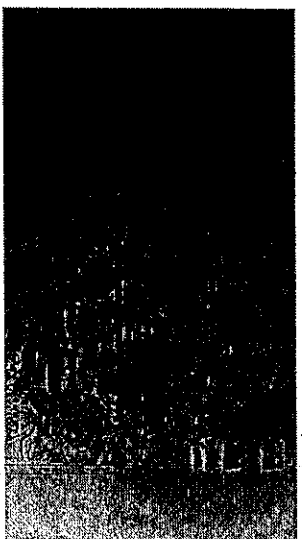
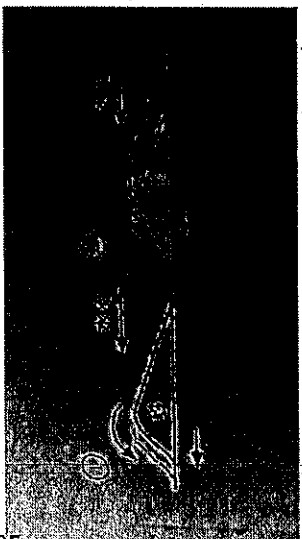
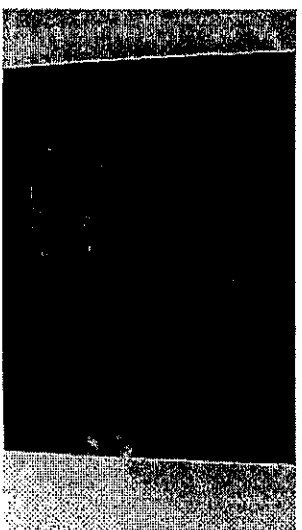
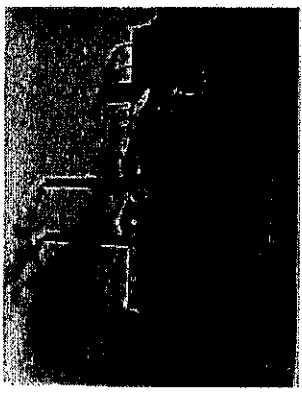
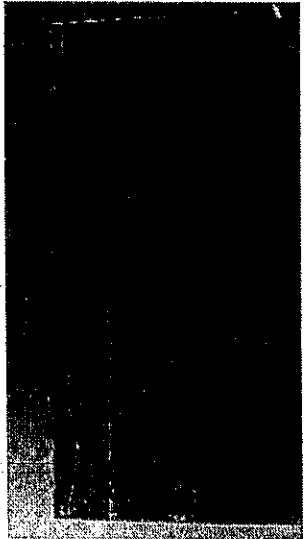
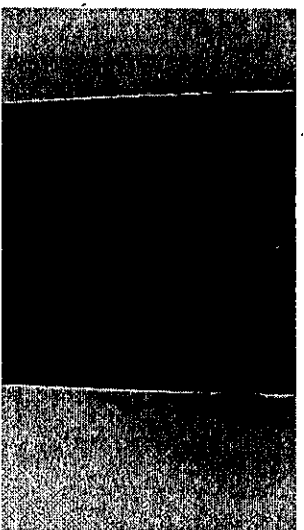
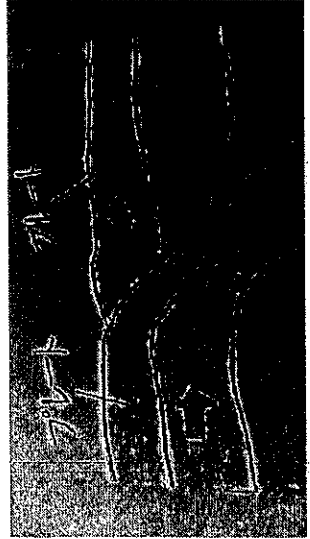
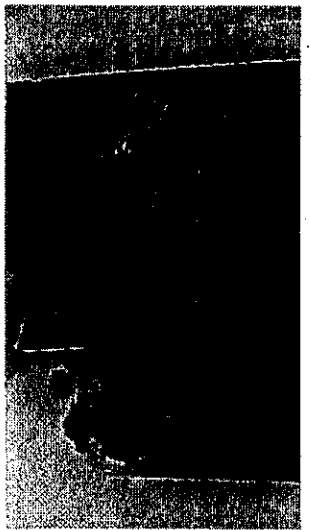
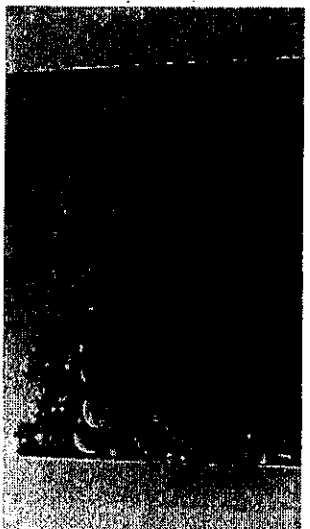
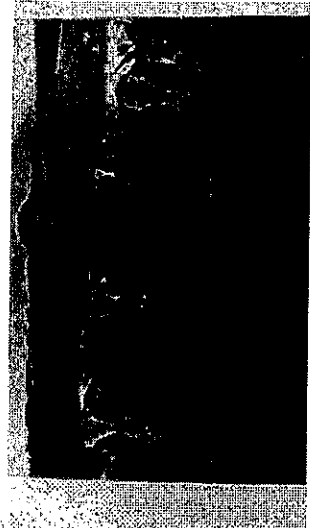


ヒューマンの旅まとめ (3・4年生)

新聞用紙に記入し、大判プリンターで拡大した物を掲示







たもとくまの資料(三)

自分たちで書きた手

書きの発表原稿

洋野町立帯島小学校

6年生「帯島の川を知り、海を守る」(海洋学習としてのテーマ)

【実践のねらい】
 〈海洋学習に関して〉

海につながるふるさとでの川、高家川の環境を調べる活動を通して、きれいな川を保つために自分たちができることを考えたり、海を守り海と共生するために必要なことを考えたりして、自分らしさを踏まえた「これからの自分」の生き方を考え、実践していかうとする力を育てる。

- 時数 4～2月 70時間 (総合的な学習の時間)
- 関連 国語・社会科・理科
- 目標

協力機関等
 ・地域の方を講師として招く

①学習方法に関わるもの	②自分自身に関わるもの	③他者や社会との関わるもの
○学んだことや自分の生活から課題をみつけることができる。 ○課題に応じた情報を収集して活用することができる。 ○追究した過程や結果をまとめ、自分の考えをもつことができる。	○計画を修正しながら追究し、さらに深く広く追究することができる。 ○自分の将来について意見や考えをもち、これからの生き方について考えることができる。	○異なる意見や他者の考えを受け入れることができる。 ○地域の人や専門家に話を聞き、関わりを考えて生活することができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
探求的な活動	<p>緑の高原に生きる (4.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①5年生までの学習をふり返る(3)総合 ・帯島の地域にはどんな産業が有名か ・ほうれん草 乾燥 米作り ・なぜ有名なのだろう ・どんな努力や苦勞をしてきたのだろう 	<p>帯島の自然環境を知る(6)総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やませがもたらす影響について ・昔の高家川の様子を知って (インタビュー活動) 	<p>海にとって森林果たす役割について調べる(5)総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の6年生の取組を映像で学ぶ ・「緑は海の森人植樹祭」の資料から学ぶ 	<p>海につながる高家川の様子について</p> <ul style="list-style-type: none"> (7)総合 (2)理科 ・高家川の上流、中流、下流での観察 ・水生生物調査 ・海(高家川河口)の清掃活動 ・源流付近の清掃活動 	<p>高家川の水質について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> (5)総合 ・水質調べるためにバツク ・テストを行う ・海までの5か所) 	<p>海を守るために自分たちができることを調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> (10)総合 (2)理科 ・海洋ごみについて ・マイクロプラスチックについて ・3Rについて (リソース、リデュース、リサイクル) 	<p>伝え 引き継ぐもの (2.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ②伝承活動 (5) 総合 ・保存会の人から教えてもらう ・教えられたことを低学年に伝える 	<p>緑の高原に生きる (1.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域に生きる将来の自分について考える(8)総合 ・帯島の恵まれた自然を守るために自分たちができること ・海に接する洋野町の、海との共生について考える。 	<p>伝承活動 学習発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えを生かしてえんぶ ・伝えを継ぐ 	<p>えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか
体験的な活動探	<p>③森林学習を通して山(森)はたらしきを知る(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校頂山での木の伐採や森林観察 ・広葉樹がもたらす影響について ・山に降った雨水はどうか 	<p>④海まで流れる高家川を知る (2)総合 (1)社会 (1)理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源流はどうかっているのか ・どんな生き物がいるのか ・どんな思いで守っているのか 	<p>⑦わかったことをまとめる(8)総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高家川を知る ・昔の高家川 ・高家川の現状 ・きれいな川を守るために 	<p>⑧わくわく発表会に向けて分かったことをまとめる (2) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋ごみ問題 ・プラスチックごみの影響 ・マイクロプラスチックごみの影響 ・海を守るためにできること 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか 	<p>⑨えんぶりの理解を深める (1.5) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして帯島で伝承として引き継がれているのか ・どんな意味があるのか ・どのような思いで地域の人々は継承しているのか
表現活動													



洋野町立向田小学校

令和元年度 海洋教育「ひろの学」学習指導計画

1 活動名 ひろの学「向田と海洋のつながりを考えよう」

2 活動の概要・ねらい

(1) ねらい

久慈平岳の麓に暮らす子供達が、「向田と海洋のつながりを考えよう」をテーマに、山、川、海をつなぐつながりを調べる活動を通して自然環境に対する理解を深めるとともに、地域との関わり（人・産業）にも目を向け、地域に対する愛情や誇りを高める。

(2) 概要

今年度も以下の4本の柱を重点に学習を進める。

ア 森林学習

森林観察学習，河川の水質調査，海洋学習

イ 地域産業体験学習

稲作体験，大豆栽培から豆腐づくり，木工作品制作，パンづくり

ウ 防災学習

非常時に備える

エ 学習したことの発信

学習したことを発表したり，パンフレットにまとめたりする。

3 実践計画

(1) 活動計画，教科等との関連

月	学習内容	活動内容	教科等との関連
5	森林学習	森林観察学習〔全学年〕	生活科，理科
5	地域産業体験学習	稲作体験学習（田植え）〔全学年〕 畑作体験学習（大豆栽培）〔3・4年〕	生活科，社会，理科 理科
6	森林学習	久慈平岳山開き・森林観察学習〔全学年〕	生活科，理科
7	森林学習 森林学習	河川の水質調査〔3・4年〕 海洋教育講演会〔全学年〕	理科 生活科，理科
9	地域産業体験学習	稲作体験学習（稲刈り）〔全学年〕	生活科，理科，社会
10	地域産業体験学習	畑作体験学習（大豆の収穫）〔3・4年〕	理科
10	防災学習	避難訓練，消火訓練〔全学年〕	学活
10	森林学習	久慈平岳源流探索学習〔5・6年〕	理科
11	森林学習	こどもサミット in ひろの〔5・6年〕	総合，理科
11	地域産業体験学習	収穫祭〔全学年〕	生活科，学活，家庭科

11	地域産業体験学習	パンづくり〔2年〕	生活科
12	地域産業体験学習	豆腐づくり体験学習〔3・4年〕 木工作品制作〔6年〕	理科, 社会, 社会, 図工
2	防災学習	非常時体験学習〔全校〕	理科, 社会, 総合
2	情報発信	学習のまとめ〔3～6年〕	理科, 社会, 総合

(2) 評価について

評価については、以下の点について評価を行うこととする。

ア 学習や活動に関心を示し、自分から進んで意欲的に関わろうとしている。

イ 学習や活動において、自分の考えを根拠をもとに分かりやすく表現する。

ウ 学習して分かったことや考えたことを交流し、友達の考えを受容したり共感したりする。

エ 学習して分かったことや考えたことを、わかりやすく整理する。

4 主な連携機関及び内容

学習内容	活動内容	主な連携機関
森林学習	森林観察学習	林野庁東北森林管理局三陸北部森林管理署 県北広域振興局林務部 洋野町役場大野庁舎農林課
	河川の水質調査	県北広域振興局保健福祉環境部 岩手県久慈保健所環境衛生課
	海洋学習	NPO 法人「森は海の恋人」
地域産業体験学習	豆腐づくり体験活動	とうふの工房 豆風鈴
	木工作品制作	三本木工芸
	パンづくり	おおのふるさと公社
防災学習	避難訓練・消火訓練	久慈地域消防本部 洋野町消防団第11分団

1・2年生「向田と海洋のつながいを考えよう」

【東路のねらい】

ひろの学「向田と海洋のつながいを考えよう」をテーマに、森林、山、自然への理解を深めるとともに、森林の役割について学ぶとともに、山、川、海のつながりを調べる活動を通じて関わり（人・産業）にも目を向けさせ、これらの活動を通して、改めて地域に対する愛情や誇りを高めさせたい。

【主な連携機関と内容】
 ・林野庁東北森林管理局三陸北部森林管理署久慈支署
 ・岩手県東北広域振興局 林務部林業振興課
 ・洋野町農林課
 ・おおのふのさと公社

○時数 5月～12月 20時間

○関連 学級活動 生活科 学校行事

○目標

- (1) 向田の自然や地域の主要産業に触れることにより、地域の上さをとらえることができる。
- (2) 観察や実感、体験活動を通して、疑問を解決しようとする主体的に取り組む態度を育てる。
- (3) 地域との交流を通して、自然や人とのかかわりへの感謝の気持ちを実感するとともに、地域への愛着の気持ちを高める。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体 験 的 な 活 動											
<p>1 森林学習 【生活科②の学級活動①】 ①森林愛護少年団結団式 ・結団式を通して、森林や自然に興味をもつ。 【学級活動①】 ②学校の周りの植物観察 ・学校の周りの植物を観察し、種類や特徴について調べる。 ③土壌比較実験 ・校庭と森林の土を比べ、保水力や浄化力の違い</p>											
<p>2 地域産業体験（協作） 【生活科②】 ①田植え体験 ・向田の主要産業である稲作（田植え）を通して地元産米に興味をもつ。 1 森林学習 【学校行事⑤】 ①久慈平岳山開き ・山開きに参加し、久慈平岳の特徴を調べる。 ②久慈平岳の森林学習 ・久慈平岳の植物を観察し、種類や特徴について調べる。</p>											
<p>2 地域産業体験（協作） 【生活科③】 ①収穫祭 ・餅つき体験を通して、収穫の喜びを味わうとともに、地域の風習について学ぶ。 1 森林学習 【学校行事⑤】 ①木工細工づくり ・木工細工づくり体験を通して、地元の産業へ興味をもつ。 ②パンづくり ・パンづくり活動を通して、地域の特産を生かした産業に興味をもつ。</p>											
<p>2 地域産業体験（協作） 【生活科③】 ①収穫祭 ・餅つき体験を通して、収穫の喜びを味わうとともに、地域の風習について学ぶ。</p>											

洋野町立種市中学校

海洋教育年間計画

洋野町立種市中学校

1 ねらい

海洋教育＝「海と人との共生」という理念を実現化させるための教育。四方を海に囲まれた日本の文化や民族のほとんどは海との関わりに源流があり、私たちの生活は、海の恵みに支えられている。海の影響を受けた地形、風土の中に生き、生まれ育った洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4観点からせまり、未来に向けて継承しようとする態度を育成する。

本年度の取組を土台とし、系統的な学習を継続していく。学区内の2小学校や、関係機関の協力を得ながら地域連携を深めていきたい。その上で、「海と共に生きる」ことの意味を考えさせる。

2 今年度の計画

1年	4月中 7月 4日 6月24日 9月 4日 10月27日 ↑11月29日	オリエンテーション・事前学習 「地域を知る」：大野地区校外学習（内陸部と海の間わり） 種市高校による津波出前授業 「地域を知る」：八戸市内校外学習（近隣地域の水産業） まとめ（文化祭発表） 海洋教育こどもサミット in ひろの（代表生徒発表）
2年	4月中 7月 4日 9月3～4日 10月27日	オリエンテーション・事前学習 盛岡方面での宿泊研修（内陸と海との流通の学習） 種市地区内での職場体験（海にかかわるもの） まとめ（文化祭発表）
3年	4月中 8月 5日 10月27日	オリエンテーション・事前学習 種市夏祭り参加（郷土芸能伝承活動） 文化祭での海鳴り太鼓発表 まとめ

3 その他

- ・「復興に思いをよせる日」の継続実施（毎月11日）
- ・復興、防災講演会の開催（6月21日）
- ・全校海岸清掃の実施（6月27日）

	海に親しむ	海を知る	海を守る	海を利用する
1年	・内陸部の産業の見学・体験	・津波のメカニズムを学習	・海岸清掃	・内陸と沿岸のつながりを学ぶ
2年	・職場体験 海で働く人々とのふれ合い	・職場体験 海に関わる職業の体験	・海岸清掃	・内陸と沿岸との流通経路を学ぶ
3年	・夏祭り参加		・海岸清掃	・郷土芸能「海鳴り太鼓」の継承



1学年校外学習

個人新聞 No. 02

令和元年7月4日

学級：1年 組 番

名前：.....

校外学習を振り返って～学んだこと・分かったことなどをまとめよう～

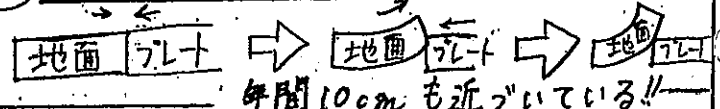
その1～大野畜産公舎にて！

★牛 30～40kgでうまれる!!
 ・1日で700～800g おなじくらい!
 ・成長する。
 ・ミルクは 朝3L 夜3L } 6Lも!!
 ?健康管理も整っているの?
 ・鼻がしめ、ている...健康!
 かわいている...体調不良!

牛の平熱 38.5℃
 ・1日に3回しぼるモ
 ・1頭35kgしぼるモ

その2～洋野まきば天文台にて！

★酪農 = すずしい気候、広い、平ら
 ★大野海成段丘!! →国内で最も古い!!
 ?80万年前は海?
 なぜ80万年前は海底だったのに山になったかという...
 プレートが押す力で陸地が上へおされるから。



だ... ハワイと陸続きになる! と思った、
 ハワイは、日本列島の下になってしまうかも!!

★ウニがおいしいひけも...
 ワカ = 暖流 うまみ少
 昆布 = 寒流 うまみ多
 洋野町は 陸なので どちらも!!

地球の中心 → 6000℃ みたいところへ動いている。
 テルプスがデカイのもこれ!!

学年・学級の成長・課題

今日の校外学習では、「ケガ」はなく、よかったです。普段の生活でも完ぺきではない、無私語があまり、態度からもできていなかった。時間厳守では、守ることはできたけれど、5分前行動力ができていなかった。したがって、今回は静かな団結は、あまりできなかった。でも、ここで終らず、普段の生活から意識し、改善したい。



今日、校外学習にいって、みて、種市とはちがう。洋野が本格的に農業にかをいれ、町を守ろうとしていることが、改めていいなと思った。また、海でできた広大な段丘地形を利用して、酪農などの的した土地を、活せい化させて、暗い夜 → 天文台、パークゴルフ、大野木エ、ミルク工房、雨よけ、田んぼ、草を、牧場を上手に

編集後記

実際にまとめてみて、今日やった学習で分かったこと、疑問におもった解答など、覚い出したから、やる事ができてよかったです。



中 / 学年校外学習 No.2

個人新聞 No. 03
令和元年9月3日
学級：1年 組 番
名前：.....

八戸校外学習を振り返って～学んだこと・分かったことなどをまとめよう～

その1～ マルヨ水産にて!! ㊦
驚き!! ちくわの原料おけたり、
くっくる工程!!>

- ① すけとうたらを石うすに入れて混ぜる
- ② 調味料を入れてかき混ぜる!!
↳ 塩、卵の自身、テンピン、
はちみつ、サラダオイル、みん、水
- ③ 人が手で「機械」に入れて、棒
にまきつける。
- ④ 焼く! 200～250℃で
- ⑤ 冷しゃく室へ!! ⑥ 袋、箱詰め

<分かったこと>
1日に30万本もつくっている!!
↳ 魚3七分!!
工場では400人くらい働いて
いる!!
1年間を通してつくっている!!
原料確保するのが大変!!

その2～ 北日本造船にて!! ㊦
驚き!! 大きな船で4万ト!!
<分かったこと>
交か率よく、安全に!!
・プラスマ = 電気(で切込)
・プラスマ切断機
→ 電気 & 酸素で「高温に!!
青い炎 → 2000℃ 温めて冷や
すと、冷やした方向に曲がる!!
・外国からの実習生も!!

⑦ 船の天上部を、下にツマリ、
逆にしてつくっている!!
→ 高いところで作業(危険)
・火の子も落ちてくる
・つかれてくる

・輸があるプロ 山崎の
ペラが回リやすくな、
交か率もよくなる!! イネ!!

その3～ ホクモウにて!! ㊦
定置網について
↳ 網は、昔より、入りやすく、
逃げにくくしている
・とりたいものにより、変わる
・引き上げる時は、一番奥の
もののみを上げる!!
・定置網の大きさは、東京ドム
よりも大きいよ。
・1回に2万5千匹とれる時!!
・中から冷やす、血を出すのが
鮮度を保つコツだよ!!
※ 網には、オートセイなどがか
かり、魚を食べたてしまうこと!!
・水中カメラを入れて、魚がどの
ように入ってくるのか研究
している!!
・24時間可能!!

学年・学級の成長・課題

今回の校外学習では、前回で「なかなか
5分前行動、無私語」が達成できた、
が、黙々と働いている人がいる時に、
私語をしていたのは、改善していきたい。
また、これからの生活で、どんな状況
かを判断し、メリハリをつけて、やりたい。



今回の Treasure!! (宝物!!) は、
水産業 & 新鮮な食品で、たくさん
の人々が、海に関わ、ていたい、網を
つく、たり、船をつく、て、魚をと、り、その
魚で、おいしい食品をつく、ているのが、
すごいなと思、た。た、し、たくさん、の、人、の、協、力
が、必要、だ、と、考、え、た。

編集後記

この新聞を通して、今回の校外学習のことを思い出しながら、
改善することも分かったのが、よかったです。





洋野町立宿戸中学校

平成31年度 総合的な学習の時間 全体計画

〈生徒の実態〉
 ・素直で、真面目である。
 ・主体性に乏しい。
 〈地域の実態〉
 〈ひと〉
 ・海に関わる人々
 ・地域を大切にしている人々
 (もの)・ウニ、増殖溝、海
 (こと)・守り育てる漁業

学校教育目標
 宿戸を愛し、明るくさわやかに、
 正しい道を歩む生徒の育成

〈保護者の願い〉
 ・思いやりがあり、健康な子。
 ・礼儀、言葉遣い等基本的事項が正しくできる子。
 ・粘り強い子。
 ・学習やスポーツ、文化活動を積極的に行う子。

総合的な学習の時間の目標
 探究的な見方・考え方を働かせ、地域のひと、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくために、以下の資質・能力を育成する。
 (1) 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
 (2) 地域の人、もの、ことから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
 (3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。

〈育てようとする資質・能力及び態度〉

知識及び技能	海は、自分や自分たちの地域はもとより、様々な人やもの、こととつながっていること。 ・学習に必要な機器やプレゼンテーションソフトなどを適切に使用すること。
思考力・判断力等	・自己の目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する。 ・収集した情報や知識を適切に分析する。
学びに向かう力、人間性等	・自分の生活を見直し、自分の特徴や良さを理解しようとする。 ・互いの考えや特徴を生かし、協働して課題を解決しようとする。

〈内容〉

課題	学習対象	学習事項
環境	ウニ増殖溝	ウニ増殖溝は、先人が努力と工夫によって地域の地形を生かして造成したものであり、宿戸の「守り育てる漁業」を体現するものであることを体験を通して学ぶ。
地域活性化	守り育てる漁業に取り組む地域の人々	様々な困難に向き合いながら、漁業に取り組む地域の人が多く居ることを知り、自分自身の生き方について考える。
職業・勤労	職場体験、訪問先の人々	様々な思いを持って働いている人に触れ、自分自身の生き方について考える。

全学年共通学習活動「宿戸の漁業の歴史から、先人の想いや生き方を学ぼう」

〈学年ごとの体験学習活動〉

【第1学年】地域を知る	【第2学年】地域を考える	【第3学年】生き方を考える
ウニとり、瓶詰め塩ウニづくり体験 販売体験 (32時間)	鮭とば、新巻鮭づくり体験 販売体験の準備 (25時間)	販売体験 (25時間)

〈学年ごとのおもな学習活動〉

1年	オリエンテーション(1時間) 海とのつながりを見つけよう～遠足を通して～(10時間) 全校演劇(6時間)、振り返り(1時間)
2年	オリエンテーション(1時間) 生き方を考えよう～宿泊研修、職場体験、修学旅行取り組みを通して～(37時間) 全校演劇(6時間)、振り返り(1時間)
3年	オリエンテーション(1時間) 今後の進路について考えよう(24時間) 全校演劇(20時間)

指導方法
 ・観察・調査等の体験活動の実施
 ・個の活動の推進
 ・発表報告会等の工夫

指導体制
 ・教師間の連絡調整会議の実施
 ・地域の理解と支援体制の充実
 ・安全体制・危機管理の確立

評価計画
 ・ポートフォリオを活用した評価の充実
 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施

2019年度 宿戸中学校「宿戸の漁業の歴史から、先人の想いや生き方を学ぼう」1年

【実践のねらい】

小学校から継続してきた地域産業の漁業体験への取り組みを通して、地域の産業や地域の自然を理解し、宿戸を愛する心を育てるとともに、海と山、海と宿戸など海とのつながりに着目して視野を広げる。ウニの産地として名高い宿戸の特色を生かし、増殖簿の歴史や科学的根拠、さらには先人の漁業に対する想いを学ぶ。実際にウニを採取、殻剥や塩ウニづくりを行う過程を通して、漁業者の方々から実感をともなった自然の大切さや脅威を学ぶ機会とし、勤労の尊さや将来の職業的自己実現に努力する心を育て、地域の復興・発展に主体的に関わる態度を育てる。

○時数 5月～2月 (総合的な学習の時間 50時間)

【主な連携機関と内容】	
連携機関	内容
宿戸南漁業協同組合	増殖簿の歴史、漁業体験
宿戸地区婦人部	漁業体験
種市高等学校海洋開発科	漁業体験
久慈市産業経済課交流観光部	森林学習、自然体験

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験活動など	オリエンテーション (1) ○小学校での海洋学習振り返り		【海とのつながりを見つつけよう～遠足を通して～】(10) 事前学習 ○森・川・海のつながり ○個人課題設定 ○まとめについて ○役割分担など	自然体験 ○シャワークライミング ○内間木洞探検		全校演劇～海とともにいきる～(6)		発表 ○発表準備 ○文化祭での発表		職業調べ(6) ○職業の特色 ○なりたい職業	今年度の活動の振り返り(1)	
教科、行事等との関連	生徒会：ウニ直売会ボランティア、運動会 理科：身のまわりの物質、身近な生物	技術：生物育成に関する技術～水生生物に関する技術～、情報に関する技術 家庭：食品の表示 特活：私たちの将来の希望	国語：会話が弾む質問をしよう 美術：レタリング、デザイン 技術：情報に関する技術	技術：生物育成に関する技術～水生生物に関する技術～、情報に関する技術 家庭：食品の表示 特活：私たちの将来の希望	生徒会：マリンブルーエゴ活動	理科：植物のなかま 特活：自分の特色	文化祭 理科：動き続ける大地、地層から読み取る大地の変化 技術：情報に関する技術	国語：案内の報告や文章を書く 理科：水溶液の性質	家庭：魚の調理	理科：物質の姿と状態変化 特活：進路計画	国語：学校新聞の記事を書く 数学：資料の整理 理科：身のまわりの現象	

2019年度 宿戸中学校「宿戸の漁業の歴史から、先人の想いや生き方を学ぼう」2年

【実践のねらい】

小学校から継続してきた地域産業の漁業体験への取り組みを通して、地域の産業や地域の自然を理解し、宿戸を愛する心を育てる。ウニの産地として名高い宿戸の特色を生かし、ウニ殻を活用したウニ染めの学習を行い地域理解や環境について学ぶとともに、地域の発展に努力する地域の方の思いを知る。実際に鮭とば、新巻鮭をつくる過程を通して、漁業者の方々から実感をともなった自然の大切さや脅威を学ぶ機会とし、勤労の尊さや将来の職業的自己実現に努力する心を育て、地域の復興・発展に主体的に関わる態度を育てる。

○時数 5月～3月（総合的な学習の時間70時間）

[主な連携機関と内容]	
連携機関	内容
宿戸南漁業協同組合	増殖簿の歴史、バック詰め
洋野町内事業所	職場体験
洋野町役場	ウニ染め講話
岩手大学	ウニ染め体験
盛岡市内事業所	職場訪問

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教科、行事等との関連	理科:天気とそ の变化 特活:働くこと の意義と目的	生徒会:ウニ直 売会ポランティ ア、運動会 理科:物質のな り立ち 国語:問題意識 を以って聞こう 社会:各世界か らみた日本の 産業	国語:魏第一世 界に誇る伝統 食一 理科:物質どう しの化学変化、 産業が関わる 化学変化	国語:調べて考 えたことを伝え よう「食文化」 のレポート 理科:生物と細 胞、動物のから だのつくりとは たらき、動物の 分類 特活:高校説明 会	生徒会:マリン ブルーエコ活動	技術・情報に関 する技術 特活:職業の内 容と特色、学ぶ ための制度と機 会	文化祭	理科:生物の分 類 美術:ラベルづ くり	国語:タウン誌 の記事を推敲し よう 理科:天気とそ の变化 家庭:身近な消 費生活と環境 特活:自分の選 性と進路	漁業体験学 習 ○バック詰 め ○ラベルづ け	漁業体験 学習 ○鮭とば、 新巻鮭づく り(4) ○管理、記 録	振り返り ○個人、 学級反 省	今年度の振り返り(1)
	体験活動など	オリエンテーション (1) ○これまでの学習 の振り返り ○今年度の見直し	事前学習 ○マナー講座 ○ウニ染め講話 ○研修、体験先に ついて	[生き方を考えよう～宿泊研修、職場体験を通して～](37) ・職場体験 ○職業調べ ○体験計画 ○体験(12)	振り返り ○個人、学級反 省 ○個人新聞	発表 ○発表準 備 ○文化祭 での発表	全校演劇～海とともいきる～(6)	[地域を考えよう～漁業体験を通して～](25) 水質・ゴミ調査(10) 事前学習 ○調査(4) ○結果整理 ○まとめ ○発表	事前学習 ○鮭とば、新巻 鮭づくり ○管理、記録 ○役割分担な り	漁業体験 学習 ○鮭とば、 新巻鮭づく り(4) ○管理、記 録	漁業体験学 習 ○バック詰 め ○ラベルづ け	振り返り ○個人、 学級反 省	

各学年の学習計画（宿戸中学校）

1年 単元『海とのつながりを見つけよう～遠足を通して～』（10時間）

ねらい	
①川での活動や洞窟探検を通して、自然に触れ、感じながら、川や森についての理解を深める。	
②地域の森や川と海、宿戸の海とのつながりについて、調査活動を通して理解する。	
③わかったことや感じたことなどをまとめる活動を通して、表現力を養う。	
時間	主な学習活動
1	学習の想起、問題把握課題設定
2～5	学習の見通し、川や森についての事前学習、準備
(行事)	体験活動
6～10	まとめ、振り返り

令和元年度 洋野町立宿戸中学校 第1学年遠足について

1 期 日 令和元年7月4日(木)

2 場 所 内間木川と内間木洞（岩手県久慈市山形町小国）
内間木ビジターセンター
〒028-8712
岩手県久慈市山形町小国字内間木 16丁目 100-15 0194-75-2070

3 日 程

8:15 出発式（昇降口前）
8:30 学校出発
10:00 内間木ビジターセンター 着
10:15～11:30 内間木洞見学・探検
11:40～12:00 昼食（弁当 場所は内間木ビジターセンター）
12:30～14:30 内間木溪流シャワークライミング体験（着替え等すべて含み）
14:45 荷物整理、お礼の挨拶、乗車準備
15:00 内間木ビジターセンター 発
16:30 学校着
16:35 到着式

4 服装・持ち物

- (1) 服装 学校指定の運動着
(2) 持ち物 スクールザック、筆記用具、しおり、弁当、飲み物（お茶かスポーツドリンクか水）、タオルハンカチ、ティッシュ、ゴミ袋、敷物、着替え用運動着（肌着から一式）、軍手、長ぐつ、シャワークライミング用靴

5 実施のための安全計画

- (1) 常に安全を意識した行動がとれるよう計画的に事前指導を行う。
(2) 健康観察を通して健康管理をはかり、素早い対応がとれるようにする。

各学年の学習計画

2年 単元『地域を考えよう～漁業体験を通して～』（25時間）

小単元「宿戸の今を調べよう～大浜の水質・ゴミ調査」（10時間/25時間）

ねらい	
①宿戸自慢のウニを育む海の現状を調べることを通して、地域理解を深める。	
②地域の森や川と海、世界と宿戸の海とのつながりについて、調査活動を通して理解する。	
③自然についての調査の方法を知るとともに、調査結果からよりよい環境について考え、発信する。	
時間	主な学習活動
1	学習の想起、問題把握課題設定、班編成
2、3	学習の見通し、準備
4～7	調査活動
8～9	調査結果の整理
10	まとめ、振り返り

宿戸中学校2学年総合的な学習の時間における野外調査実施について

1、期日 令和元年10月9日（水）9：00～11：10

2、参加生徒 宿戸中学校2学年 16人

3、日程

8：45 準備

9：00 宿戸中学校出発

9：10 大浜踏切付近到着

下車し、調査地へ徒歩移動（A、B班 大浜海岸、C班 大浜川）

9：30 調査活動

11：00 大浜踏み切り付近出発

11：10 宿戸中学校到着（帰校後、用具等の片付けと結果の整理を行う。）

4、持ち物

A班 海の水質調査…温度計、pH試験紙、透視度計、パックテスト、バケツ、小さい容器(5)、記録用紙、鉛筆1本(各自)

B班 海洋ゴミ調査…ゴミ袋、バケツ、金魚網(2)、ピンセット(4)、小さい容器(10)、スズランテープ、割りばし(8膳)、ちりとり(2)、記録用紙、鉛筆1本(各自)

C班 川の水質調査 濡れてもよいくつ又は長靴、温度計、パックテスト、小さい容器(5) 記録用紙、鉛筆1本(各自)

5、その他

(1)非常時の避難の仕方、安全についての確認事項をよく聞いて行動すること。

(2)水難事故防止等の為、県北広域振興局の方をお招きしています。話をよく聞き、行動すること。

漁業体験ふいかえいシート

番 氏名 _____

ねらいについて

(1) 浜の仕事を体験して、働くことの楽しさや厳しさを考えることができましたか。

〔理由〕

【 ◎ ○ △ 】

(2) 指導してくれた人たちとの付き合いを通して、コミュニケーション能力が高まりましたか。

〔理由〕

【 ◎ ○ △ 】

(3) 互いに支え合いながら仕事をする大切さを感じることができましたか。

〔理由〕

【 ◎ ○ △ 】

(4) 宿戸の海や漁業活動の良さを感じることができましたか。

〔理由〕

【 ◎ ○ △ 】

【1日目】 活動内容： うに採捕 活動についての自己評価： ◎ ○ △

【2日目】 活動内容： うにのむき身作業 活動についての自己評価： ◎ ○ △

【3日目】 活動内容： 塩うに瓶詰め作業 活動についての自己評価： ◎ ○ △

記入して6日に提出です。忘れないうちに記入しておこう。

◆ 接客の基本 ◆

2019. 10月 1学年

マナーアップ講座資料より

あなたは、普段の生活で、『大きな声で』『はきはきと』『相手の目を見て』『相手にわかるように』伝えていますか？

1. 決め手は「第1印象！」

① 感じのよい笑顔

- ・来てくれた人すべてを『最愛の人』と思って接する

② 背筋の伸びた立ち姿

- ・背筋を伸ばして立つ
- ・動作はハツラツ・キビキビと

③ 元気のいい挨拶

- ・相手に笑顔と声を気持ちと一緒に届ける
- ・「ありがとうございます」に心をこめて

2 新巻鮭を、ウニを、とばを売る！自分たちから楽しむ

① 呼び込み

- ・笑顔と声で伝える 声の大きさ『3~4』で！

例) 「いらっしゃいませ」

「私たちが作った〇〇です」 「どうぞご覧ください」

「いかがですか」 「今日だけの限定品です」 他には・・・？

② トーク

- ・どんな商品をお売りの？ 特徴を長くなく、一言で、簡単に説明できる

例) ・おいしい食べ方、調理例

- ・どんなふうにした？
- ・いつ頃作ったの？
- ・どんな味がするの？
- ・保存方法は？
- ・いつまでもつもの？
- ・贈り物にできる？

などなど、答えられるように！

③ 購買決定! 『じゃあ、お願いします』 その時担当は？

- A. まずはお礼! 「ありがとうございます！」
- B. 商品の確認 「〇〇 個(袋、本) ですね」 はっきり!!
- C. 金額の確認 「□□□□円になります」 はっきり!!
- D. 会計に促す 「こちらへどうぞ」
- E. もう一度お礼 「ありがとうございました！」

④ 金銭の授受

※お礼はなるべく全員で言いましょう

では、練習してみましょう！【販売体験エクササイズ】

- 1 顔を見合わせてほほえむ（お互い返す）
- 2 「よろしくお願いします」にっこり笑う
相手に感じのよい挨拶をするためには・・・笑顔
- 3 立ち方
 - ・お客さんにおへそを向ける
 - ・かかとを付ける（男子はつま先をひらく、女子は閉じる）
 - ・つま先立ちをしてゆっくり
 - ・指先までしっかり伸ばし、指先を自然に体にくっつける（離れるとだらしない）
- 4 にっこり笑って、心を含めて「よろしくお願いします」
よろしくお願いします 1・2で体をまっすぐ倒し、3・4で止まる
5・6・7・8でゆっくり顔を上げ、にこっと笑う。（指先は体から離さない）
- 5 「ありがとうございました」はもう少し深いお辞儀
丁寧に、感謝を含めて！！

本番は、知らない人に話しかけます。

知らない人だったら・・・

- ・振り向いてくれる人
- ・振り向いてくれない人（無視して通り過ぎる人、見ても反応の無い人・・・）

その対応・反応は様々ですが、サービスは見返りを求めないことです。真心です。

だから、気にしない、めげない、くさらない、諦めない。見てくれる人が必ずいる。この気持ちが大
事。そして、さらに大事なことは、相手に分かるように伝えること。『笑顔が相手に伝わるように、言葉
が相手に伝わるように。』

一番大事なことは、「大好きな人に伝える」気持ちで、「いらっしゃいませ」、「〇〇いかがですか？」
と伝え、最後は「ありがとうございました」と心を含めて話すことです。

ですから、繰り返しになりますが・・・

- ・まっすぐ立つ・・・かかとを付けて立つ。背筋を伸ばす。
- ・元気よく声を出す
- ・動作はきびきびと、背筋を伸ばして移動
- ・相手に笑顔で声をかける
- ・「いらっしゃいませ」・・・welcomeの気持ちで、70%ぐらいの笑顔をキープ
- ・「ありがとう」・・・足を止めてくれてありがとう、買ってくれてありがとう、聞いてくれてありが
とう、苦労して作った商品を手に取ってくれてありがとう
だから、心を含めて、100%の笑顔で行いましょう。

文化祭バザーでの塩ウニ販売について

☆バザーの時間帯に毎年1年生は、塩ウニ販売を分担して行います。

1 時間 昼食・展示見学 11:45～12:45 (約1時間)

PTAバザー 12:00～12:30 (約30分間)

塩ウニ販売 12:00～12:15 (15分間) A班(運動会の白組メンバー)

12:15～12:30 (15分間) B班(運動会の紅組メンバー)

2 流れ

流れ	具体的な動き・セリフなど	担当生徒	担当生徒
		12:00～12:15	12:15～12:30
1 接客 伝票記入	「いらっしゃいませ」 「どちらを何本ですか」 聞いて、記入する 「〇〇を〇本ですね」 確認して、会計の人に、伝票を渡す。		
2 会計	「〇〇円です。」 ・おつりがない場合 …お金の受け渡し係へ「おつりなしです」と伝え、伝票を渡す。 ・おつりがある場合 …お金の受け渡し係へ「おつりは〇〇円です」と伝え、伝票を渡す。		
3 お金の 受け渡し	お金を受け取る。袋詰め係へ伝票を渡す。 おつりがある場合は、おつりを渡し、袋詰め係へ伝票を渡す。		
4 袋詰め 商品渡し	伝票を見て、商品を袋に入れ、お客さんに渡す。 「ありがとうございました」と元気にお礼を言う。		

【伝票】

【会場図】

月 日 番 氏名 ()

1 学習課題

2 調べたいこと

.....

(理由)

.....

(理由)

3 調査班のメンバー (◎リーダー、○副リーダー)

◎ ○

4 調査テーマ

(調査の目的)

5 調査方法

.....

.....

.....

.....

月 日 (海水 川の水 ゴミ) 班 氏名 ()

1 今日の学習課題

調査の準備をしよう。

2 準備

(1) 調査当日の服装等の確認

水の中で転倒して濡れたり、靴下や服が汚れたりすることが想定されます。
帰校後に「着用する学校指定運動着（下着も含む）と靴の準備」を確実にしましょう。

□ 汚れてもよいウィンドブレーカーやヤッケ上下を着用します。

ヤッケの中には…

□ 学校指定運動着 or 白のロングTシャツ or 白のトレーナー

(ない人は派手でない物。その場合、ヤッケ等を活動中に脱がないこと。)

□ 下には、学校指定ハーフパンツ or 運動着

(着替え用がない人は、学校指定でなくても良い。その場合、ヤッケ等を活動中に脱がないこと。)

□ 汚れてもよい運動靴 or 長靴 (派手でないもの。調査活動でのみ着用すること。)

(2) 調査当日の日程

8:35 朝の会終了後、着替え、トイレ

8:50 理科室集合 (1時間目が始まっています。声や足音を立てずに静かに移動する。)

班毎に、簡単に最終確認。持ち物を分担通りに運ぶ。

8:55 玄関前集合、点呼 (調査班長→学級委員長→平賀)。

9:00 挨拶、出発

9:10 大浜到着

調査活動

担当

[川の水班]

・上大澤

(9:00~

10:20 不在)

・このさん

(県北広域振興局)

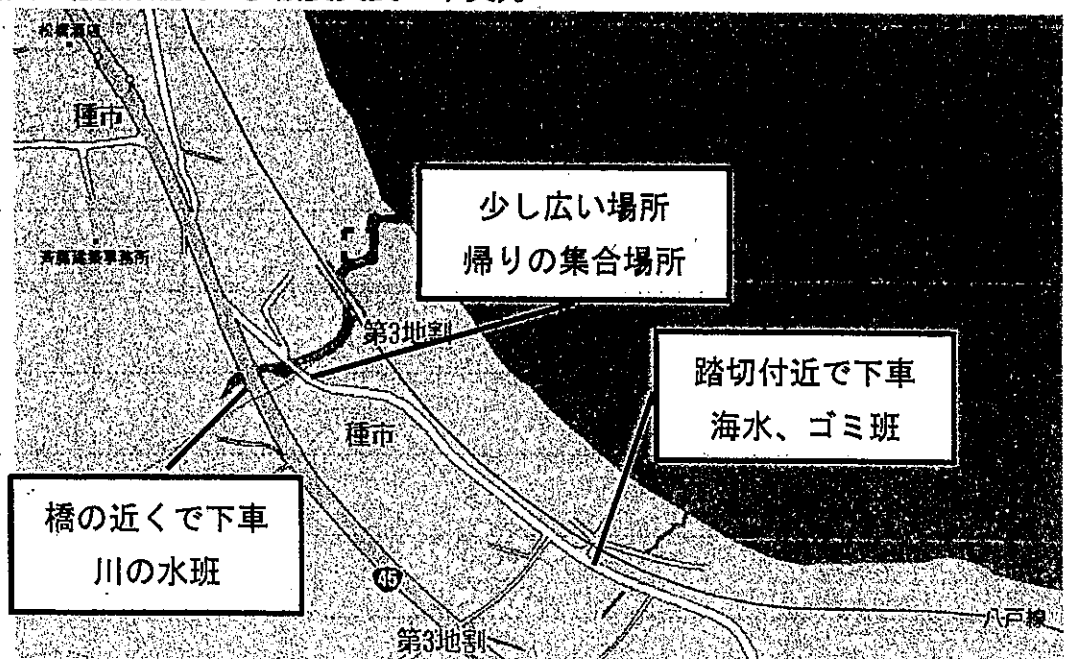
[海水、ゴミ班]

・平賀

11:00 活動終了

11:10 集合、点呼、挨拶、出発

11:15 学校着、挨拶、着替え、まとめ (理科室) ※授業中なので静かに行動する※



番 班 氏名 ()

〔知りたいこと・調べたいこと・質問したいこと など〕

<p>・「ウニ染め」に関すること</p>	<p>・「野口さん」に関すること (プライベートはダメよ♥)</p>
<p>・「海、ウニ」に関すること</p>	<p>・「進路」に関すること</p>

メモ欄 (フリースペース)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

○

【「ウニ染め～つながる想い～」学習 振り返り】

- ①講師の先生目を見て、反応しながら、聞くことができたか。 (◎ ○ △)
- ②わからないことや疑問に思ったことを質問できたか。 (◎ ○ △)
- ③自分自身の進路や生き方について考えることができたか。 (◎ ○ △)
- ④講話を通して学んだこと (聞いて学んだこと)

.....

.....

.....

.....

○

⑥感想

.....

.....

.....

.....

.....

鮭とば・新巻鮭パック詰め作業振り返りシート

2年 番 氏名 _____

1 今日どんな作業をしましたか。

2 作業を通して

① 大変だったこと・難しかったこと

② 全体を通しての感想

3 販売体験に向けて頑張りたいこと

4 後輩たちへのアドバイス

Q1 クライマックスにかけて、どのような気持ちを込めたいですか？どのような気持ちで演じたいですか？

.....
.....
.....
.....

Q2 エンディング曲「ふるさと」を聴いて、どう思いましたか？どんな合唱にしたいですか？

.....

.....
.....
.....

当日の分担

1 当日の準備分担

No	準備するもの（目標10分以内！）	担当者
1	のぼりを4つ作る	
2	はんでんを全員に配る	
3	大漁旗をパネルに貼る	
4	会計の準備	
5	商品を並べる（置ける分だけでよい。あとから追加する）	
6	チラシ配布の準備	
7	記録写真	
8	保冷剤・袋の準備	
9	価格表を貼る	
10	ポスターの準備	

2 当日の販売時の仕事分担

No	仕事	担当者
1	チラシ配り	
2	販売サポート	
3	会計	
4	接客【商品説明・袋詰め・商品渡しなど】 （商品と一緒に袋にハガキも入れて渡す）	
5	販売途中の商品の補充・保冷剤の準備	
6	呼び込み（のぼりを持って、ポスターを配布）	
7	記録写真	
8	その他	

演劇振り返り

※次につなげるために、気づいたことをどんどん書き込もう！

キャスト	声量	
	動き・位置	
	その他	
照明		
音響		
映像		
道具		
その他		

【演劇を客観的に見ての感想】

.....

.....

.....

.....

岩手県中学校総合文化祭 振り返り

年 番 氏名 _____

1 これまでの取り組みについて

- ① 県中文祭に向けて、どのようなことに気を付けて取り組んできましたか。

.....
.....
.....

② 取り組み全体を通して

これからの生活に活かせること	これからの生活を通して改善していくこと

2 県中文祭当日について

- ① どんな気持ちで臨みましたか。

.....
.....
.....
.....

- ② 本番を終えての気持ちを教えてください。

.....
.....
.....
.....

- ③ 展示部門で印象に残っている作品はありますか。

.....
.....
.....

3 県中文祭の取り組みから本番までを通して、得たものは何ですか。

.....
.....
.....
.....

洋野町立中野中学校

洋野町立中野中学校 1学年 「地域を知ろう ～海と山の関係～」 ストーリーマップ

【実践のねらい】

地域の企業、自然を活用した様々な活動を通して、洋野の海と山の関係から地域よさを知り、地域に対する興味・関心を深めさせる。そのために、地域企業の方に講師になっていただき、山と海との関係についての学習活動の他に、地域企業で取り組んでいる冷涼な気候を生かしたきのこの菌作業者や、洋野町の各漁協（魚市場）に水揚げされる魚種調査、長根商店経営「きのこの駅」での採用を目指し、洋野の海の幸、山の幸を融合させた新メニュー考案とプレゼン、レシピカード作りなどの体験的活動を行う。それらの活動を通して、自分たちの生きる地域の魅力について知り、地域に対する愛着を深める。

○時数 4月から3月（総合的な学習の時間29、国語、理科、社会科、英語科、美術科、技術・家庭科）

○関連 国語、理科、社会科、英語科、美術科、技術・家庭科

○目標 (1) 地域の企業、自然を活用した様々な活動を通して、洋野の海と山の関係から地域のよさを知り、地域に対する興味・関心を深めることができる。

(2) 他者と協働しながら、課題設定や課題解決・追究活動に主体的・創意的に取り組むことができる。

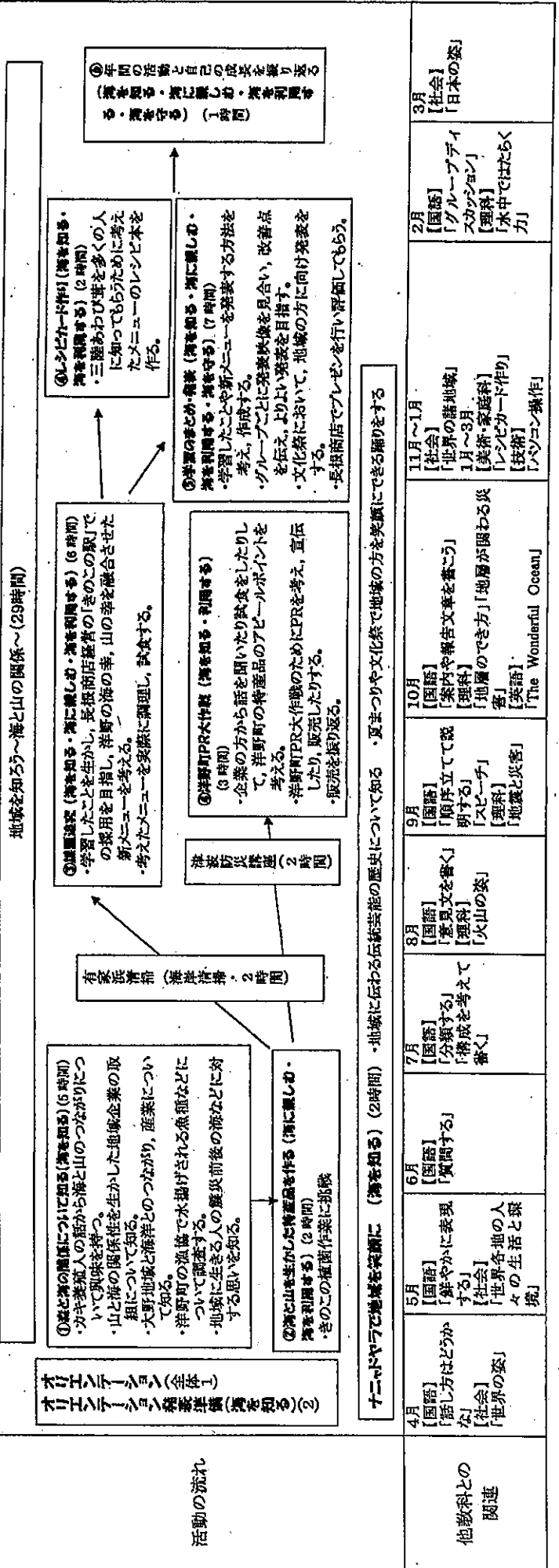
(3) 目的にふさわしい情報収集の仕方を知り、様々な方法で情報収集を行うことができる。

(4) まとめて方のプロセスを知り、学習の成果をまとめることができる。

(5) 学習、体験活動や発表を通して知った洋野町の魅力と、自分らしさや自己の成長を発見することができる。

主な連携機関	内容
長根商店	地域企業の事業と山と海との関係の学習、きのこの菌調査作業、新メニュー考案
小野内浜漁協、種市漁協、種市南漁協、有氏魚市場、八木魚市場、水産加工業	洋野町の各漁協（魚市場）に水揚げされる魚種調査や復興に関するインタビューなど
ひろのまきば天文台	大野地区の産業と海洋の係わりについて調査
長根商店、種市南漁協、川	洋野町物産品の販売 文化祭での洋野町物産品の販売
全 越豆商店	新メニュー、レシピカード作り
洋野町立中野小学校	海洋清掃、授業参観、並大校内研修会
中野ふじの会	伝統芸能「ナニヤドヤラ」の学習会、練習会
中野地区コミュニティ協議会	海洋清掃、地域貢献活動

学校行事	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	紹介式・始業式 入学式・身体測定 新入生学習 交通安全教室 生徒会入会式 授業参観	知能検査 運動会 町歌研 地区運動会上 530運動	地区中総体 期末テスト	思春期講演会 地区合唱交流会 地区中総体 町民芸術祭 期末運動会 終業式・地区駅伝	始業式 実力テスト 漢字検定 地区体上大会 身体測定	英語朗読大会 地区新人戦 中間・前期テスト 津波防災講座	生徒会役員選挙 文化祭 町駅伝大会 子ども議会 県新人戦(テニス) 町音楽発表会	東地区大会 東新人(バドミントン) ベネッセテスト 期末テスト 町歌研 津波防災講演会	期末面談 終業式	子ども議会 始業式 実力テスト 漢字検定 町駅伝 中英語新聞調査 三送会	期末・後期テスト	実力テスト 終了式 卒業式 離任式



「ナニヤドヤラ」で地域を笑顔に (海を知り) (2時間) ・地域に伝わる伝統芸能の歴史について知る ・夏まつりや文化祭で地域の方を笑顔にできる喜びをする

他教科との関連	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	【国語】話し方はどうか 【社会】世界の姿	【国語】鮮やかに表現する 【社会】世界各地の人々の生活と環境	【国語】「質問する」 【国語】「火山の姿」	【国語】「意見文を書く」 【理科】「スベーチ」 【理科】「地震と災害」	【国語】「朗読して説く」 【理科】「スベーチ」 【理科】「地震と災害」	【国語】「案内や報告文章を書く」 【理科】「地層の働き方」 【理科】「レシピカード作り」	【国語】「世界地図」 【社会】「世界の姿」 【理科】「水中ではたく力」	【国語】「世界の地図」 【社会】「世界の姿」 【理科】「水中ではたく力」	【国語】「世界の地図」 【社会】「世界の姿」 【理科】「水中ではたく力」	【国語】「世界の地図」 【社会】「世界の姿」 【理科】「水中ではたく力」	【国語】「世界の地図」 【社会】「世界の姿」 【理科】「水中ではたく力」	【国語】「世界の地図」 【社会】「世界の姿」 【理科】「水中ではたく力」

洋野町立中野中学校 3 学年 「洋野の未来を考えよう～洋野町の発信・将来の創造～」

【実践のねらい】

洋野町の課題を分析し、修学旅行で見聞きしてきたことと洋野のよさを融合し、洋野の未来の発展について考える。そのために、首都圏の産業から洋野町に役立てられることはいかにという視点を持ちながら参加する修学旅行において、中野ブロードウェイでの地域特産品の販売体験活動や、海に関わる個人ユーザーを学習する施設見学などを行う。また、首都圏出身の洋野町移住者による講演会で、自分たちの住む洋野の魅力や再帰視し、地域を誇りに思う心を育む。洋野の未来について考え発信することを通し、将来を想像する力を高め、最終的に「洋野について自分たちの言葉で語る」ことができる人間」の育成を目指す。

○時数 4月から3月 (総合的な学習の時間) 4.9、国語、理科、社会科、英語科、技術・家庭科

○関連 国語、理科、社会科、英語科、技術・家庭科

○目標 修学旅行で訪ねる東京の文化・産業などから、洋野町の町づくりに生かせるものを見つけるとともに、洋野の課題を見付け、地域のよさを生かした洋野の町づくりについて考えることができる。

・洋野のよさを生かした洋野の未来を考え発信することを通して、地域を誇りに思い、将来を創造する能力を高め、洋野の未来についてあらゆる角度から自分の言葉で語ることができる。
 ・「海」を視点とし、様々な問題状況の中から、課題を発見・設定し、各教科で身に付けた専門知識や情報を比較したり関連付けたりして問題解決に向けて考えることができる。

主な連携機関	内容
長狭商店 種市南漁協、川島、創宜商店	洋野町PR大作戦 (東京都中野区) での洋野町特産品の販売
個人ユーザーに関わる施設	海に関わる個人ユーザーの追究
洋野町夜遊	町づくりにかかわる職員の見学
洋野町立中野小学校	海岸清掃、授業参観、放課後校内研修会
中野ふじの会	伝統芸能「ワニヤビヤラ」の学習会、練習会
中野地区コミュニティ協議会	海岸清掃、伝統産業活動
なかの保育園	保育体験学習

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
親子式・始業式 入学式・身体測定 修学旅行 交通安全教室 生徒会入会式 授業参観	運動会 町選考 地区通信展上 530 運動	地区中絶作 期末テスト	懇親研修交流会 地区各福交流会 町中絶作 町民芸術劇場 期末面談 授業式・地区取組 高校体験入学	高校体験入学 通信夏まつり 始業式 夏カブサ 修学旅行 身体測定 地区選考	英語検定大会 地区新人戦 中野・前橋マラソン 地域防災訓練 夏カブサ	生徒会役員選挙 文化祭 町民大会 子ども議会 民新人戦(ワニヤ)	実践区大会 県新人(少年・卓球) 夏カブサ 町民大会 前橋マラソン	夏カブサ 期末面談 授業式	子ども議会 始業式 夏カブサ 修学旅行 中込英語検定 三選考	期末・模範テスト	夏カブサ 修了式 卒業式 履修式

「洋野の未来を考えよう～洋野町の発信・将来の創造～」(4.9時間)

オリエンテーション (全体学習 1 学級 1 学級 2 学級 2 学級)

①海に関わる産業見学 (海を知る・海に親しむ・海を守る・海を利用する)
 ・都市部の特性を生かした産業や、海に関わる関々のテーマについて学ぶ。
 ・洋野町PR大作戦 (海を知る・海を利用する) (10時間)
 ・洋野町の特産品のデザインコンテストを考え販売ポスターなどを作る。
 ・ふるさと大使任命式
 ・洋野町PR大作戦のためにPRを考え、宣伝したり、販売したりする。
 ・修学旅行のまとめ・報告会。

②洋野の魅力を伝えたい (海を知る・海に親しむ・海を守る・海を利用する) (2時間)
 ・首都圏出身の洋野町移住者の方の講演を聞き、今まで知らなかった洋野町について知る。

③洋野の魅力を伝えたい (海を知る・海に親しむ・海を守る・海を利用する) (2時間)
 ・洋野町の魅力を伝えるためのCMを制作する。

④洋野の魅力を伝えたい (海を知る・海に親しむ・海を守る・海を利用する) (2時間)
 ・洋野町の魅力を伝えるためのCMを制作する。

⑤ふるさとのふるさと大使任命式 (海を知る・海に親しむ・海を守る・海を利用する) (1時間)
 ・海洋教育の集大成として、「ふるさとのふるさと大使」を授け、合格を目指す。

⑥3年間の活動と自己の成長を振り返る (海を知る・海に親しむ・海を守る・海を利用する) (1時間)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【理科】 「水溶液とイオン」 【技術】 「パソコン操作」(通年)		【国語】 「評価しながら聞こう」 【社会】 「現代の日本と世界」	【国語】 「船旅の意味」	【国語】 「素材を生かして表現する」 【理科】 「産業の発展」	【国語】 「編集して伝えよう」 【理科】 「自然環境の調査と環境保全」(天文台見学)	【国語】 「説明する」 【条件スピーチ」 【家庭】 「地域・貴族活動」	【社会】 「私たちの暮らしと経済」 【英語】 「Clean Energy Sources」(家庭)	【理科】 「子ども議会」 【家庭】 「地域・貴族活動」	【国語】 「フジイアと東日本大震災」 【社会】 「地球社会と私たち」	【理科】 「地球と私たちの未来のために」 「自然の恵みと災害」	【理科】 「地球と私たちの未来のために」 「持続可能な社会を作るために」

十二のトピックで地域を深掘りに (海を知る) (2時間) ・地域で伝わる伝統芸能の歴史について知る ・夏まつりや文化祭で地域の方を笑顔にできる取り組みをする

洋野町立大野中学校

海洋教育全体計画

1 実践の概要・ねらい

洋野町内陸部にある大野地区は太古において三陸の海底にあり、現在、その平坦な地形を活用し、林業・酪農・畑作などを中心に地域の人々の生活が営まれている。海岸段丘を利用した牧草地、海からふいてくるやませの影響で夏でも冷涼な気候であることから盛んとなった椎茸栽培やほうれん草栽培など海との関係は深く、水産資源の利用を含め海から受けている恩恵は大きい。しかし、日常生活の中で海を目にすることは少ないため、海について学んだり考えたりする機会は少ない。そこで、この海洋学習を通し、海に親しみ、海に関わる産業について学ぶ意義は大きく、海の影響で成り立っているこの地場産業を通して、地域の人々の願いや想いを学ばせ、海のすばらしさや良さを体感させたい。

また、「海と人との共生」を考える上で、重要な観点である「防災」についても、震災・復興学習を通して、海のもたらす恐怖・災害の可能性を考え合わせ、生徒の地域における防災・減災の意識を高めさせたい。地域を愛し、地域に貢献できる人材の育成と将来の持続可能な海洋利用に向け、復興・発展を支える人材育成を目指したい。

2 実践計画

大テーマ「海と人との共生」			
	1 学年	2 学年	3 学年
① テーマ	○震災・復興・防災・海洋について考え学んだことを伝える。 ○地域の産業を知る。	○海に関わる産業を通して働くことの意義について考える。	○海や人との関わりを通して生き方を考える。
② 概要	【震災・復興・防災・宿泊研修】 三陸鉄道震災学習列車や宮古市田老地区での「学ぶ防災プログラム」での学習を通して、後世への防災意識を高める。 【大野地区産業体験】 実際に大野地区の地場産業を体験し、地域の人たちの思いや願い、海との関わりを学ぶ。	【職場訪問学習】 水産加工場や漁業に関する職業の見学を通し、先人が海とともに歩んできた意味を考える。 【北いわて・学びのプログラム】 地域の様々な施設と連携を取りながら、地域と海との関わりについて考える。	【先人から学ぶ】 地域の自然や環境の特徴を学習し、自分の将来や働くことの意義を考える。 【海とともに生きる】 地域の漁業施設の見学や海岸清掃を通し、海からの恩恵と自分たちの生活の関わりを考え、海との共生を考える。
③ 評価	・自ら課題を見つけ、課題解決に対して意欲的に活動できたか。 ・防災の知識を深め、自分の生活に役立てようとする意識を高めたか。	・海に関わる職業についての知識を深め、自分の将来の職業について考えることができたか。 ・持続可能な海洋利用について意識できたか。	・地域を愛し、地域に貢献しようとする態度を育てることができたか。 ・海に親しみ、海とともに生きていこうとする意識を高めることができたか。

海洋教育のストーリーマップ

1 学年 「内陸部における海洋教育のあり方～震災・復興・防災・海洋～」

【実践のねらい】

洋野町内陸部に位置する大野地区は太古において三陸の海底にあり、現在、その平坦な地形を活用し、林業・酪農・畑作などを中心に地域の人々の生活が営まれている。海洋学習を通し、海について学び、海の影響で成り立っているこの地場産業を通して地域の人々の願いや想いを学ばせ、海のすばらしさや良さを体感させたい。

【期間】 4月～11月 (総合的な学習の時間を中心に学習を進める。) 50時間

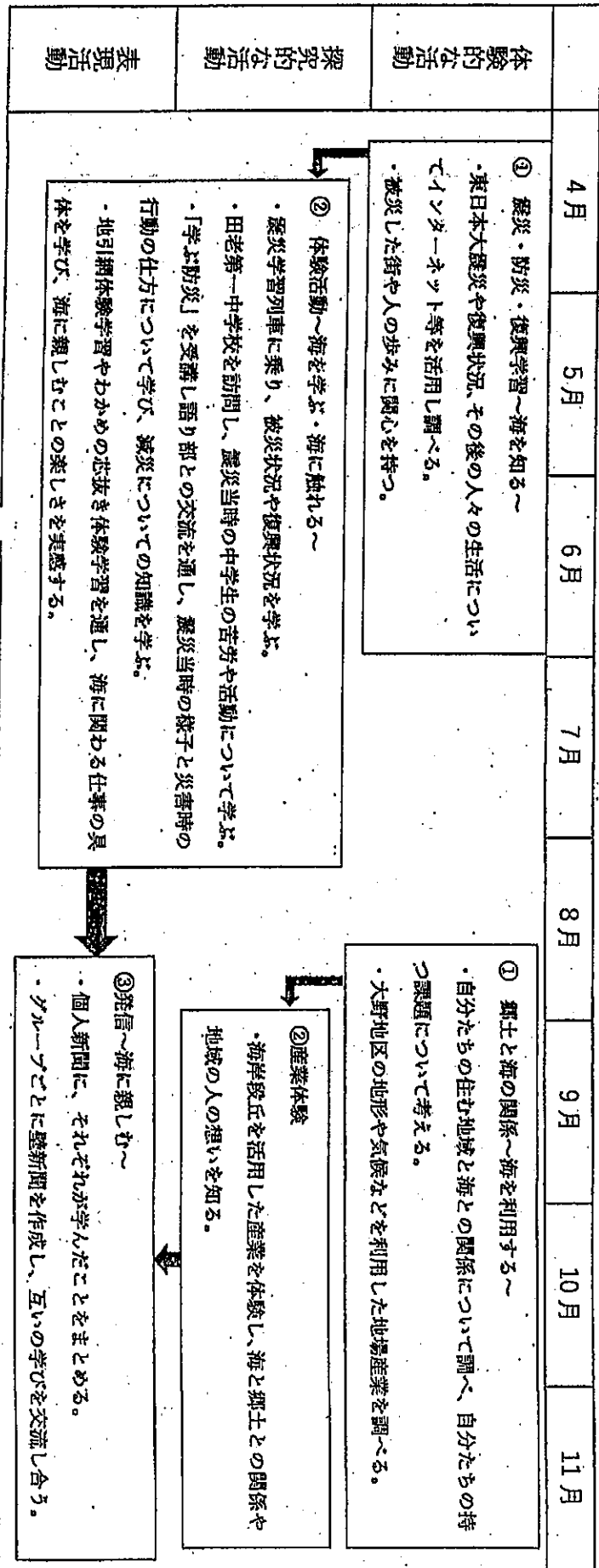
【関連教科】 社会・理科

【目標】 ①東日本大震災についてその被害の大きさと復興の現状、そして防災・減災のためにできることは何かを考える。
②災害をもたらすだけでなく、海から受けている恩恵について知り、海と親しむ。

③大野地区の地場産業を体験し、地域の人たちの思いや願い、海との関わりを学ぶ。

【主な連携機関と内容】

- ・三陸鉄道：震災列車学習
- ・宮古市観光文化交流協会
- ：防災・震災学習
- ・グリーンピア三陸宮古：語り部学習
- ・宮古市田老漁業協同組合
- ：地引網体験・わかめ芯抜き体験
- ・洋野町役場：産業体験
- ・大野ふるさと公社：産業体験



海洋教育のストーリーマップ

2 学年 「内陸部における海洋教育のあり方～海に関わる職業～」

【実践のねらい】

・洋野町内陸部に位置する大野地区は太古において三陸の海底にあり、現在、その平坦な地形を活用し、林業・酪農・畑作などを中心に地域の人々の生活が営まれている。海洋学習を通し、海について学び、海の影響で成り立っているこの地場産業を通して地域の人々の願いや想いを学ばせ、海のすばらしさや良さを体感させたい。

【期間】 4月～11月 (総合的な学習の時間を中心に学習を進める。) 70 時間

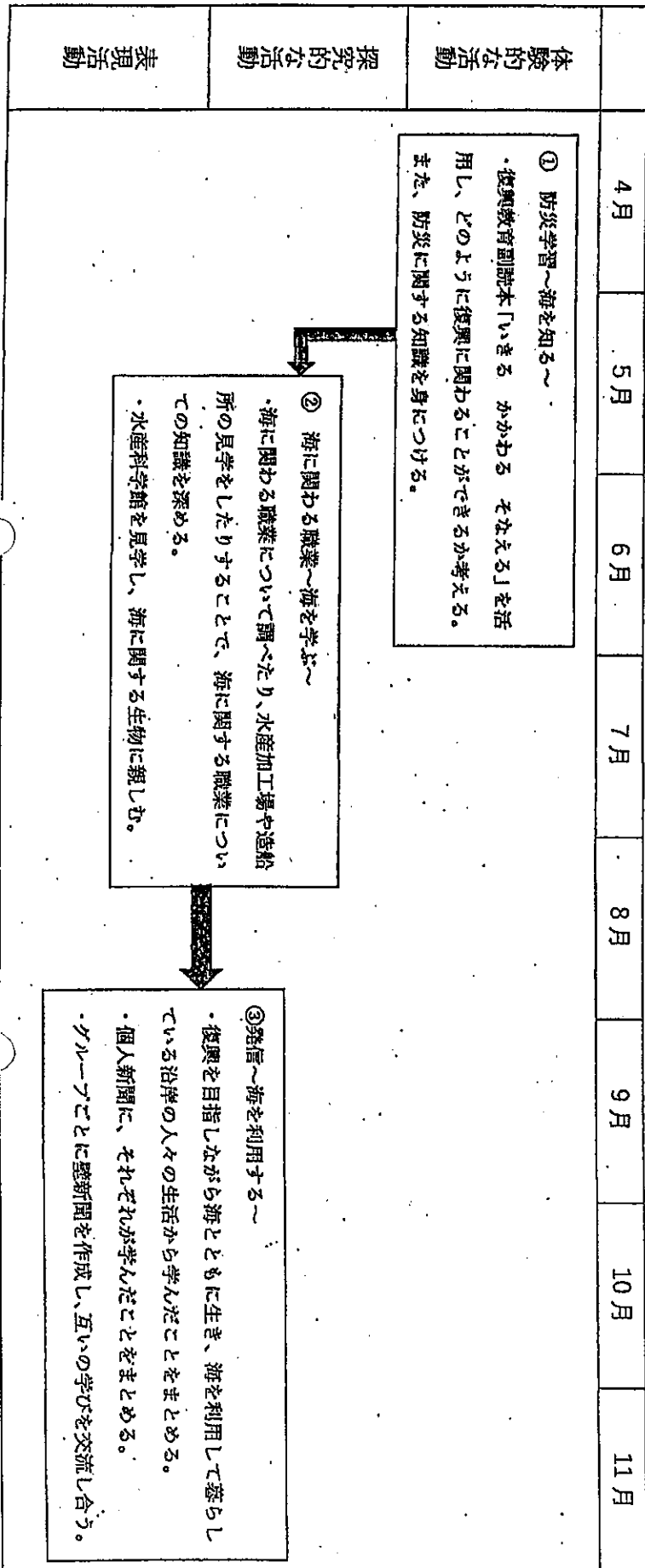
【関連教科】 社会・理科

【目標】 ①水産加工場や漁業に関する職業の見学を通し、先人が海とともに歩んできた意味を考える。

②地域の様々な施設と連携を取りながら、地域と海の関わりについて考える。

【主な連携機関と内容】

- ・丸ヨ水産：職場見学
- ・北日本造船：職場見学
- ・JX エルエネジーサービズ：職場見学
- ・八戸市水産科学館→リエント：施設見学



海洋教育のストーリーマップ

3 学年 「内陸部における海洋教育のあり方～海と人との共生～」

【実践のねらい】

洋野町内陸部に位置する大野地区は太古において三陸の海底にあり、現在、その平坦な地形を活用し、林業・酪農・畑作などを中心に地域の人々の生活が営まれている。海洋学習を通し、海について学び、海の影響で成り立っているこの地場産業を通して地域の人々の願いや想いを学ばせ、海のすばらしさや良さを体感させたい。

【期間】 4月～11月 (総合的な学習の時間を中心に学習を進める。) 70時間

【関連教科】 社会・理科

【目標】 ①海に関連する職場や施設の見学を通し、海と地域、海と産業、海と生活との関わりを考える。

②地域の自然や環境の特徴を学習することで、自分の住む地域の良さを理解する。

③海からの恩恵と自分たちの生活との関わりを考え、海とともに生きていこうとする意識を高める。

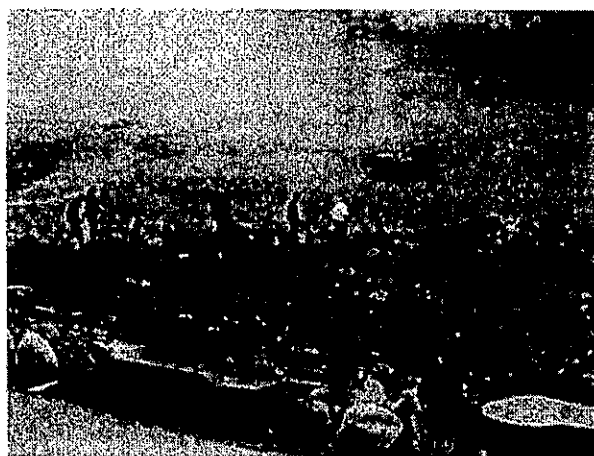
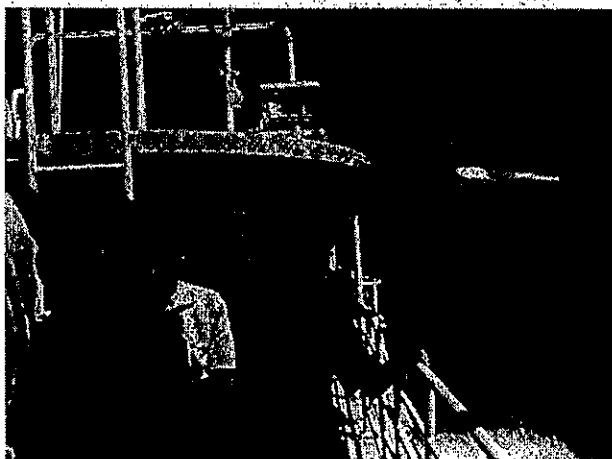
【主な連携機関と内容】

- ・八戸石灰鉱山：職場見学
- ・洋野町風力発電施設：職場見学
- ・岩手県栽培漁業協会：施設見学

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
体験的な活動	<p>① 防災学習～海を知る～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興教育副読本「いきる かかわる そなえる」を活用し、地域に貢献し、復興を支えようとする意識を高める。 ・郷土の特産物であるホヤ・ウニについての生態などについて調べる。 								
探究的な活動	<p>② 体験活動～海を守る～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウニ栽培漁業センサーを訪問し、広野の水産業の仕組みや、ウニの養殖方法を学ぶ。 ・震災の影響と復興の様子を学ぶ。 ・海浜公園の清掃を通して、海洋生物のための環境を守ろうとする意識を高める。 								
表現活動	<p>③ 発信～海と共に生きる～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産資源を守るために必要なことを考え、海と共に生きていくことの大切さを知る。 ・個人新聞に、それぞれが学んだことをまとめる。 ・グループごとに壁新聞を作成し、互いの学びを交流し合う。 								

活動中の写真 NO.1

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	1学年 震災学習列車・宮古市「学ぶ防災」
コメント	令和元年7月17日実施の1学年の学習の様子である。 三陸鉄道の震災学習列車に乗車し、東日本大震災の被害の実態や復興の状況を学んだ。 また宮古市田老地区「学ぶ防災」の学習で、防潮堤の役割や日頃の避難訓練の大切さについて学び、海との共生について深く考えた。



活動中の写真 NO.2

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	1学年 大野地区産業体験学習
コメント	令和元年9月6日実施の1学年の学習の様子である。 大野地区は、海風の影響を受け冷涼な気候であることを利用した産業が発展している。 大野と海との関係を学習したり大野地区の産業を実際に体験したりすることを通し、地域の特徴と産業について知識を深めた。



炭焼き



炭焼き



ほうれん草の袋詰め



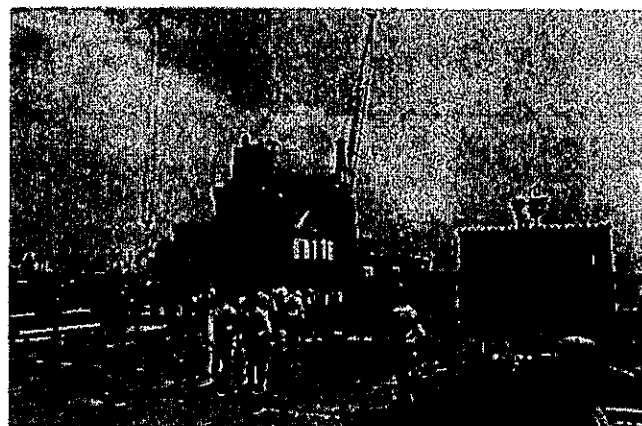
りんごの収穫

活動中の写真 NO.3

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	2 学年 八戸地区職場訪問学習
コメント	令和元年7月5日実施の2学年の学習の様子である。 八戸地区の海にかかわる産業の職場を訪問し、その企業の具体的な仕事の内容や海とのかかわりについて学んだ。また、八戸市水産科学館見学や燕島海岸清掃を通じ、海と親しんだ。



JX エルエネジーサービス株式会社



北日本造船



八戸市水産科学館



燕島

活動中の写真 NO.4

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	2学年 久慈地区職業体験学習
コメント	令和元年7月4日実施の2学年の学習の様子である。 久慈地区の17ヶ所の事業所に分かれ、実際にいろいろな職業を体験した。自分の将来の仕事について考えを深めることができた。漁業協同組合など海に関する仕事に興味を持つ生徒も多かったが、事業所の都合がつかず体験できなかった。



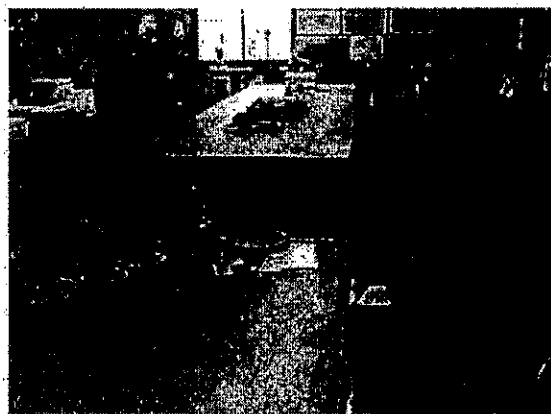
保育園



自動車関連



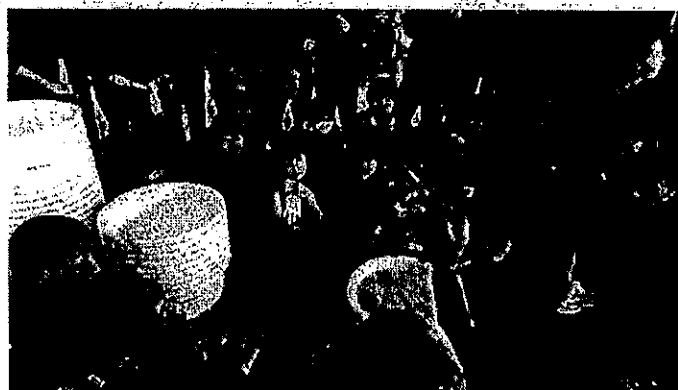
医療関連



大野木工

活動中の写真 NO.5

学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	3学年 海洋学習 ウニの殻むき体験
コメント	令和元年6月28日実施の3学年海洋学習の様子である。 自分たちの郷土洋野町の特産物であるウニの殻むき体験を実施し、実際にウニを食べそのおいしさや産業のすばらしさを体感した。漁協組合さんの協力で、船に乗せていただく活動も計画されていたが、悪天候のため実施できなかった。しかし、海岸清掃を行い海に親しむことができた。



活動中の写真 NO.6

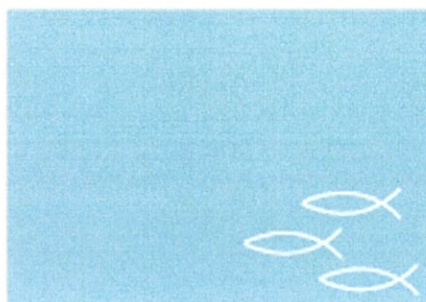
学校名	洋野町立大野中学校
タイトル	3 学年 岩手県立種市高等学校海洋開発科見学
コメント	令和元年 6 月 28 日実施の 3 学年の学習の様子である。 進路学習と関連させながら、洋野町種市地区に設立されている岩手県立種市高等学校の海洋開発科を訪問した。大野中学校の卒業生から実際の学習内容を聞いたり、潜水服を着用した潜水実習体験をさせてもらったりしながら、海にかかわる職業についての理解を深めた。







海洋教育センター
CENTER FOR OCEAN LITERACY AND EDUCATION



SPF 笹川平和財団

©2021 海洋政策研究所